

SEKONIC 写真 / ビデオ / 映画用分光式カラーメーター

スペクトロマスター C-700

使用説明書



ご使用の前に本使用説明書をよくお読みいただき製品の性能を十分ご理解いただいた後に取扱い及び保守をしていただくようお願い致します。なお、本使用説明書はお手元に大切に保管してください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この使用説明書をよくお読みになり、内容をご理解の上、安全に正しくお使いください。

スペクトロマスター C-700 は、受光部に分光センサーを搭載した、デジタル撮影対応の高性能カラーメーターです。デジタルカメラのセンサーまたはフィルムの特性にあわせた各モードがあり、より正確な色温度の測定を実現しました。また被写体の正確な色再現に必要な色温度変換フィルターや色補正フィルターの番号および指数を表示させる機能も兼ね備えています。

スペクトロマスター C-700 は、相関色温度または写真的色温度、LB フィルター番号、LB 指数、CC フィルター番号、CC 指数、および照度 (lx) を測定・表示することができ、撮影の効率化に威力を発揮します。






また本体と別に標準付属品である「C-700、C-7000 シリーズユーティリティ」により、タブレットまたはパソコンに USB 接続することでアプリケーションによる測定値やグラフ表示、本体設定、データ保存に対応しています。

■用語と商標について

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。
- Adobe Reader は、Adobe Systems Inc. の登録商標です。
- Rosco、Cinegel、および E-Colour+ は、Rosco Laboratories Inc. 社の登録商標です。
- LEE およびリーフィルターは、Panavision Europe Ltd. 社の事業部門である LEE Filters 社の登録商標です。
- コダックおよびラッテンの各用語はコダック社の登録商標です。
- 富士フィルム、及び富士フィルターは富士フィルム株式会社の商標、または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本及び海外における各社の商標または登録商標です。

正しく安全にお使いいただくために

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

 警告	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が死亡、または重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。
 注意	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が軽傷、または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示す注意マークです。
 ご注意	操作をする上での注意や制限です。誤った操作をしないために、必ずお読みください。
 ご参考	操作の参考になることや、関連した機能などについての情報です。お読みになることをお勧めします。
	参照ページを示しています。

警告

- 乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。
- 電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、規格適合品ではない電池の使用は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

注意

- 雨中、水しぶきがかかる場所や製品の水没、または水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。
また、製品が故障する原因となる場合があります。
- 本体は絶対に改良や分解をしないでください。測定結果への影響、或いは故障の原因になる恐れがあります。
- 本製品に同梱されている CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。
- 液晶画面は、指先で軽くタッチして操作してください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いものを使用すると、液晶表示部に傷が付いたり、故障する原因となります。
- 乳幼児等が誤ってストラップを掴んで振り回すことのないように手の届かない場所に置いてください。衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- 持ち運びの際に、ストラップが絡まないように注意してください。
落下等の衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- ストラップの素材はポリエステル繊維を使用しています。
合成繊維による皮膚のかぶれや発赤、かゆみを引き起こされているときは、症状の悪化を防ぐため、ご使用はお控えください。

ポリ塩化ビニール (PVC) ケーブルおよびコードに関する注意事項

警告

当製品に付属するコードまたは当製品とともに販売されたアクセサリに付属するコードを手で扱う場合、鉛（カリフォルニア州では、がん、および出生異常または他の生殖障害の原因として知られている化学物質）に触れる可能性があります。取り扱い後は必ず手を洗ってください。

ご注意

- 液晶画面には保護シートが貼られています。剥がしてからご使用ください。
- 液晶画面には一部点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません。
本製品の有効ドット数に対する品質基準の割合は 99.9% 以上です。
有効ドット数の割合とは、「液晶ディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。
- 2000 m 以下の高度でご使用ください。
- 操作の誤りなどにより、メモリーされているデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。
- 本製品に同梱されている CD-ROM について、お客様は CD-ROM に同梱している契約書の各条件に同意された場合のみ、CD-ROM のソフトウェアをインストールして使用することができます。
- 落下または急激な衝撃は絶対に避けてください。故障の原因になります。
- 高温な場所や多湿な場所には保管しないでください。故障の原因になります。
- 急激な温度変化による結露に注意してください。故障や誤動作の原因になります。
- ご使用となる場所の温度が冬季のご使用等で -10°C 以下になると、液晶表示の応答が非常に遅くなり、表示が読みにくくなります。温度が $0 \sim 10^{\circ}\text{C}$ では液晶表示の応答が若干遅くなりますが、ご使用には差し支えありません。また、温度が 50°C を超えると液晶表示が黒くなり、表示が読みにくくなりますが常温に戻ると元の状態になります。
- 真夏の直射日光下や車中、または暖房装置等の近くに放置すると、本機の温度が上昇し、故障の原因となる場合があります。このような場所での取り扱いにはご注意ください。
- 腐食性のガスが発生する恐れのある場所に放置すると、ガスの影響で本機の故障の原因となる場合があります。このような場所での取り扱いにはご注意ください。
- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体のゴミ廃棄方法に従って処理してください。

お手入れについて

- 精度に影響を与える恐れがありますので、受光部にはホコリ、ゴミ、傷を付けないように扱ってください。
- 本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は、絶対に使用しないでください。

ご参考

- 使用済みの電池は各自自治体のルールに従って処分するか、最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ：<http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。

■ 使用の目的

以下の様な場面でご使用できます。

- 写真、ビデオ、および映画撮影における、照明や自然光の色温度を測定する。
- 複数の照明間の色温度を合わせるためのフィルター補正を行う。
- 照明機材の経年変化を色温度で管理する。
- 印刷の色校正やデジタル・フィルム制作を行う環境光の管理
- 演色評価数による光源の色再現性の確認

C-700 の主な特徴

機種名	用途	特徴
C-700	撮影用途	撮影時の定常光及びフラッシュ光、環境光の管理、機材としての光源管理。 <ul style="list-style-type: none">● 相関色温度 (デジタルモード)・写真的色温度 (フィルムモード) (1,600 K ~ 40,000 K)● 照度測定● 用途に応じた表示<ol style="list-style-type: none">(1) 色温度(2) LB/CC フィルター番号 (Kodak WRATTEN 2, LEE, FUJIFILM, ROSCO)(3) LB/CC 指数(4) 演色評価数の測定(5) 分光分布グラフ表示、グラフ表示拡大機能(6) 照度 / 露光量 (定常光 / フラッシュ光)(7) 色偏差 (Δuv)● ホワイトバランス機能

■ 使用対象者

本製品をご使用になられる対象者について、以下の様な方々のご使用を想定しております。

写真、ビデオ、映画のカメラマン、照明技師、撮影監督など、撮影関連に従事される方。および、建築、美術、インテリアなどのライティングエンジニア、レンタルスタジオや照明販売店などでの光源管理をする方。

■ 制限事項

ご使用にあたり、いくつかの注意・制限事項があります。
お手数ですが、以下の内容にご同意いただいた上で、ご使用いただきますようお願い致します。

ご参考

- 使用説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。よって、お手持ちの機種に同梱されている使用説明書や現時点で発売されている機種に同梱されている使用説明書の内容と異なる場合がありますのでご了承ください。
 - 「使用上のご注意」や「安全上のご注意」など安全に関する注意事項は、使用説明書作成時点での法的基準や業界基準に拠った内容となっております。従いまして、記載内容が最新の内容ではない場合もありますので、過去の使用説明書のご利用にあたっては、最新の使用説明書に記載されている、安全に関する注意事項を参照くださいますようお願いいたします。
 - 製品には、使用説明書を補足するために、安全に関する注意事項・正誤表などの印刷物が同梱されている場合がありますのであらかじめご了承ください。
 - 使用説明書の内容は、非営利の目的でかつ個人的用途に利用する場合に限り、複製することができます。但し、かかる複製物には当社の著作権表示が付されていることを条件とします。
 - 使用説明書の画面は、実際のものとは異なることがあります。(色・文字等)
-

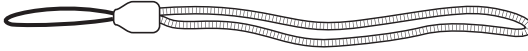
同梱品の確認

本体の他に以下の付属品が同梱されています。開梱後、付属品に不足がないことをご確認ください。

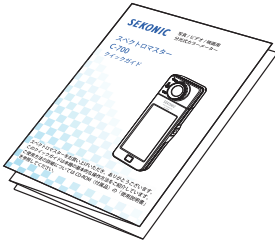
万一足りないものがあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※ 電池（単三形）、USB ケーブルは付属していません。お客様ご自身で事前にご用意ください。

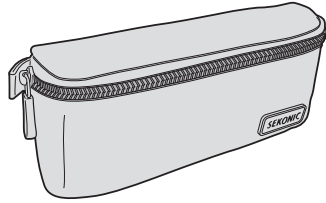
ストラップ



クイックガイド



ソフトケース

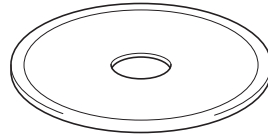


安全上のご注意

SEKONIC		日本語
△安全上のご注意		
■ 正しくお使いいただくために ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。		
警告	このソフトは、製造ミスしてお使いになった場合、 データが消失、製品の動作異常等により、データが消失 したり破損する場合があります。必ず重要データは 他の媒体にバックアップを取ってください。	
注意	このソフトは、製造ミスしてお使いになった場合、 データが消失、製品の動作異常等により、重要なデータ が破損する可能性があります。必ず重要なデータは 他の媒体にバックアップを取ってください。	
重要	※ 必ず必ずこの注意書をお読みください。誤った操作を した場合は、保証の対象外となります。	
■ 一般安全情報		
<ul style="list-style-type: none"> • 本製品に物理的損傷を与えないでください。 • 本製品の電源がOFFでも何らかの不正な操作をしないでください。 • 本製品を水に濡らさず、熱い液体や油をこぼさないでください。 • 本製品の電源がOFFでも、必ず電源プラグを抜いてください。 • 本製品の電源がONになっている間は、必ず電源プラグを抜いてください。 • 本製品の電源がONになっている間は、必ず電源プラグを抜いてください。 • 本製品の電源がONになっている間は、必ず電源プラグを抜いてください。 • 本製品の電源がONになっている間は、必ず電源プラグを抜いてください。 		

CD-ROM

(使用説明書、
C-700 シリーズユーティリティ)



保証書

保証書			
品名	C-700 シリーズ	保証期間	3年
保証内容	製品本体の故障による修理費用を負担いたします。		
保証料	無料		
保証開始日	ご購入日より起算		
保証終了日	保証開始日より3年経過時		
保証対象外	<ul style="list-style-type: none"> ① 天災・火災・盗難・紛失等による損害 ② 修理を要しない故障 ③ 修理を要するが修理費用を自己負担する故障 ④ 修理を要するが修理費用の一部を自己負担する故障 ⑤ 修理を要するが修理費用の一部を自己負担する故障 ⑥ 修理を要するが修理費用の一部を自己負担する故障 		
保証書発行日	2024年10月10日		
保証書発行場所	株式会社 SEKONIC		
保証書発行担当者	〇〇〇		
保証書発行店舗	〇〇〇		
保証書発行店舗住所	〇〇〇		
保証書発行店舗電話番号	〇〇〇		
保証書発行店舗FAX	〇〇〇		
保証書発行店舗Eメール	〇〇〇		
保証書発行店舗URL	〇〇〇		
保証書発行店舗営業時間	〇〇〇		
保証書発行店舗備考	〇〇〇		

目次

■ 正しく安全にお使いいただくために	i
■ ポリ塩化ビニール (PVC) ケーブルおよびコードに関する注意事項	iii
■ 使用の目的	v
■ 使用対象者	vi
■ 制限事項	vi
■ 同梱品の確認	vii
1. 各部の名称と機能	1
1-1 名称	1
1-2 各部の名称と機能	2
2. ご使用の前に	3
2-1 ストラップの付け方	3
2-2 電池の入れ方	4
2-3 電源の ON/OFF	5
2-4 電池容量の確認	9
2-5 自動電源 OFF 機能	10
2-6 測定中の電池交換	11
3. 基本的な操作方法	12
3-1 基本的な操作の流れ	12
3-2 画面と操作	14
3-2-1 基本画面と操作	14
3-2-2 アイコンの操作	18
3-2-3 数字・文字の入力	19
3-2-4 画面のロックと解除	21
4. 測定の条件を設定する	22
4-1 測定モードの選択	22
4-1-1 光源に測定モードを合わせる	22
4-1-2 シャッター速度を選択する (フラッシュ光モードのみ)	24
4-2 基準色温度の設定 [Target (基準色温度)] 画面	26
4-2-1 基準となる色温度を設定する	26
4-2-2 表示項目の選択	28

4-3	表示モードの選択	29
4-3-1	テキストで表示する [テキスト]画面	33
4-3-2	スペクトルで表示する [スペクトル]画面	36
4-3-3	スペクトル比較で表示する [スペクトル比較]画面	38
4-3-4	演色評価数で表示する [演色評価 (CRI)]画面	43
4-3-5	カメラフィルターで表示する [カメラフィルター]画面	45
4-3-6	照明フィルターで表示する [照明フィルター]画面	48
4-3-7	光源を比較して表示する [多灯比較]画面	51
4-3-8	ホワイトバランスグラフで表示する [WB 補正]画面	57
4-3-9	本体設定を表示する [本体設定]画面	59
5.	光源を測定する [測定画面]	61
5-1	測定方法	61
5-1-1	光源の色温度を合わせる場合	61
5-2	定常光モードでの測定	62
5-3	フラッシュ光コードレスモードでの測定	66
5-4	フラッシュ光コード接続モードでの測定	71
5-5	モニター機能 (定常光モードのみ)	77
5-6	[Over]、[Under] または [Filter N/A] 表示のときは	79
5-6-1	[Over]、[Under] または [Filter N/A] の表示	79
5-6-2	レンジを切り換える	81
6.	測定のツール [ツールボックス]画面	82
6-1	デジタル/フィルムの切り替え	83
6-2	プリセット内容の設定 [プリセット選択]画面	85
6-3	メモリー機能	88
6-3-1	メモリーした測定値にタイトルを付ける [メモリータイトル]画面	89
6-3-2	測定結果を呼び出す [メモリーリコール]画面	92
6-3-3	メモリータイトルを変更する [メモリーリネーム]画面	98
6-3-4	保存した測定結果を削除する [メモリークリアー]画面	101
7.	本体の設定 [本体設定]画面	106
7-1	本体設定の項目	106
7-1-1	項目一覧	108
7-2	カスタマイズする	109
7-2-1	各項目の仕様	110

7-2-2	シャッター速度のステップの選択	111
7-2-3	LB ステップの選択	114
7-2-4	カメラフィルターブランドの選択	116
7-2-5	照明フィルターブランドの選択	118
7-2-6	ホワイトバランスのステップの選択	120
7-2-7	スペクトルY 軸スケールの選択	122
7-2-8	オートパワーオフ時間の選択	125
7-2-9	液晶バックライト明るさの選択	127
7-2-10	液晶バックライト減灯時間の選択	129
7-2-11	カスタマイズ項目初期化	131
7-3	プリセットの編集	132
7-3-1	プリセット選択のリスト表示	135
7-3-2	プリセット名の設定	137
7-3-3	プリセット色温度の設定	139
7-3-4	LB 指数補正値の設定	142
7-3-5	CC 指数補正値の設定	144
7-4	ダーク補正	146
7-5	本体情報表示	149
7-5-1	法規表示	151
8.	ハードウェア設定画面	152
8-1	タッチパネル調整の調整	154
8-2	ユーザー情報の設定	157
8-3	工場出荷時設定	159
9.	付録	162
9-1	用語集	162
9-2	フィルターの種類	164
9-3	仕様	169
9-4	法的要求事項	173
10.	別売アクセサリ	174
11.	トラブルシューティング	175
12.	アフターサービスについて	177

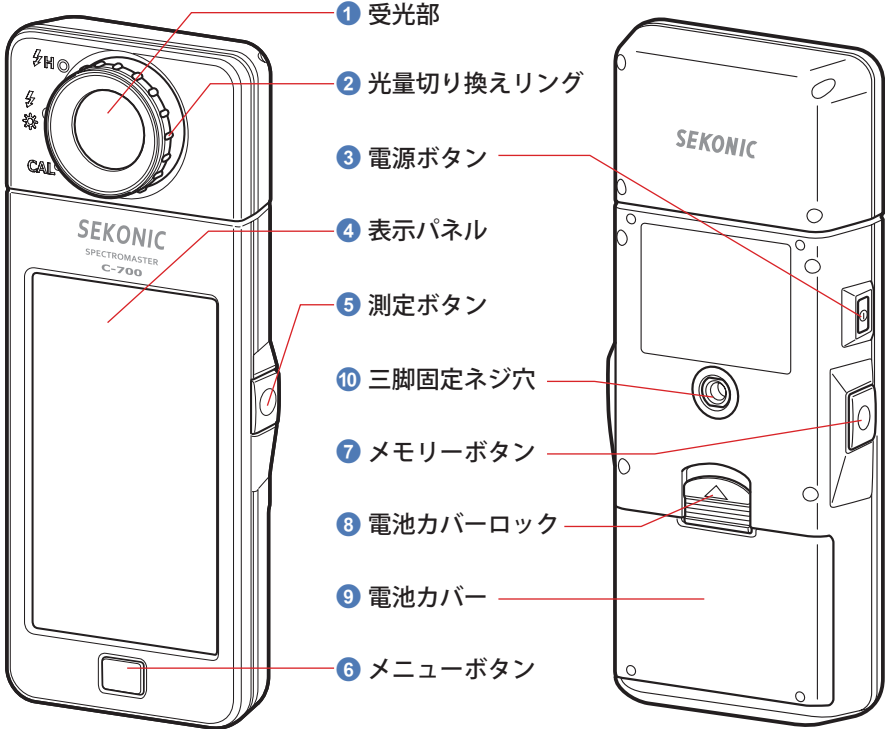
1. 各部の名称と機能

1-1

名称

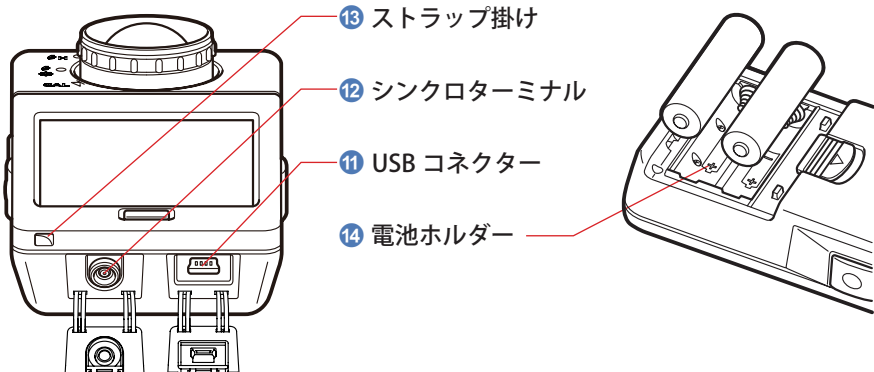
前面

背面



底面

電池カバー部



1-2 各部の名称と機能

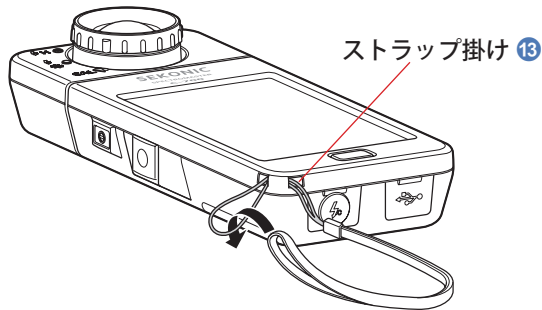
以下に各部の機能を示します。

No.	名称	機能
①	受光部	測定時、照明（光源）に向けます。270 度自由に回転します。
②	光量切り換えリング	ダーク補正やフラッシュ光の測定レンジ切り換えのため、回転させて光量を切り換えます。
③	電源ボタン	電源を ON/OFF します。
④	表示パネル	設定画面や測定画面などが表示されます。タッチパネル機能付きで、画面にタッチすることにより、各種設定・選択・操作を行うことができます。（➡P18）
⑤	測定ボタン	測定を行います。
⑥	メニューボタン	押すと表示モード選択画面に移ります。
⑦	メモリーボタン	測定後に押すと測定データを記憶します。
⑧	電池カバーロック	電池カバーのロック部です。
⑨	電池カバー	電池カバーです。
⑩	三脚固定ネジ穴	三脚固定用のネジ穴です（1/4 インチ、20 ネジ山）。
⑪	USB コネクター	アプリケーションをインストールしたコンピュータと接続する、また USB ケーブルを利用し電源供給するための USB コネクターです。 USB 端子：ミニ B コネクタ 5 ピン
⑫	シンクローターミナル	フラッシュ光接続モードでの測定時、シンクロコード（別売り）を差込みます。
⑬	ストラップ掛け	付属のストラップを掛けることができます。
⑭	電池ホルダー	電池収納部です。電池の極性を間違えずに正しく収納してください。

2. ご使用の前に

2-1 ストラップの付け方

1. 付属のストラップをストラップ掛け ⑬ 側面の穴から通します。
2. ストラップ先端の輪の中に、ストラップの反対側を通します。



警告

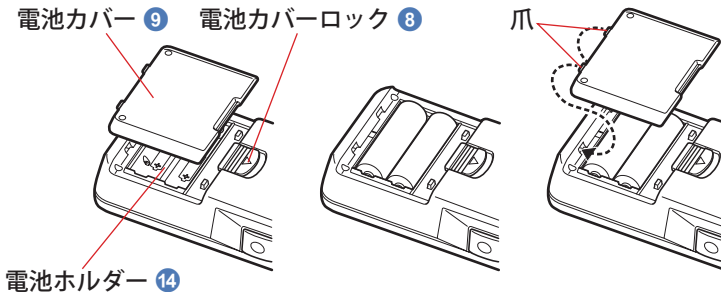
乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

注意

- 乳幼児等が誤ってストラップを掴んで振り回すことのないように手の届かない場所に置いてください。衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- 持ち運びの際に、ストラップが絡まないように注意してください。落下等の衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- ストラップの素材はポリエステル繊維を使用しています。合成繊維による皮膚のかぶれや発赤、かゆみを引き起こされているときは、症状の悪化を防ぐため、ご使用はお控えください。

2-2 電池の入れ方

1. 単三形電池を2本用意します。
2. 電池カバーロック ⑧ を矢印方向にずらした状態で、電池カバー ⑨ を取外します。
3. 電池ホルダー ⑭ の「+」「-」表示に合わせて、電池を入れます。
※図のように、2本とも同じ向きに入れてください。
4. 電池カバー ⑨ の2本の爪を差し込み、電池カバー ⑨ を上から押して取り付けます。



警告


電池を火の中に入れる、ショート、分解、加熱は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

注意

- 電池は-（マイナス）側から入れてください。
取り外すときは+（プラス）側から取り外してください。
- 銘柄の異なる電池を使用しないでください。
また、新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出しておいてください。
電池の液漏れが発生し、本機に悪影響を与えることがあります。

2-3 電源の ON/OFF

電源 ON

1. 光量切り換えリング ② を回してダーク補正位置 CAL () に設定します。
2. 電源ボタン ③ を押します。
本機が ON になり、オープニング画面が表示 (2 秒間) されます。

光量切り換えリング ②



電源ボタン ③

C-700 機種オープニング画面



⚠️ ご注意

- 電池交換後と、電源 OFF から 24 時間経過している場合に、青文字「SEKONIC」ロゴの画面が表示されます。
- ロゴ画面表示中に青いバーグラフが動いている間は、本体のメモリーチェックを行っています。
電源は切らないでください。故障の原因となる恐れがあります。

ロゴ画面



📖 ご参考

オープニング画面はタッチすることで省略することができます。

3. ダーク補正が行われます。

オープニング画面（2 秒間表示）の後に、ダーク補正を開始します。ダーク補正中は「ダーク補正中です。しばらくお待ちください。」とメッセージ表示されます。正常に行われると測定画面が表示されます。


ダーク補正中画面



ご参考


- ダーク補正は「前回ご使用時から 24 時間以上経過した時」「電池を交換した時」「ご使用後 24 時間以内でも急激な温度変化があった時」に電源を投入すると自動的に行われます。それ以外の場合は電源投入時のダーク補正はスキップされます。
- モデル JT10 の場合、言語設定ができます。

⚠️ ご注意

- 光量切り換えリング ② がダーク補正位置にセットされていないときは、「光量切り換えリングをダーク補正位置にセットしてください。」とメッセージが表示されます。光量切り換えリング ② をダーク補正位置 **CAL** () にセットしてダーク補正を行ってください。

ダーク補正位置確認画面



- ダーク補正が正常に行われなかった場合は、「ダーク補正が出来ませんでした。光量切り換えリングの位置を確認してください。」とメッセージが表示されます。光量切り換えリング ② をダーク補正位置 **CAL** () にセットしてダーク補正を行ってください。





ダーク補正確認画面



4. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ L  () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L  () またはレンジ H  () を選択します。(→P79、→P81)

⚠️ ご注意

ダーク補正位置で測定ボタン ⑤ を押すと「測定が出来ませんでした。光量切り換えリングの位置を確認してください。」とメッセージが表示されます。正しい位置に光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。測定画面が表示されます。



**ご参考**

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

電源 OFF**1. 電源ボタン ③ を 1 秒以上押します。**

本機が OFF し、表示が消えます。

**ご注意**

電源ボタン ③ の ON/OFF の間隔は 3 秒以上あげてください。

**ご参考**

- 液晶に何も表示されない場合は、電池がセットされているか、容量が充分あるか、または電池が「+」「-」逆に挿入されていないかをご確認ください。
- 電源を OFF しても、操作中の設定値・測定値は記憶されており、電源を ON すると再表示されます。

2-4 電池容量の確認

電源を ON すると、液晶表示部に電池容量を示すアイコンが表示されます。



電池容量は十分です。



電池容量に余裕があります。

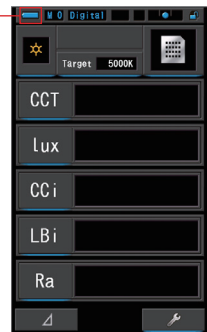


予備の電池を用意してください。



直ちに電池を交換してください。

電池容量



ご参考

- 電池容量がない状態では、電源を ON した後、液晶表示が現れすぐに表示が消える場合がありますが、故障ではありません。新しい電池に交換してください。予め予備の電池を用意しておくことをお勧めします。
- 連続測光した場合、本機の電池寿命は常温で約 8 時間です。(当社試験条件による)

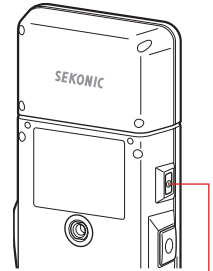
2-5 自動電源 OFF 機能

省電力設計のため、使用后（最後のボタン操作後）約 20 分で自動的にすべての表示が消え電源は OFF になります。



ご参考

- 自動電源 OFF 機能が働いて電源が OFF した場合でも、測定値・設定値・指示値は記憶されています。電源を ON することで再表示されます。
- 自動電源 OFF になる時間は本体設定で選択できます。（▶P125）
- 電源が切れた状態で電源ボタン ③ が押され続けたときは、電源はいったん ON しますが約 1 分後に自動的に OFF になります。（輸送中に電源ボタン ③ が押されたままになっていた場合でも電池の消耗を避けることができます。）



電源ボタン ③

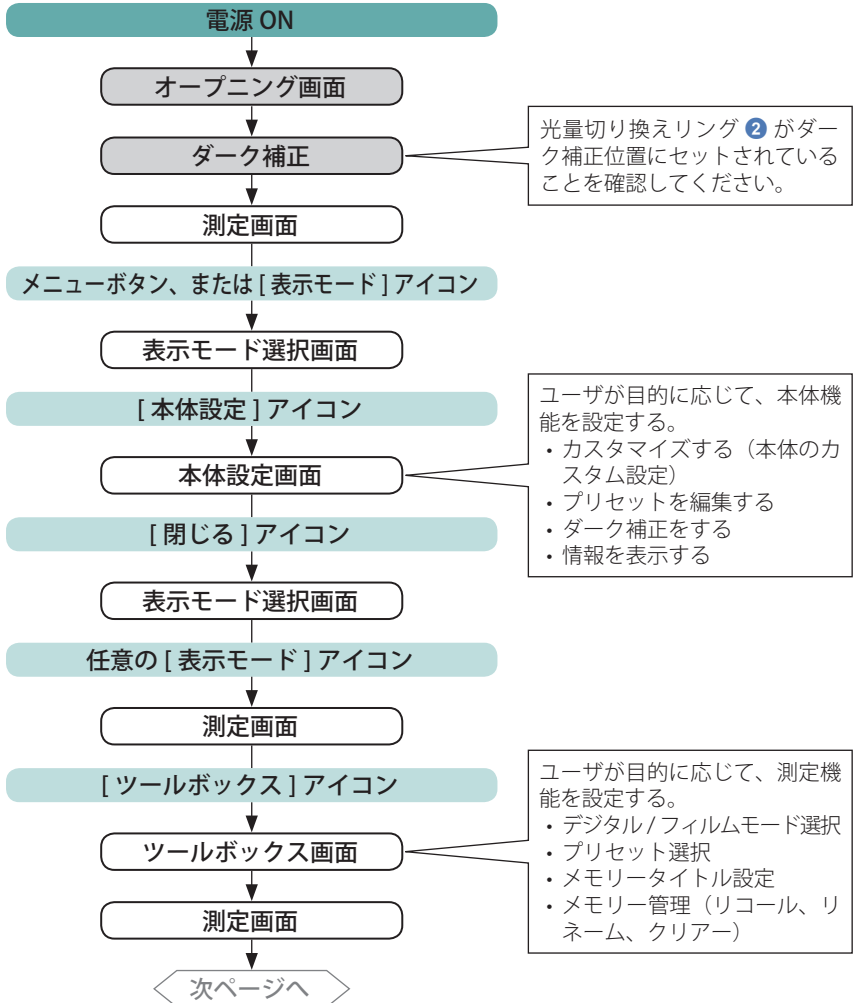
2-6 測定中の電池交換

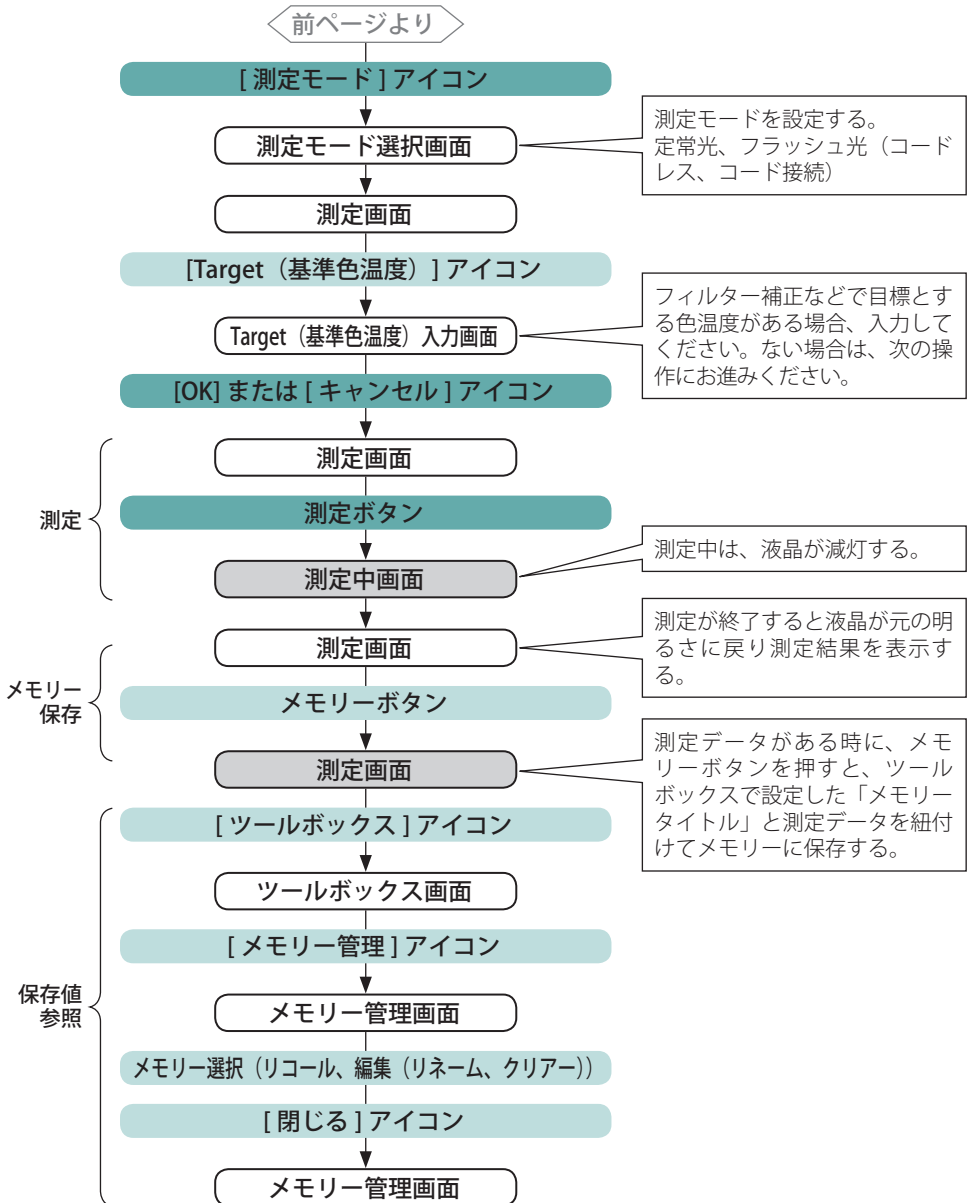
- 必ず電源を OFF にしてから電池交換を行ってください。故障の原因や操作中の測定値が記憶されません。
- 電池交換後または測定中、液晶表示部に異常な表示（設定していない表示等）が現われた場合や、操作ボタンを押しても動作しない場合は、電池を一度取り出し 10 秒以上経過してから入れ直してください。

3. 基本的な操作方法

3-1 基本的な操作の流れ

基本的な操作と画面は以下の通りです。測定や測定の変更は、測定画面から操作します。





3-2 画面と操作

3-2-1 基本画面と操作

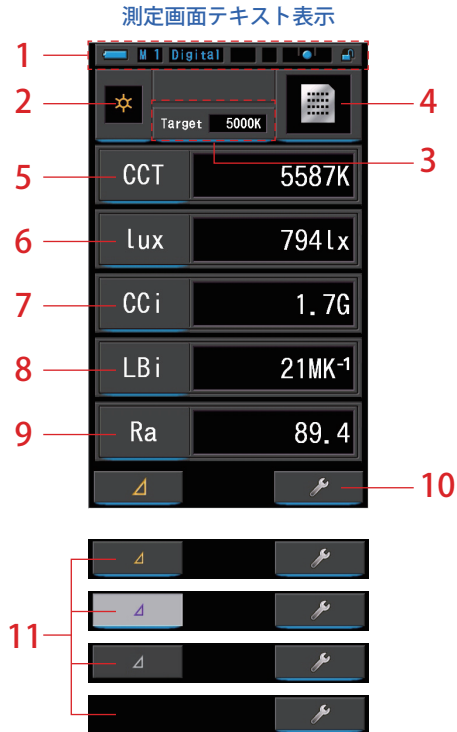
画面はタッチパネル方式であり、アイコンを指先でタッチすることにより、目的のメニューや項目を選択することができます。

測定画面

電源を ON するとオープニング画面が表示（2 秒間）されてから、ダーク補正を行います。ダーク補正が終了すると、測定画面が表示されます。

測定画面では、光源の測定や、測定条件の変更を行うことができます。各画面切り換えは、それぞれの項目を参照してください。

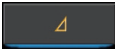
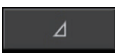


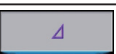





※ メニューボタン **6** を押しても表示モード選択画面へ移ります。



※ 設定されている測定モードにより表示が変わります。

※ 本表示は説明のため、すべてを表示しています。

項目一覧

No.	名称	説明
1	ステータスバー	設定内容を表示します。(▶P16)
2	[測定モード]アイコン	測定モードを表示します。(▶P22) 測定モード選択画面に移ります。
3	[Target (基準色温度)] アイコン	基準色温度を表示します。(▶P26) Target (基準色温度) 入力画面に移ります。
4	[表示モード]アイコン	表示モードを表示します。(▶P29) 表示モード選択画面 に移ります。
5~9	[項目選択]アイコン	項目選択画面に移ります。(▶P28)
10	[ツールボックス]アイコン	ツールボックス画面に移ります。(▶P82)
11	[デルタ]アイコン (定常光モードのみ)	 差分測定を行えるときに表示されます。
		 基準となる測定値がないとき、アイコンは無効となっています。
		 差分測定が行えないときは (Δ) アイコンは表示されません。
		 をタッチするとモニター機能を行う  白色アイコン表示になります。 測定ボタン  を押ししている間、全項目（フィルター名は除く）では基準値との差を表示します。（基準値とは、[デルタ]アイコンを押したときの測定値となります。） 測定ボタン  を放したときは基準値を表示します。（グラフ表示は基準値を表示します）
		 をタッチすると  に戻り最後に測定した値を表示します。モニター機能は電源を OFF すると解除されます。 注意：モニター機能を行っている間はメモリーボタン  は無効です。


ご参考

表示範囲外や測定範囲外の場合は、[Under]（アンダー）、[Over]（オーバー）または [Filter N/A]（表示範囲外）が表示されます。

Under： 測定範囲より低い（暗すぎるまたは色温度が低すぎる）時、表示します。

Over： 測定範囲より高い（明るすぎるまたは色温度が高すぎる）時、表示します。

Filter N/A： フィルター名および番号の組み合わせがない時、表示します。


ステータスバー



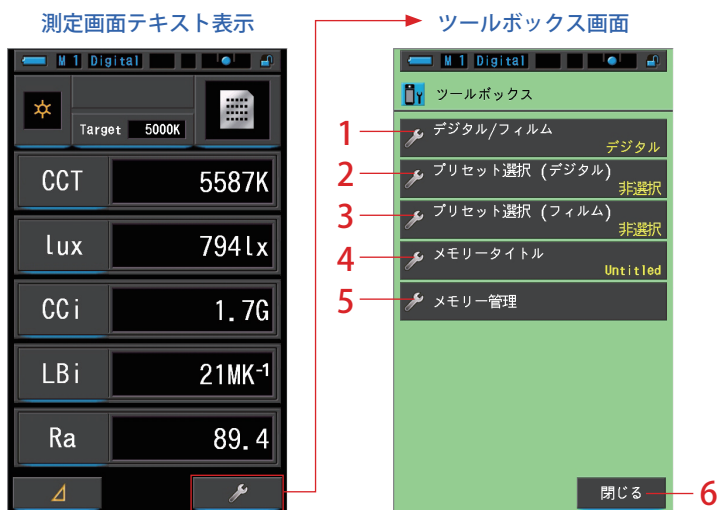
※ 本表示は説明のため、すべてを表示しています。

No.	名称	説明	
1	電池容量表示部		電池容量は十分です。
			電池容量に余裕があります。
			予備の電池を用意してください。
			直ちに電池を交換してください。
			USB 給電時に表示します。
2	メモリーカウント		メモリーされている測定データ数を表示します。マークの右にメモリー総数が 99 回まで表示されません。
3	デジタル、フィルムモード		デジタルモード時に表示します。
			フィルムモード時に表示します。
4	プリセット選択		プリセット選択されているとき、プリセット番号を表示します。
5	温度変動警告		マークが点灯しているときは、色温度の基準が変動しており、正確な測定ができない恐れがあります。ダーク補正を行ってください。
6	光量切り換えリング状態表示部		光量切り換えリング ② がダーク補正位置に選択されているときに表示します。
			光量切り換えリング ② がレンジ「L」選択されているときに表示します。
			光量切り換えリング ② がレンジ「H」選択されているときに表示します。
7	キーロック状態表示部		画面のロックが解除されている場合に表示されます。
			画面がロックされている場合に表示されます。画面がロックされている場合は、タッチパネル上の操作はできません。

ツールボックス画面

測定画面の [ツールボックス ()] アイコンをタッチすることにより、以下の設定を行うことができます。

※ ツールボックス画面は、説明のためすべてを表示しています。初期値ではありません。



[ツールボックス：項目一覧]

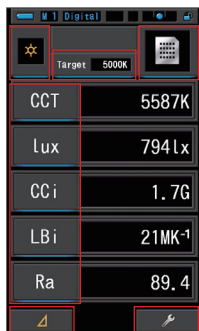
No.	名称	説明
1	デジタル/フィルム	デジタル/フィルム画面に移ります。(➡P83)
2	プリセット選択(デジタル)	プリセット選択画面に移ります。(➡P85)
3	プリセット選択(フィルム)	プリセット選択画面に移ります。(➡P85)
4	メモリータイトル	メモリータイトル入力画面に移ります。(➡P89)
5	メモリー管理	メモリー管理画面に移ります。(➡P92)
6	[閉じる] アイコン	ツールボックス画面を閉じて測定画面に戻ります。

3-2-2 アイコンの操作

タッチ操作

各アイコンをタッチすることで、任意の画面へ切り換えることができます。

(例) 測定画面テキスト表示



タッチ可能なアイコン

タッチできるアイコンはアイコンの下にブルーランプが点灯しています。



タッチできるアイコン



タッチできないアイコン

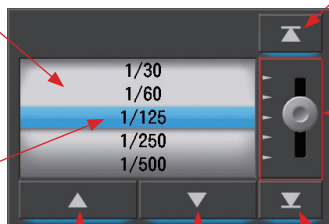
スライド操作

アイコンを指先でタッチすることにより、目的のメニューや項目を選択することができます。

(例) シャッター速度選択画面

スクロール選択

数値や項目などを指先で上下にスクロールさせ、表示内容を変更することができます。



先頭アイコン

選択肢の先頭まで一気に移動できます。

スクロールバー

上下にスライドさせて表示内容を変更することができます。

後尾アイコン

選択肢の最終まで一気に移動できます。

ワンステップアイコン

アイコンをタッチすると選択肢を1つだけ移動します。

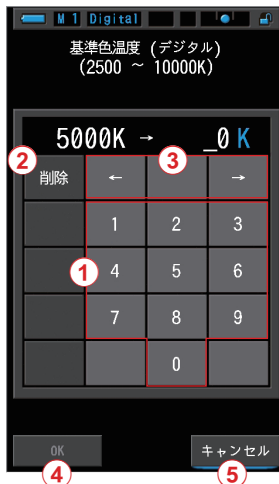
※ 選択されている箇所は背景青色となっています。

3-2-3 数字・文字の入力

数字と文字を入力することができます。

数値入力画面

(例) 基準色温度 (デジタル) 表示

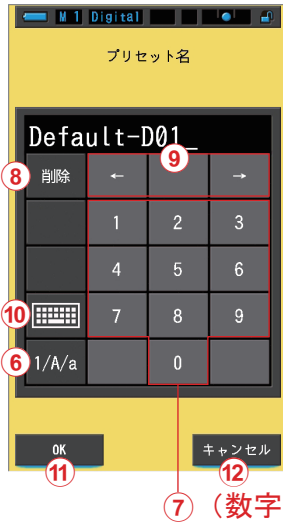


数値入力の方法

No.	キー	説明
①	0-9	数字を入力します。タッチすると上部に入力値が表示されます。
②	削除	カーソルの位置の文字を削除します。
③	← →	入力位置を移動します。
④	OK	入力値を確定して、元の画面に戻ります。
⑤	キャンセル	入力を無効にして、元の画面に戻ります。

文字入力画面

数字入力画面



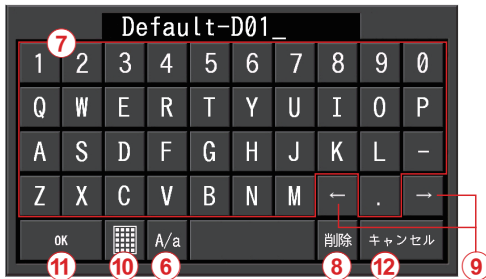
大文字入力画面



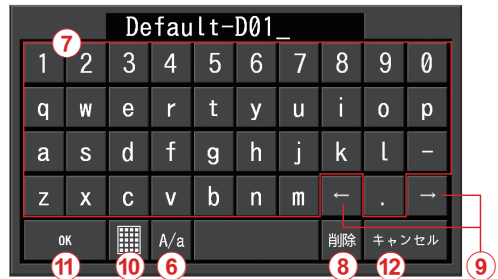
小文字入力画面



キーボード 大文字入力画面



キーボード 小文字入力画面



文字入力、数字入力の方法

No.	キー	説明
⑥	1/A/a	数字 / 大文字 / 小文字を切り換えます。
⑦	0-9、ABC、abc、ハイフン、ピリオド	タッチすると、上部に入力値が表示されます。アルファベット (ABC) は同じボタンを複数回タッチすることで入力文字を変更できます。
⑧	削除	カーソルの位置の文字を削除します。
⑨	← →	入力位置を移動します。
⑩	キーボード	入力画面をキーパッドとキーボードに切り換えます。
⑪	OK	入力値を確定して、元の画面に戻ります。
⑫	キャンセル	入力を無効にして、元の画面に戻ります。

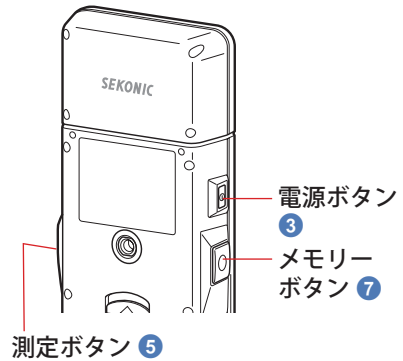
3-2-4 画面のロックと解除

誤操作をふせぎたいときに、画面をロックしておくことができます。


ロック状態では画面のタッチ操作は無効になります。

但し、メモリーボタン **7**、測定ボタン **5**、電源ボタン **3** は有効です。


また、電源を切ってもこの状態は保持されています。



ロック設定

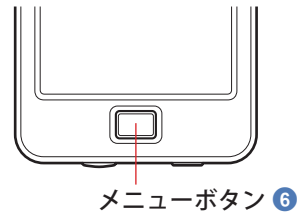
メニューボタン **6** を長押しすると、画面がロックされ、液晶画面の右上に [] アイコンが表示されます。

画面ロックが実施中のときは、液晶画面上のアイコンの操作ができなくなります。

ロック中アイコンにタッチしたとき、[] アイコンが約 1 秒間表示されます。

またメニューボタン **6** を押してのメニュー機能への操作もできなくなります。

※ ロック設定の操作は、測定画面で実施可能です。



ロック解除

もう一度メニューボタン **6** を長押しすると、画面のロックが解除されます。



4. 測定の設定を設定する

4-1 測定モードの選択

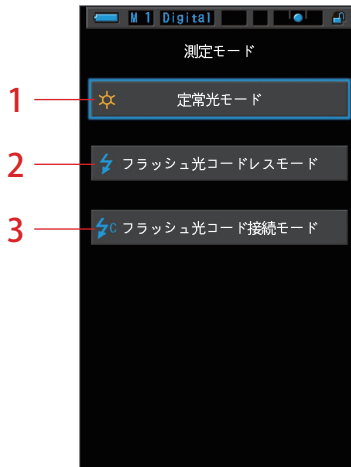
4-1-1 光源に測定モードを合わせる




ご使用となる測定方式を選択します。



測定モードの選択を変更すると、表示画面の測定データは消去されます。

測定モード選択画面



No.	測定モード	アイコン	説明
1	定常光モード		太陽光やタングステン光などの連続光を測定するときに選択します。(➡P62)
2	フラッシュ光コードレスモード		本体を測定待機状態(90秒間)にセットし、この間にフラッシュを発光させて測定するときに選択します。(➡P66)
3	フラッシュ光コード接続モード		本体とフラッシュをシンクロコードで接続して、測定するときに選択します。(➡P71)

操作

1. 画面左上の [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。



2. 測定モードでご使用となるアイコンをタッチします。

任意の測定モードを選択します。

選択すると画面が切り換わります。



例) 定常光モード→コードレスモード

定常光モードからフラッシュ光コードレスモードに切り換わりました。

ご参考

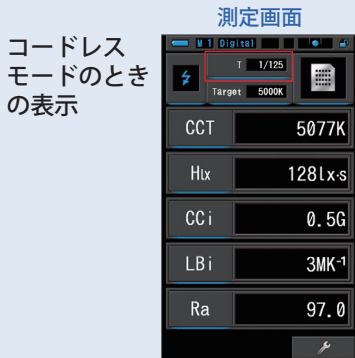
- 定常光とは、自然光（太陽光）またはタングステンランプ・蛍光灯のような連続光のことです。
- フラッシュ光とは、フラッシュまたはフラッシュバルブ（閃光電球）のような瞬間光のことです。

4-1-2 シャッター速度を選択する (フラッシュ光モードのみ)

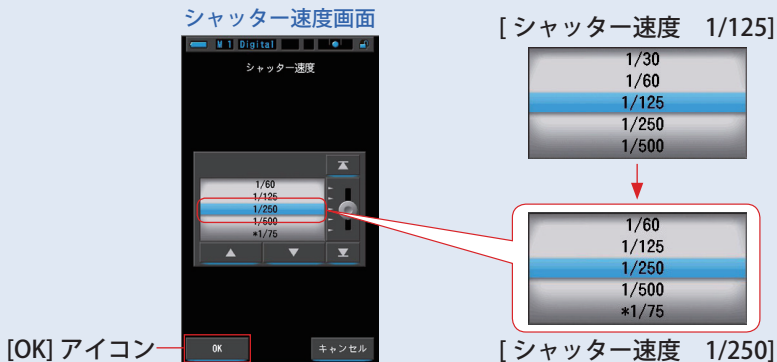
フラッシュ光を使用する場合は、シャッター速度を選択します。

操作

1. [シャッター速度]アイコンをタッチします。



2. ご使用になるシャッター速度を選択します。

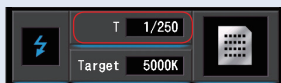


3. [OK]アイコンをタッチします。

内容が確定され測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

シャッター速度が設定されました。





シャッター速度の選択は、本体設定の1ページ目:項目[シャッター速度ステップ]で選択できます。

1ステップ、1/3ステップ、1/2ステップより選択できます。(▶P111)

シャッター速度の選択肢

1ステップ (工場出荷時)	1/3 ステップ	1/2 ステップ	1ステップ (工場出荷時)	1/3 ステップ	1/2 ステップ
1s	1s	1s		1/50	1/350
1/2	0.8	0.7		1/60	1/500
1/4	0.6	1/2		1/80	※ 1/75
1/8	0.5	1/3		1/100	※ 1/80
1/15	0.4	1/4		1/125	※ 1/90
1/30	0.3	1/6		1/160	※ 1/100
1/60	1/4	1/8		1/200	※ 1/200
1/125	1/5	1/10		1/250	※ 1/400
1/250	1/6	1/15		1/320	
1/500	1/8	1/20		1/400	
※ 1/75	1/10	1/30		1/500	
※ 1/80	1/13	1/45		※ 1/75	
※ 1/90	1/15	1/60		※ 1/80	
※ 1/100	1/20	1/90		※ 1/90	
※ 1/200	1/25	1/125		※ 1/100	
※ 1/400	1/30	1/180		※ 1/200	
	1/40	1/250		※ 1/400	

※特殊シャッター速度です。



- 高照度 (580 lx 以上) の下でフラッシュ光のみを測定する場合は、定常光の影響を低減させるために 1/250 sec か 1/500 sec のような高速シャッターを選択してください。低速シャッターを選択した場合は定常光の影響を受けて正しいフラッシュ光の測定ができない場合があります。
- シャッター速度の設定を変更すると、測定データは消去されます。

4-2 基準色温度の設定 [Target (基準色温度)] 画面

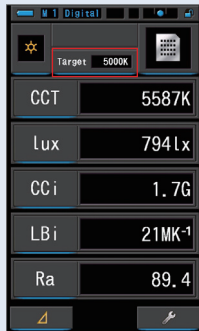
4-2-1 基準となる色温度を設定する

基準となる色温度があり、測定値との差を補正量で見たい場合に設定します。
基準色温度は、測定画面中央上に表示されています。

操作

1. 測定画面の [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

(例) 測定画面テキスト表示



2. 基準色温度の数値を入力します。

基準色温度は、現在の設定値と入力している数値を表示します。

Target (基準色温度) 入力画面



3. [OK] アイコンをタッチします。

数値を確定して測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

基準色温度が設定されました。



デジタルの場合

- 使用するカメラにマニュアル設定する色温度と同じ色温度に設定します。ホワイトバランスモードやメーカーによっては忠実色再現のために推奨する色温度があります。ご使用になっているカメラの取扱説明書をご確認ください。
- 2,500 K～10,000 Kまで、10 Kステップで設定可能です。
- 複数の基準色温度を使用する頻度が高い場合は、プリセットを使用すると便利です。(➡P85)

フィルムの場合

- 使用するフィルムのタイプの色温度を設定します。
デイルイトタイプ : 5,500 K
タンダステンタイプ -A : 3,400 K
タンダステンタイプ -B : 3,200 K
- 2,500 K～10,000 Kまで、10 Kステップで設定可能です。

4-2-2 表示項目の選択

表示したい項目を選択します。
表示項目は複数ある項目の中から任意に選択できます。

操作

1. 測定画面の [項目選択] アイコンをタッチします。

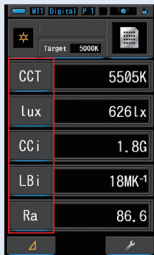
項目一覧画面が表示されます。(⇒P34)

2. 表示する項目を選択します。

選択した項目とその値が表示されます。

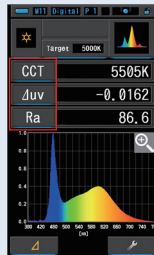
測定画面テキスト表示

(⇒P33)



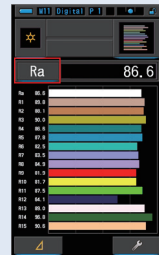
測定画面スペクトル表示

(⇒P36)



測定画面
演色評価 (CRI) 表示

(⇒P43)

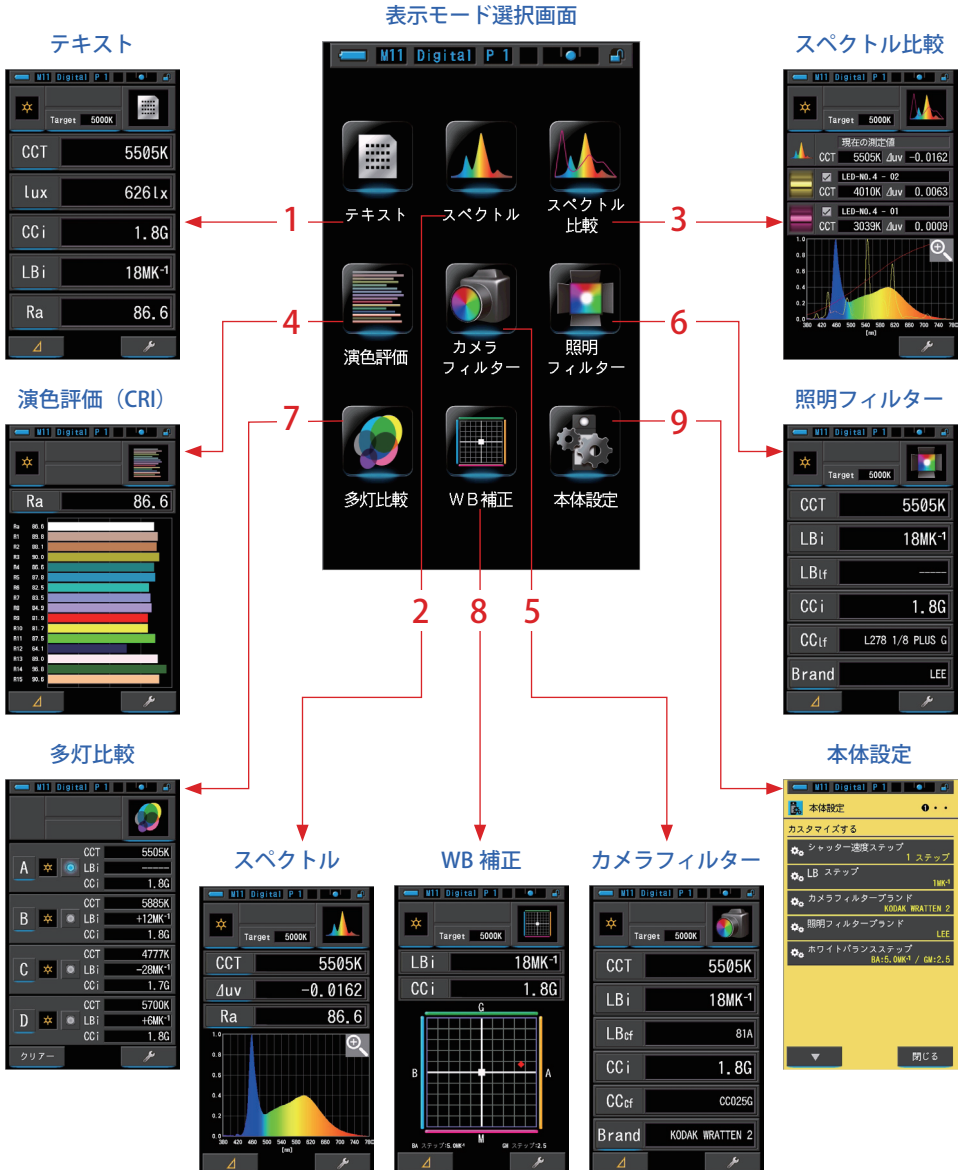


表示項目一覧

No.	アイコン	名称	説明
1	CCT	色温度表示	デジタルモード時：相関色温度を表示します。
	PCT		フィルムモード時：写真的色温度を表示します。
2	Δuv	色温度偏差	黒体放射軌跡からの偏差を表示します。
3	lux	照度	照度を lx で表示します。
4	Hlx	露光量	露光量を lx・s で表示します。
5	CCi	CC 指数補正量	CC 補正量を CC 指数 (index) で表示します。
	CCcf	CC カメラフィルター	CC 補正量を補正フィルター名で表示します。 フィルターブランドは、本体設定で選択します。
CClf	CC 照明フィルター		
7	LBi	LB 指数補正量	LB 補正量を LB 指数 (index) で表示します。
	LBcf	LB カメラフィルター	LB 補正量を補正フィルター名で表示します。 フィルターブランドは、本体設定で選択します。
LBlf	LB 照明フィルター		
9	Ra	平均演色評価数	R1 ~ R8 の平均演色評価数を表示します。
10	R1 ~ R15	演色評価数	R1 ~ R15 までの各演色評価数を表示します。

4-3 表示モードの選択

表示モード選択画面で、目的に応じて指示値の表示方法を切り換えます。
※ メニューボタン **6** を押すと表示モード選択画面に移ります。



表示モードアイコン一覧

No.	アイコン	名称	説明
1	 テキスト	[テキスト]アイコン	選択した5項目を数値で表示します。 (▶P33)
2	 スペクトル	[スペクトル]アイコン	測定値とスペクトル(分光分布)グラフを表示します。(▶P36)
3	 スペクトル比較	[スペクトル比較]アイコン	現在の測定値と、2点までのメモリーした値をスペクトルグラフ上に黄・赤の曲線で表示し比較します。(▶P38)
4	 演色評価	[演色評価]アイコン	選択した平均演色評価数(Ra)または個々の演色評価数(R1~R15)を表示します。また各演色評価数を棒グラフで表示します。(▶P43)
5	 カメラフィルター	[カメラフィルター]アイコン	設定した基準色温度と測定値の差をカメラに設定するフィルター名と補正量で表示します。(▶P45)
6	 照明フィルター	[照明フィルター]アイコン	設定した基準色温度と測定値の差を照明に設定するフィルター名と補正量で表示します。(▶P48)
7	 多灯比較	[多灯比較]アイコン	複数の測定値に対して、基準値からの補正量を表示します。(▶P51)
8	 WB補正	[WB補正]アイコン	現在の測定値と基準色温度の差をホワイトバランスのグラフ上で表示します。(▶P57)
9	 本体設定	[本体設定]アイコン	本体設定画面を表示します。(▶P59)

※1~8までは、測定画面となります。

操作

1. 測定画面の[表示モード]アイコンをタッチ、または本体のメニューボタン⑥を押します。

表示モード選択画面が表示されます。(⇒P29)

表示モード No.1 ~ 8 までの表示は測定用です。

表示モード No.9 は本体設定用です。


2. 表示するアイコンをタッチします。


画面が切り換わり、選択した測定画面が表示されます。



3. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(⇒P79、⇒P81)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②

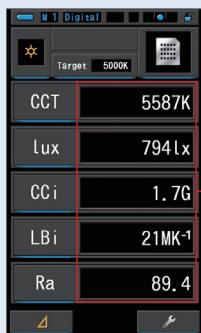


 ご参考

- 光源の色温度を正しく測定する場合、受光部 ① を光源に正対させて測定してください。
- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

4. 測定結果をテキスト画面で表示します。

測定画面テキスト表示



The image shows a smartphone screen displaying measurement results. At the top, there is a 'Target 5000K' indicator. Below it, a table lists five metrics: CCT (5587K), Lux (794 lx), CCI (1.7G), LBI (21MK⁻¹), and Ra (89.4). A red box highlights the CCT, Lux, CCI, and LBI rows. A red line points from the text '測定結果' to the CCI value.

CCT	5587K
Lux	794 lx
CCI	1.7G
LBI	21MK ⁻¹
Ra	89.4

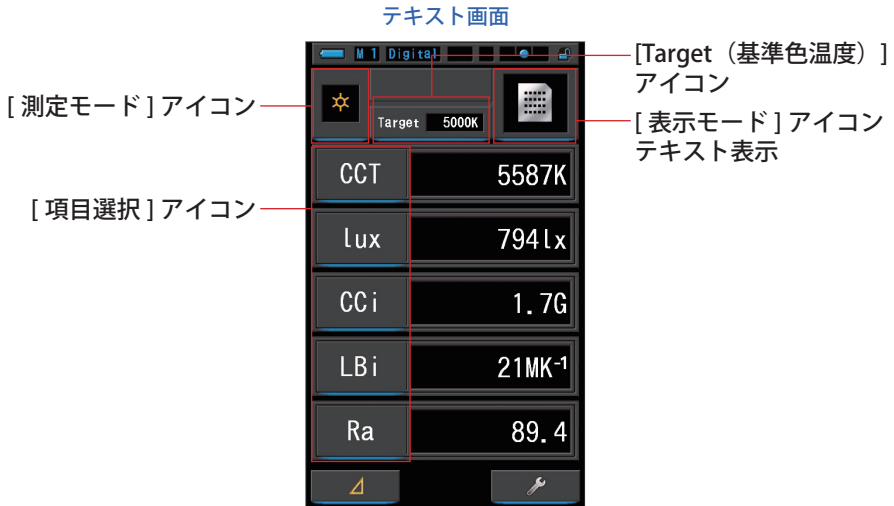
5. 測定内容をメモリーします。

測定内容をメモリーできます。

測定値を記録したいときは、メモリー操作を行ってください。(▶P88)

4-3-1 テキストで表示する [テキスト]画面

選択した5項目が、テキスト表示されます。



操作

1. 表示モードの[テキスト]アイコンをタッチします。
テキスト画面が表示されます。(⇒P29)
2. [測定モード]アイコンをタッチします。
測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P22)
3. [Target (基準色温度)]アイコンをタッチします。



Target (基準色温度) 入力画面が表示されます。(⇒P26)
色温度を設定します。

4. 測定画面の [項目選択] アイコンをタッチします。

表示項目が表示されます。

選択されたアイコンは、青枠表示されます。

5. ご使用になる表示項目を選択し、[OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、テキスト画面に戻ります。

内容を変更せず、テキスト画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

表示項目

定常光モードのとき フラッシュ光モードのとき
1 ページ 1 ページ

フィルムモード時の場合
PCT

定常光、フラッシュ光
モードのとき
2 ページ

テキスト画面

[項目選択] 表示変更を行うアイコンをタッチする

2 ページへ

1 ページへ

表示する項目アイコンを選択します

選択されたアイコンは青枠表示されます


[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン

表示項目が変更されました

6. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

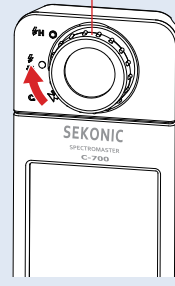
光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ L () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L () またはレンジ H () を選択します。
(→ P79、 → P81)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング ②



測定ボタン ⑤



低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

7. 測定内容をメモリーする

測定内容をメモリーできます。

測定値を記録したいときは、メモリー操作を行ってください。(→ P88)

4-3-2 スペクトルで表示する [スペクトル] 画面

測定結果をスペクトル（分光分布）グラフで表示します。

スペクトル画面



操作

1. 表示モードの[スペクトル]アイコンをタッチします。

スペクトル（分光分布）グラフ画面が表示されます。(⇒P29)

2. [測定モード]アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P22)

3. [Target (基準色温度)]アイコンをタッチします。


Target (基準色温度) 入力画面が表示されます。(⇒P26)
色温度を設定します。



4. [項目選択]アイコンをタッチします。

表示項目が表示されます。(⇒P34)
[表示項目]アイコンをタッチして、項目を選択します。

5. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

光量切り換えリング ② を回してレンズを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ L () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L () またはレンジ H () を選択します。

(⇒P79、⇒P81)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング ②



ご参考

低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

6. 画面内の [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

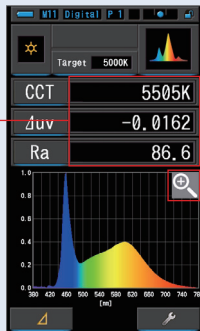
スペクトル (分光分布) グラフを拡大表示します。

拡大グラフは画面全体 (横向き) に表示されます。

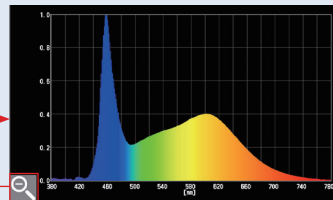
スペクトル (分光分布) グラフ (拡大) の [虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、
スペクトル画面に戻ります。

スペクトル画面

測定内容が
表示されま
した



スペクトル (分光分布) グラフ 拡大表示



グラフ (拡大) の表示をしている場合は、測定できません。



ご参考

本体設定の 2 ページ目：項目 [スペクトル Y 軸スケール] アイコンで、Y 軸の
最大表示値が選択できます。(⇒P122)

7. 測定内容をメモリーします。

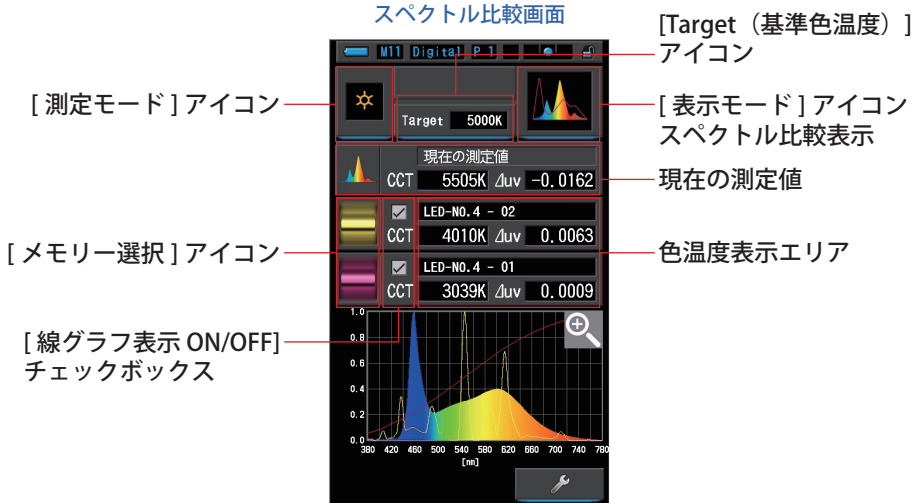
測定内容をメモリーできます。

測定値を記録したいときは、メモリー操作を行ってください。(⇒P88)

4-3-3

スペクトル比較で表示する [スペクトル比較] 画面

スペクトル比較は現在の測定値とあらかじめメモリーした値を2つまで表示・比較します。



操作

1. 表示モードの [スペクトル比較] アイコンをタッチします。

スペクトル比較画面が表示されます。(⇒P29)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。


測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P22)

3. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

Target (基準色温度) 入力画面が表示されます。(⇒P26)
色温度を設定します。

4. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

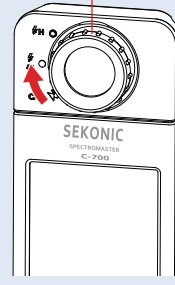
光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ L () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L () またはレンジ H () を選択します。
(→ P79、 → P81)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング ②



測定ボタン ⑤



ご参考

低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

5. 現在の測定値は面グラフで表示されます。

測定されている値は面グラフで表示されます。

6. [メモリー選択] アイコンをタッチします。

[スペクトル比較メモリー] 画面が表示されます。

スペクトル比較画面

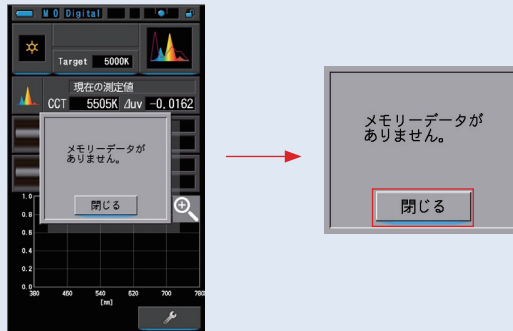


スペクトル比較メモリー画面



メモリーにデータが登録されていないときは、ポップアップ画面にメッセージが表示されます。

メモリー選択ポップアップ画面



「メモリーデータがありません。」メッセージを確認後、[閉じる]アイコンをタッチしてください。スペクトル比較画面に戻ります。

7. スペクトル比較するメモリーデータを選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。比較するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

スペクトル比較タイトル/メモリー画面



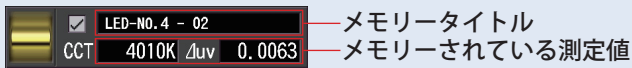
8. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定してスペクトル比較画面に戻ります。

[キャンセル]アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

9. スペクトル比較画面に、選択されたメモリのタイトルと測定値を表示します。

メモリのタイトル表示

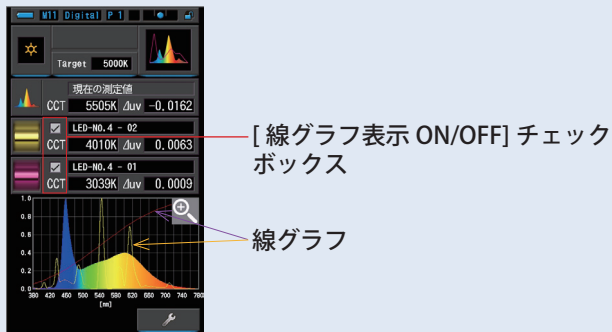


10. スペクトルグラフ内に線グラフで表示します。

[線グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、線グラフの表示/非表示の切り換えができます。

※表示のときにします。表示させないときはにします。

スペクトル比較画面



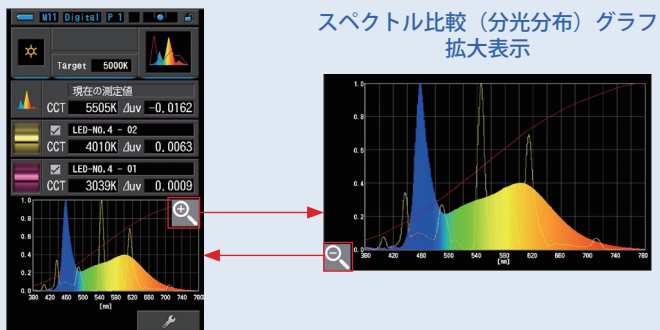
11. [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

スペクトル比較（分光分布）グラフを拡大表示します。

拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

スペクトル比較（分光分布）グラフ（拡大）の[虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、スペクトル比較画面に戻ります。


スペクトル比較画面



**ご注意**

グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。

**ご参考**

- 本体設定の2ページ目：項目 [スペクトルY軸スケール] アイコンで、Y軸の最大表示値を選択できます。（▶P122）
- スペクトル比較ではプリセット選択中であってもモニターモード設定ボタン [] は非表示となります。

12. 測定内容をメモリーします。

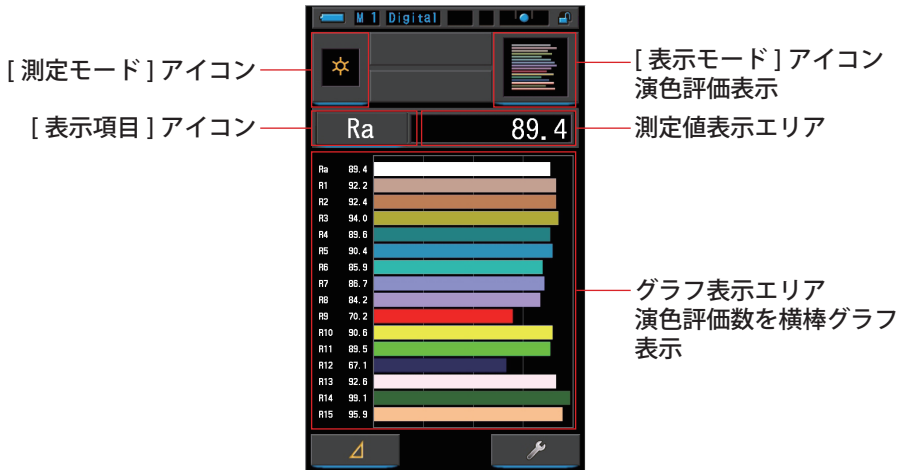
測定内容をメモリーできます。

測定値を記録したいときは、メモリー操作を行ってください。（▶P88）

4-3-4 演色評価数で表示する [演色評価 (CRI)] 画面

測定結果を演色評価数 (CRI) で表示します。

演色評価 (CRI) 画面



操作

1. 表示モードの [演色評価] アイコンをタッチします。


演色評価 (CRI) 画面が表示されます。(⇒ P29)



2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒ P22)

3. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。

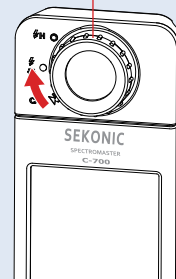
定常光測定の場合は、必ずレンジ L () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L () またはレンジ H () を選択します。

(⇒ P79、⇒ P81)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング ②



測定ボタン ⑤

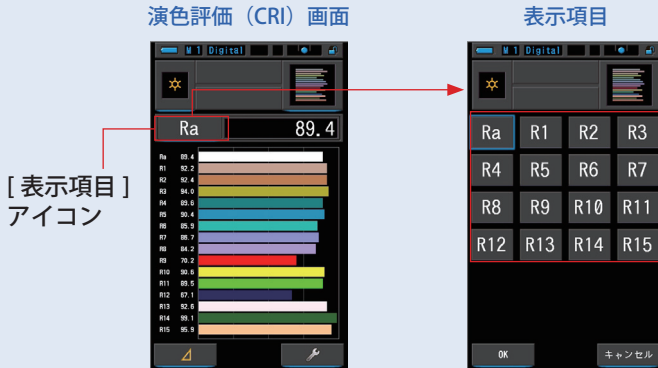


ご参考

- グラフ表示エリア Ra、R1～R15 は常時表示されています。
- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。
- Ra は R1 から R8 の平均値であり、R9 から R15 は含みません。

4. [表示項目] アイコンをタッチします。

表示項目が表示されます。



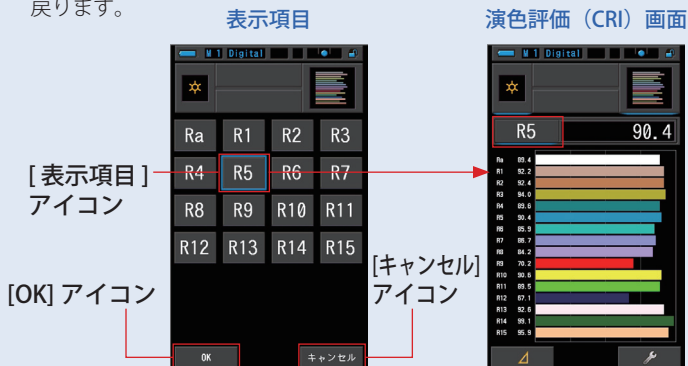
5. 表示する項目アイコンをタッチします。

グラフの上部に表示したい項目を選択します。
タッチすると、青枠表示になります。

6. [OK] アイコンをタッチします。

[OK] アイコンで、演色評価 (CRI) 画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、表示項目は変更せずに、演色評価 (CRI) 画面に戻ります。



4-3-5 カメラフィルターで表示する [カメラフィルター] 画面

設定した基準色温度と測定値の差をカメラのレンズに装着するフィルターの名称と補正量を表示します。(KODAK WRATTEN 2、FUJIFILM、LEE)



操作

1. 表示モードの [カメラフィルター] アイコンをタッチします。
カメラフィルター画面が表示されます。(⇒ P29)
2. [測定モード] アイコンをタッチします。
測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒ P22)
3. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。
Target (基準色温度) 入力画面が表示されます。(⇒ P26)
色温度を設定します。

4. 項目の [Brand] アイコンをタッチします。

カメラフィルターブランド選択画面が表示されます。
ご使用となるカメラフィルターのブランドを選択します。

カメラフィルター画面 カメラフィルターブランド選択画面



5. [OK] アイコンをタッチします。

[OK] アイコンでカメラフィルター画面に戻ります。


[キャンセル] アイコンをタッチすると、フィルターブランドは変更せずに、カメラフィルター画面に戻ります。





カメラフィルターブランドは、コダックラッテン2、富士フィルムまたはLEEを選択できます。

6. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

光量切り換えリング ② を回してレンズを合わせてください。

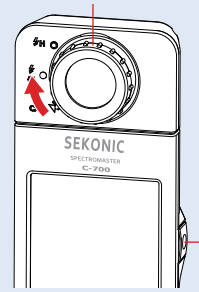
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→ P79、→ P81)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング ②



測定ボタン ⑤

**ご参考**

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

7. 測定内容をメモリーします。

測定内容をメモリーできます。

測定値を記録したいときは、メモリー操作を行ってください。（▶P88）

**ご参考**

フィルターブランドの設定については本体設定の 1 ページ目：項目 [カメラフィルターブランド] でカメラフィルターのブランドを選択できます。（▶P116）

4-3-6

照明フィルターで表示する [照明フィルター] 画面

設定した基準色温度と測定値の差を照明に装着するフィルター名称と補正量を表示します。(LEE、ROSCO CINEGEL と、ROSCO E-COLOUR+)



操作

1. 表示モードの [照明フィルター] アイコンをタッチします。

照明フィルター画面が表示されます。(➡ P29)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

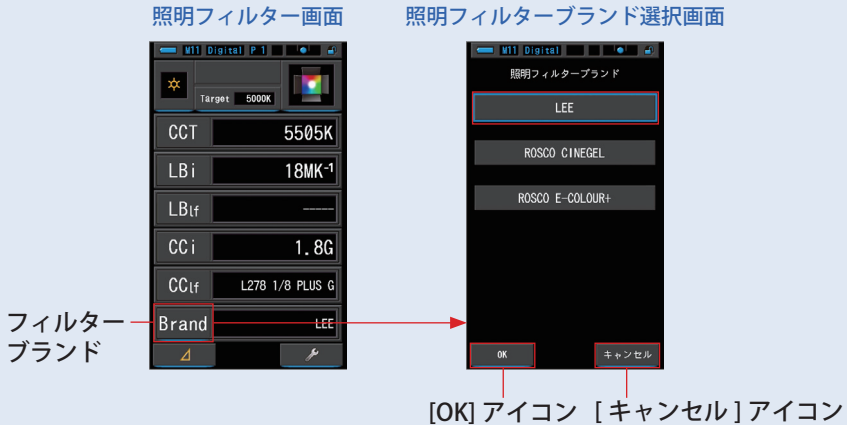
測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(➡ P22)

3. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

Target (基準色温度) 入力画面が表示されます。(➡ P26)
色温度を設定します。

4. 項目の [Brand] アイコンをタッチします。

照明フィルターブランド選択画面が表示されます。
ご使用となる照明フィルターブランドを選択します。



5. [OK] アイコンをタッチします。

[OK] アイコンで照明フィルター画面に戻ります。


[キャンセル] アイコンをタッチすると、照明フィルターブランドは変更せずに、照明フィルター画面に戻ります。



LEE、ROSCO CINEGEL または ROSCO E-COLOUR+ を選択できます。
メーターは両方の LB (CTO、CTB) および CC (プラス/マイナスグリーン) のブランドフィルター番号と一般的なフィルター値が表示されます。

6. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

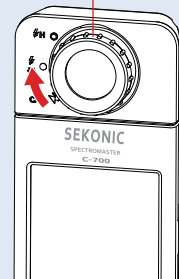
光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ L () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L () またはレンジ H () を選択します。
(→ P79、 → P81)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング ②



測定ボタン ⑤

**ご参考**

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

7. 測定内容をメモリーします。

測定内容をメモリーできます。

測定値を記録したいときは、メモリー操作を行ってください。（▶P88）

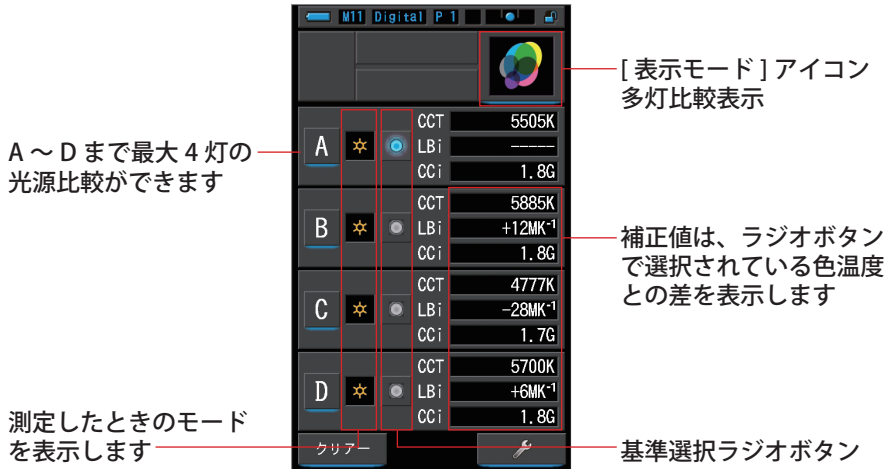
**ご参考**

フィルターブランドの設定については本体設定の 1 ページ目：項目 [照明フィルターブランド] で照明フィルターのブランドを選択できます。（▶P118）

4-3-7 光源を比較して表示する [多灯比較]画面

複数の光源を測定し、その中の一つの光源を基準として他の光源を合わせる場合に使用します。

多灯比較画面



操作

1. 表示モードの [多灯比較] アイコンをタッチします。

多灯比較画面が表示されます。(⇒P29)

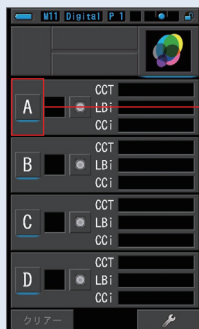
2. [A] アイコンをタッチします。

[A] の測定画面が表示されます。

多灯比較画面


多灯比較の測定画面 [A]

[A] アイコン
をタッチし
ます



3. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

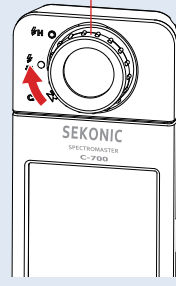
光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ L () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L () またはレンジ H () を選択します。
(→ P79、 → P81)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング ②



測定ボタン ⑤

多灯比較の測定結果画面

フィルター名称	*CCT	5505K
	*LBi	—
	*CCi	1.8G
	LBitr	—
	CCtr	L278 1/8 PLUS G
フィルターブランド	Brand	LEE
	閉じる	[閉じる]アイコン



ご参考

- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。
- 多灯比較の測定画面で測定した値をメモリー保存することができます。

4. 多灯比較の測定画面の [項目] アイコンをタッチします。

多灯比較の表示項目が表示されます。
 選択されたアイコンは青枠表示されます。



5. ご使用になる表示項目を選択し、[OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、多灯比較の測定画面に戻ります。

内容を変更せず、多灯比較の測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

*で表示された3つの項目は、多灯比較画面に表示されます。





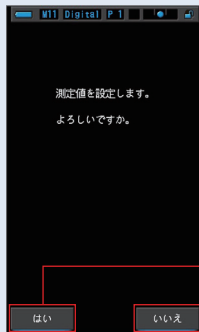
ご参考

- CCI : CC 指数は、黒体放射軌跡からの差分を指数で表示します。
- Δ CI : Δ CC 指数は、基準になる光源の CC 指数から他の測定した光源の CC 指数の差分を指数で表示します。
- CCIf : CC 照明フィルタは、黒体放射軌跡からの差分を CC 補正フィルタの番号で表示します。
- Δ CCIf : Δ CC 照明フィルタは、基準になる光源の CC 補正值から他の測定した光源の CC 補正值の差分をフィルタの番号で表示します。基準とした光源に CC 補正フィルタでの補正ができない場合（例えば天井に付けられた蛍光灯など）、他の光源を基準になる光源に合わせるのに便利です。

6. 測定画面 [A] の [閉じる] アイコンをタッチします。

「測定値を設定します。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。

メッセージ確認画面



[はい] アイコン

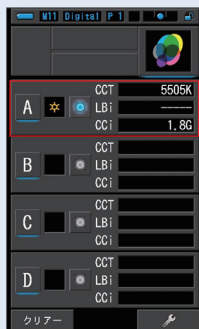
[いいえ] アイコン

7. [はい] アイコンをタッチします。

多灯比較画面に戻ります。(光源 [A] に測定内容が反映されます)

内容を反映せず、多灯比較画面に戻る場合は、[いいえ] アイコンをタッチします。

多灯比較画面



測定内容が反映されました

8. [A] アイコンと同様にその他の光源を測定します。

A～Dまでの最大4灯の光源比較ができます。



ご参考

- 測定した内容を確認するときは、A～Dアイコンをタッチしてください。測定内容を確認できます。
- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。
- 多灯比較の測定画面で測定した値をメモリー保存することができます。

9. 基準とする光源のラジオボタンにタッチします。

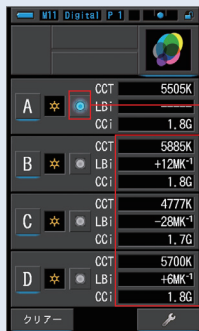
（●：選択状態、○：非選択状態）

ラジオボタンで選択した任意の光源に対するそれぞれの光源の補正値が表示されます。補正値は項目選択画面で選択された値で表示されます。

LB/CC 指数もしくは LB/CC 照明フィルターを選択しても選択した基準光源は「----」が表示されます。

また、基準光源に対する指示値に差がない場合も「----」が表示されます。

多灯比較画面



基準選択ラジオボタン
選択状態

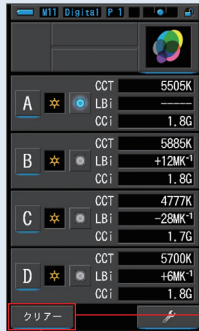
補正量表示


ご参考

測定した内容をクリアし、最初から測定しなおす場合は、[クリア]アイコンをタッチします。

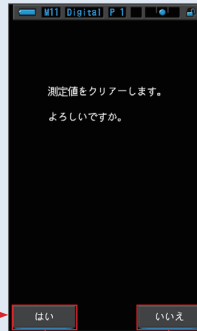
多灯比較クリア確認画面を表示します。

多灯比較画面



[クリア]アイコン

クリア確認画面



[はい]アイコン

[いいえ]アイコン

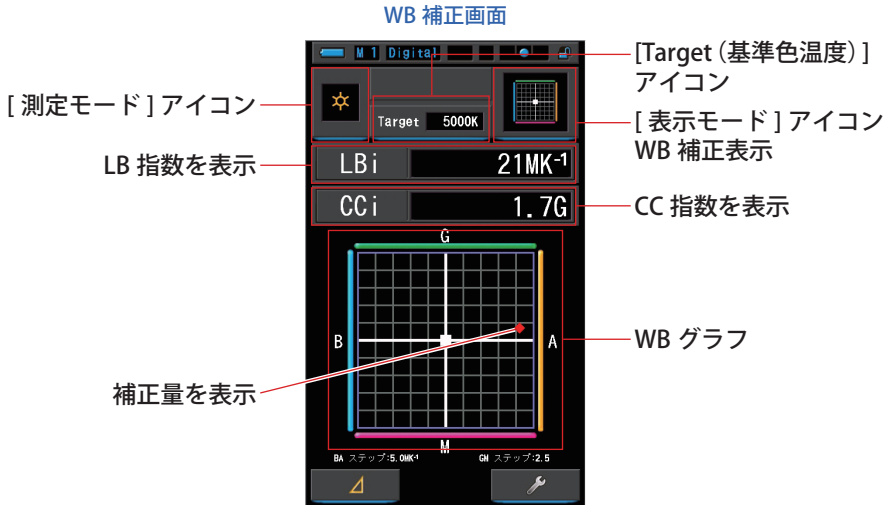
[はい]アイコンをタッチします。

全て (A ~ D) のメモリーを削除して多灯比較画面に戻ります。

[いいえ]アイコンをタッチすると削除せずに多灯比較画面に戻ります。

4-3-8 ホワイトバランスグラフで表示する [WB 補正] 画面

現在の測定値と基準色温度の差をホワイトバランスのグラフ上で表示します。



操作

1. 表示モードの [WB 補正] アイコンをタッチします。

WB 補正画面が表示されます。(⇒P29)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。


測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P22)

3. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

Target (基準色温度) 入力画面が表示されます。(⇒P26)
色温度を設定します。

4. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ L () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L () またはレンジ H () を選択します。
(▶ P79、▶ P81)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング ②



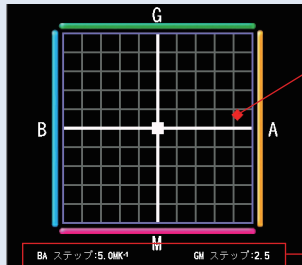
測定ボタン ⑤



ご参考

低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

5. 赤い点が基準に対する補正量を示しています。



補正量を表示

1 マスあたりの数値を表示

6. 測定内容をメモリーします。

測定内容をメモリーできます。

測定値を記録したいときは、メモリー操作を行ってください。(▶ P88)



ご参考

本体設定の 1 ページ目：項目 [ホワイトバランスステップ] で 1 マスあたりの数値が変更できます。ご使用となるカメラの数値に合わせてください。(▶ P120)

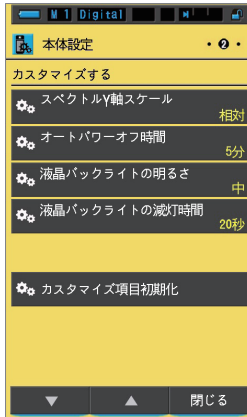
4-3-9 本体設定を表示する [本体設定]画面

本体の設定内容を表示します。ご使用方法に合わせて内容を変更することもできます。本体設定の設定方法や仕様の詳細については、「7-1-1 項目一覧」を参照してください。(⇒P108)

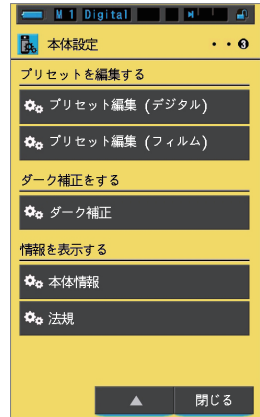
本体設定画面
1 ページ



本体設定画面
2 ページ

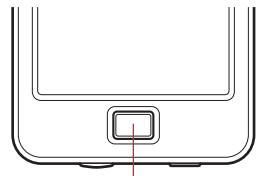


本体設定画面
3 ページ



⚠️ ご注意

メニューボタン ⑥ を押すと、操作中の設定を中断して表示モード選択画面に移ります。



メニューボタン ⑥

操作

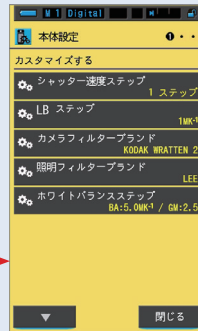
1. 表示モードの[本体設定]アイコンをタッチします。

本体設定画面が表示されます。

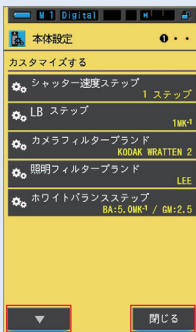
表示モード選択画面



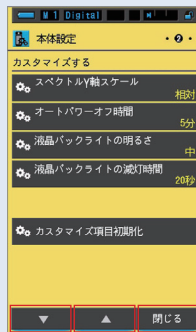
本体設定画面 1 ページ



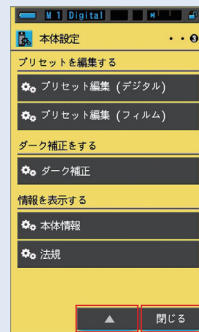
2. 本体設定は項目（白文字）と設定内容（黄文字）が表示されています。各項目にタッチすると設定を変更できます。

本体設定画面
1 ページ

2 ページへ

本体設定画面
2 ページ

3 ページへ 1 ページへ

本体設定画面
3 ページ

2 ページへ

[閉じる] アイコン

[閉じる] アイコンをタッチすると、表示モード選択画面に戻ります。本体設定の設定方法や仕様の詳細については、「7-1-1 項目一覧」を参照してください。(▶P108)

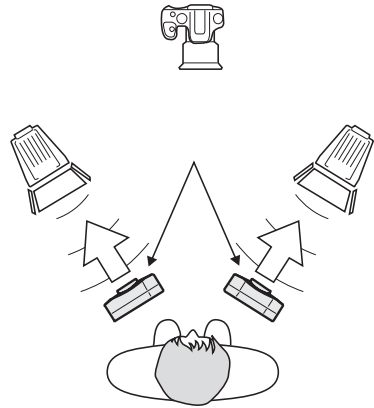
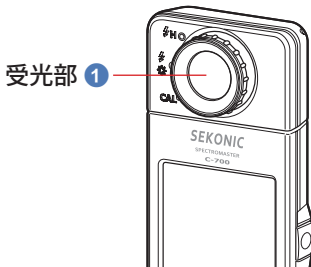
5. 光源を測定する [測定画面]

5-1 測定方法

5-1-1 光源の色温度を合わせる場合

複数の光源を使用した撮影の場合は、光源ごとの色温度のバランスを合わせてから撮影することが重要です。色温度の違う光源を左右に配置して撮影すると、被写体の左右で色味が違ってしまいます。

光源の色温度を正しく測る場合は、受光部①を光源に向けて測定してください。



⚠️ ご注意

- 測定者が測光に影響を与えないようにしてください。光源の光を遮らないでください。服装の色により反射光が生じます。この反射光が受光部①に入らないように注意してください。
- 光源を測定する場合は、反射の影響が無い状態で測定してください。天井、壁、床からの反射光が測定値に影響を及ぼすことがあります。
- 精度に影響を与える恐れがありますので、受光部①の白色板には傷や汚れを付けないように扱ってください。受光部①が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。
- フラッシュ光等の強い光に敏感な方（光線過敏）で、光が原因で体に異常を感じる体質の人がいます。症状悪化の原因となることがありますので、測定時に周囲に人がいる場合にはご注意ください。

5-2 定常光モードでの測定

自然光（太陽光）やLED・タングステンランプ・蛍光灯のような連続光は、定常光モードで測定を行います。

ご注意

測定時に、太陽やその他の強い光線を直視しないようにご注意ください。目に重傷を負ったり失明に至る場合もあります。

操作

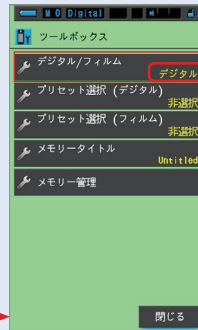
1. [ツールボックス]アイコンをタッチします。

ツールボックスの[デジタル/フィルム]アイコンをタッチして選択します。(→ P83)

測定画面の
[ツールボックス]アイコン



ツールボックス画面

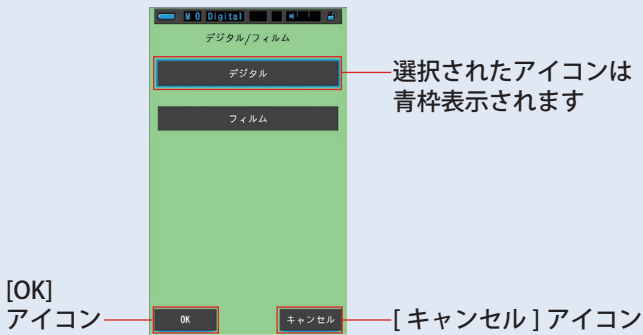


設定されている
内容がボタンの
右下に黄文字で
表示されます

2. 使用するカメラの種類（デジタル、フィルム）を選択します。

[デジタル]アイコン、[フィルム]アイコンのいずれかをタッチします。

デジタル/フィルム画面



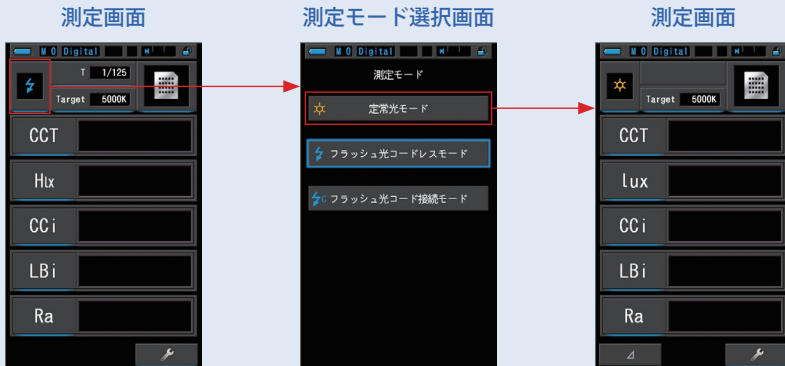
3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

4. 測定画面で[測定モード]アイコンの[定常光モード]アイコンをタッチします。

測定モードを選択します。(⇒P22)



5. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

Target (基準色温度) 画面が表示されます。(▶P26)
色温度を設定します。



ご参考

LB 指数 / フィルター、CC / フィルターをお使いにならない方は基準色温度の設定を省略することができます。
「演色評価 (CRI)」「多灯比較」では基準色温度の設定はできません。



ご参考

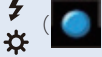
必要があれば、ツールボックスのプリセットの選択より、あらかじめ設定したあるプリセットを呼び出して設定することができます。(▶P132)



選択した箇所は青色
背景表示されます

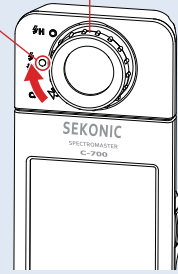
プリセット登録していないときは、ツールボックスの[プリセット選択]アイコンをタッチしても、選択できません。
必要がなければ省略できます。

6. レンジを確認します。

測定画面に戻ったら、必ずレンジL () を選択してください。

光量切り換えリング ②

レンジL



測定ボタン ⑤

7. 測定ボタン ⑤ を押します。

測定が開始され、指示値が表示されます。
ボタンを押している間は連続的に測定が行われます。
ボタンを放すと測定を終了し、放した時点の指示値が表示されます。

**ご参考**

- 本機の測定範囲を超えた測定を行った場合は、測定範囲外であることを示す、[Over] (または [Under]) が表示されます。
この場合は明るさ、または色温度を調整してください。
- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

定常光モードでの測定が完了しました。

5-3 フラッシュ光コードレスモードでの測定

一般的にフラッシュと本機に距離がありシンクロコードが届かない場合や、シンクロコードを使用せずにフラッシュ光を測定したい場合に使用します。

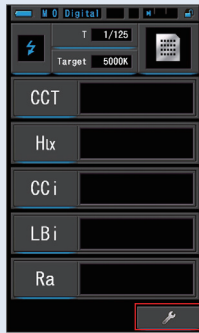
この測定モードは、本機を測定待機状態（90 秒間）にセットし、この間にフラッシュを発光させて測定します。

操作

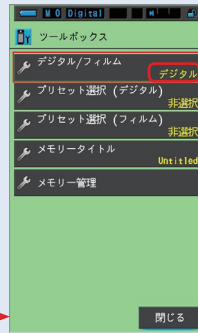
1. [ツールボックス]アイコンをタッチします。

ツールボックスの[デジタル/フィルム]アイコンをタッチして選択します。(→ P83)

測定画面の
[ツールボックス]アイコン



ツールボックス画面

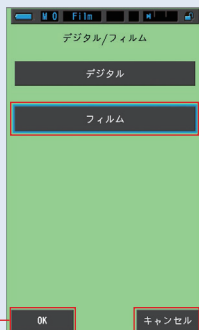


設定されている
内容が表示
されます

2. 使用するカメラの種類（デジタル、フィルム）を選択します。

[デジタル]アイコン、[フィルム]アイコンのいずれかをタッチします。

デジタル/フィルム画面



選択されたアイコンは
青枠表示されます

[OK]

アイコン

OK

キャンセル

[キャンセル] アイコン

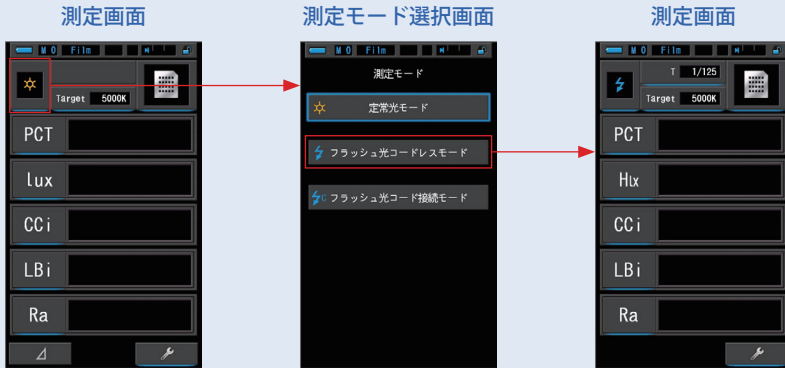
3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

4. 測定画面で[測定モード]アイコンの[フラッシュ光コードレスモード]アイコンをタッチします。

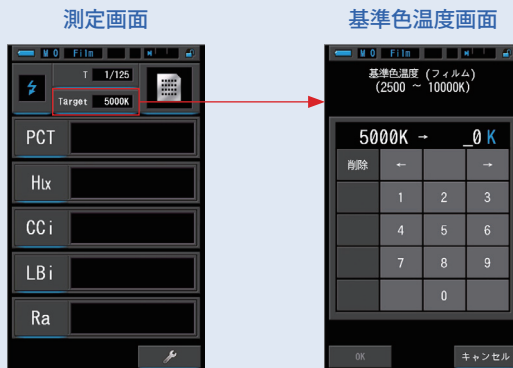
測定モードを選択します。(⇒P22)



5. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

Target (基準色温度) 画面が表示されます。(⇒P26)

色温度を設定します。



ご参考

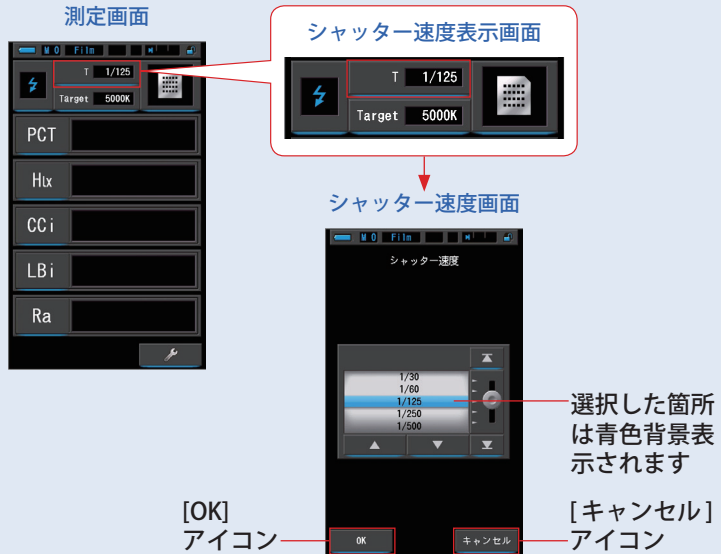
LB 指数 / フィルター、CC / フィルターをお使いにならない方は基準色温度の設定を省略することができます。

「演色評価 (CRI)」 「多灯比較」では基準色温度の設定はできません。

6. 測定画面の、[シャッター速度]アイコンをタッチします。

測定に使用するシャッター速度を設定します。(→P24)

スライド操作で、設定したいシャッター速度を青色背景位置に合わせます。



⚠️ ご注意





シャッター速度は、ご使用となる機器の同調範囲内で設定してください。

7. レンジを確認します。

測定画面に戻ったら、光量によってレンジL (🌑) またはレンジH (🌩️) を選択してください。




ご参考

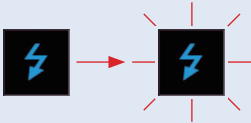
- レンジ L  () : フラッシュ光量が小さい (~ 640 lx·s) ときに選択します。測光時、光量がオーバーのときは [Over] が表示されます。このときは、レンジを L から H に切り換えて使用します。
- レンジ H  () : フラッシュ光量が大きい (580 lx·s ~) ときに選択します。測光時、光量がアンダーのときは [Under] が表示されます。このときは、レンジを H から L に切り換えて使用します。

8. 測定ボタン を押します。

測光待機状態になります。


アイコン点滅中にフラッシュ光を手動で発光させます。

測定中は、[測定モード]アイコンが 90 秒間点滅します。




測定待機中は測定に影響するため、LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

フラッシュ光が発光されると、3 秒間測定値を表示し、測定待機状態に戻ります。

待機状態を解除したい場合は、画面にタッチまたはメニューボタン  を押してください。


ご参考

フラッシュ光を発光する前にアイコンの点滅が終了したときや、もう一度測定し直したいときは、測定ボタン  を押してください。

フラッシュ光コードレスモードでの測定が完了しました。

注意

- フラッシュ発光部に皮膚や物を密着させての発光はしないでください。フラッシュ連続発光後、フラッシュ発光部に触らないでください。(火傷の恐れがあります。)
- フラッシュを人や動物の目に近づけて発光しないでください。(一時的に視力に影響を与える恐れがあります。)
- フラッシュが突然発光する場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。

ご注意

- フラッシュを発光させても周囲光に比べてフラッシュの光量が少ない場合は、光を感じない時があります。その場合は「5-4 フラッシュ光コード接続モードでの測定」で測定してください。(➡P71)
- ラピッドスタート型蛍光灯や特殊な照明下では、まれにこれらの光をフラッシュ光として判別し、測定してしまうことがあります。このような場合は「5-4 フラッシュ光コード接続モードでの測定」で測定してください。(➡P71)
- 測定待機中にフラッシュを発光させなくても、受光部 ① に急激な光の変化が起きると測定してしまうことがあります。これを避けるためには「5-4 フラッシュ光コード接続モードでの測定」で測定してください。(➡P71)
- フラッシュバルブ (閃光電球) は発光波形がなだらかなため、コードレス測定では光を感じません。
必ず「5-4 フラッシュ光コード接続モードでの測定」で測定してください。(➡P71)
- フラッシュ光コードレスモードでは、測定待機中に液晶画面のバックライトは減灯し、測定後3秒間だけ液晶バックライトが点灯します。待機状態を解除したい場合は、画面にタッチまたはメニューボタン ⑥ を押してください。

ご参考

- フラッシュ光コードレスモードを使用する場合、三脚固定ネジ ⑩ を利用して本体を三脚またはスタンドに固定し、測定を行うと便利です。
- 本機の測定範囲を超えた測定を行った場合は、測定範囲外であることを示す、[Over] (または [Under]) が表示されます。この場合は明るさ、または色温度を調整するか、レンジを切り換えてください。(➡P81)

5-4 フラッシュ光コード接続モードでの測定

フラッシュとの同調を確実に行いたい場合やフラッシュバルブ（閃光電球）で発光する場合に使用します。

この測定モードは、フラッシュと本機をシンクロコード（別売り）で接続して測定を行います。

⚠ 注意

- 雨中、水しぶきがかかる場所や製品の水没、または水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。また、製品が故障する原因となる場合があります。
- 高電圧を使用したフラッシュを使用しての測定を行うとき、シンクロターミナル 12 の接触状態によって感電の危険があります。測定に使用する際のフラッシュの取扱いにも十分ご注意ください。

操作

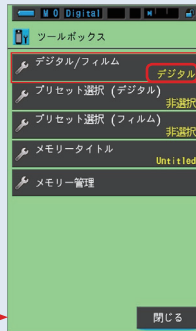
1. [ツールボックス]アイコンをタッチします。

ツールボックスの[デジタル/フィルム]アイコンをタッチして選択します。(⇒P83)

測定画面の
[ツールボックス]アイコン



ツールボックス画面

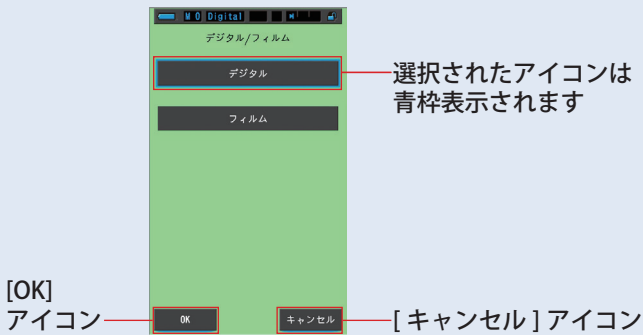


設定されている内容が表示されます

2. 使用するカメラの種類（デジタル、フィルム）を選択します。

[デジタル]アイコン、[フィルム]アイコンのいずれかをタッチします。

デジタル/フィルム画面



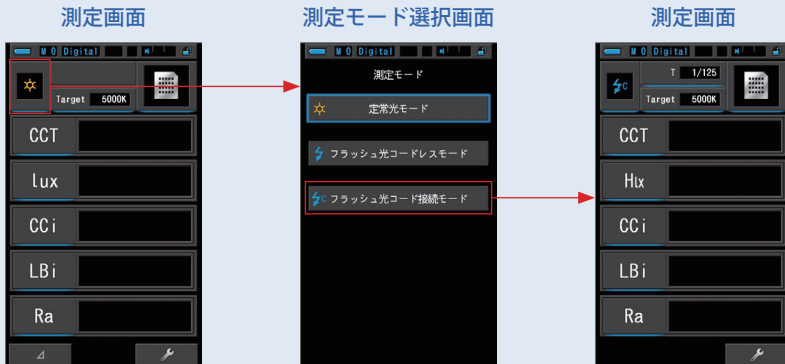
3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

4. 測定画面で[測定モード]アイコンの[フラッシュ光コード接続モード]アイコンをタッチします。

測定モードを選択します。(⇒P22)



5. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

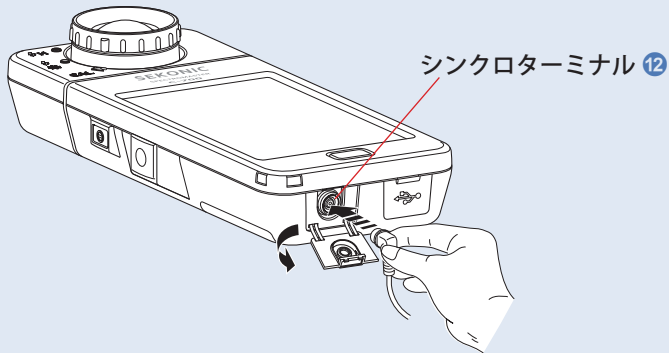
Target (基準色温度) 画面が表示されます。(▶P26)
色温度を設定します。



ご参考

LB 指数 / フィルター、CC / フィルターをお使いにならない方は基準色温度の設定を省略することができます。
「演色評価 (CRI)」「多灯比較」では基準色温度の設定はできません。

6. フラッシュのシンクロコード (別売り) を本機のシンクロターミナル 12 に接続します。



7. 測定モード画面の、[シャッター速度]アイコンをタッチします。

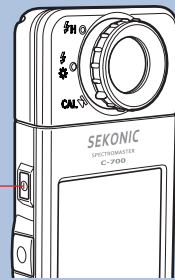
測定に使用するシャッター速度を設定します。(⇒P24)

スライド操作で、設定したいシャッター速度を青色背景位置に合わせます。



⚠ 注意

- シンクロターミナル ⑫ にシンクロコードを接続したときや本機の電源ボタン ③ を操作した場合、フラッシュによっては発光してしまう場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。









電源ボタン ③

⚠️ ご注意







- シャッター速度は、ご使用となる機器の同調範囲内で設定してください。
- 極端にトリガ電圧が低いフラッシュ等では、発光しない場合があります。この場合は「5-3 フラッシュ光コードレスモードでの測定」で測定してください。(➡P66)

8. レンジを確認します。

測定画面に戻ったら、光量によってレンジL   () またはレンジH   () を選択してください。



📖 ご参考

- レンジ L   () : フラッシュ光量が小さい (~ 640 lx·s) ときに選択します。測光時、光量がオーバーのときは [Over] が表示されます。このときは、レンジを L から H に切り換えて使用します。
- レンジ H   () : フラッシュ光量が大きい (580 lx·s ~) ときに選択します。測光時、光量がアンダーのときは [Under] が表示されます。このときは、レンジを H から L に切り換えて使用します。

9. 測定ボタン ⑤ を押します。

測定が開始され、フラッシュが発光して指示値が表示されます。

測定中は測定に影響するため、LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

フラッシュ光コード接続モードでの測定が完了しました。

注意

- シンクロターミナル ⑫ にシンクロコードを接続したときや本機の電源ボタン ③ を操作した場合、フラッシュによっては発光してしまう場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。
- フラッシュ発光部に皮膚や物を密着させての発光はしないでください。フラッシュ連続発光後、フラッシュ発光部に触らないでください。(火傷の恐れがあります。)
- フラッシュを人や動物の目に近づけて発光しないでください。(一時的に視力に影響を与える恐れがあります。)
- フラッシュが突然発光する場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。



ご注意

- 極端にトリガ電圧が低いフラッシュ等では、発光しない場合があります。この場合は「5-3 フラッシュ光コードレスモードでの測定」で測定してください。(▶ P66)
- フラッシュバルブ (閃光電球) を発光させて測定するときは、同調範囲を確認してシャッター速度を設定してください。

ご参考

本機の測定範囲を超えた測定を行った場合は、測定範囲外であることを示す、[Over] (または [Under]) が表示されます。
この場合は明るさ、または色温度を調整するか、レンジを切り換えてください。(▶ P81)

5-5 モニター機能（定常光モードのみ）

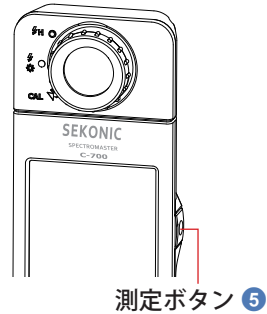
全項目（フィルター名は除く）モードでは、[差分測定]アイコン（）をタッチすると、[差分測定]アイコンが（）に変わります。

この表示になっているときは、測定ボタン **5** を押し続けている間、基準値との差を表示します。

基準値とは、差分測定アイコンを押したときの測定値となります。

測定ボタン **5** を放したときは基準値が表示されます。

グラフ表示は、差分測定している間も基準値が表示されています。



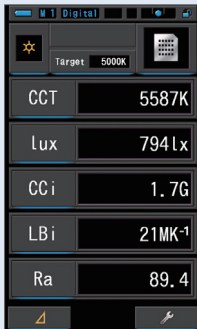
測定ボタン **5**

操作

1. 測定ボタン **5** を押して測定を開始します。

測定結果が表示されます。

測定画面




ご参考

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。



2. [差分測定] () アイコンをタッチします。

タッチする直前の測定結果が基準値となります。

[差分測定] () アイコンに換わります。




3. 測定ボタン を押します。


[差分測定] () アイコンを表示中は測定ボタン  を押している間、基準値との差を表示します。



4. 差分測定を終了します。




測定ボタン  を放すと、基準値を表示します。

5. [差分測定] () アイコンをタッチします。

[差分測定] () アイコンに換わります。



ご参考

- 測定前の[差分測定]アイコン()をタッチしても、差分測定はできません。
- [差分測定]アイコン () は電源を OFF すると解除されます。
- [差分測定]アイコンを表示中はメモリーボタン  は無効です。

5-6

[Over]、[Under] または [Filter N/A] 表示のときは



[Over] または [Under] が表示しているときは、光源の色温度が測定範囲外です。
[Filter N/A] が表示しているときは、表示範囲外です。

5-6-1

[Over]、[Under] または [Filter N/A] の表示




[Over] が表示された場合：

フラッシュ光測定時に指示値が本機の測定範囲の上限を超えた場合は、[Over] が表示されます。

光量切り換えリング ② を回して、レンジを H  H () に合わせても [Over] が表示される場合は、測定範囲外です。
この場合はフラッシュの光量を調節（光量を小さく）して再測定してください。

[Under] が表示された場合：

定常光およびフラッシュ光測定時に指示値が本機の測定範囲の下限を超えた場合は、[Under] が表示されます。

定常光測定の場合は、光源に近づいて再測定してください。
フラッシュ光測定時の場合は、光量切り換えリング ② を回して、レンジを L   () に合わせても [Under] が表示される場合は、測定範囲外です。

この場合はフラッシュの光量を調節（光量を大きく）して再測定してください。または光源に近づいて再測定してください。

[Filter N/A] が表示された場合：

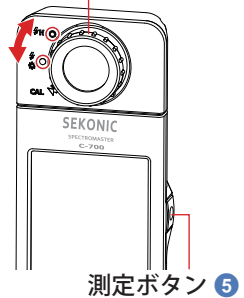
主にフィルター番号表示部に、[Filter N/A] が表示される場合は、フィルター番号の表示（組み合わせ）が表示範囲外です。

この場合は基準色温度などの設定値を変更して再測定してください。



低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

光量切り換えリング ②





本機が表示できる範囲：

撮影用途色温度（デジタル/フィルム）：デジタル 1,600 K ~ 40,000 K
：フィルム 1,600 K ~ 40,000 K

LB 指数 : -500 ~ +500 MK⁻¹

LB フィルター番号

カメラフィルター

Kodak WRATTEN 2/LEE : 80A+80B ~ 85B+85

FUJIFILM LBA/LBB : LBB-20 + LBB-16 ~ LBA-20 + LBA-16

照明フィルター

LEE : L287 DOUBLE CTO + L204 FULL CTO ~ L200
DOUBLE CTB + L283 1.5 CTB

ROSCO CINEGEL : R3420 DOUBLE CTO + R3407 FULL CTO ~ R3220
DOUBLE CTB + R3202 FULL CTB

ROSCO E-COLOUR+ : E287 DOUBLE CTO + E204 FULL CTO ~ E200
DOUBLE CTB + E283 1.5 CTB

CC 指数 : 80 G ~ 80 M

CC フィルター番号 : 200 G ~ 200 M

カメラフィルター

Kodak WRATTEN 2/LEE : CC50M + CC40M ~ CC50G + CC40G

FUJIFILM CC : CC-50M + CC-40M ~ CC-50G + CC-40G

照明フィルター

LEE : L247 MINUS GREEN + L248 1/2 MINUS GREEN ~
L244 PLUS GREEN + L245 1/2 PLUS GREEN

ROSCO CINEGEL : R3308 MINUS GREEN + R3309 3/4 MINUS GREEN
~ R3304 PLUS GREEN + R3315 1/2 PLUS GREEN






ROSCO E-COLOUR+ : E247 MINUS GREEN + E248 1/2 MINUS GREEN ~
E244 PLUS GREEN + E245 1/2 PLUS GREEN

照度 ルクス : 1 lx ~ 200,000 lx

露光量 ルクス秒 : 20 lx·s ~ 20,500 lx·s

5-6-2 レンジを切り換える

フラッシュ光の強さ、定常光の輝線の強さに応じて、レンジを切り換えて使用します。

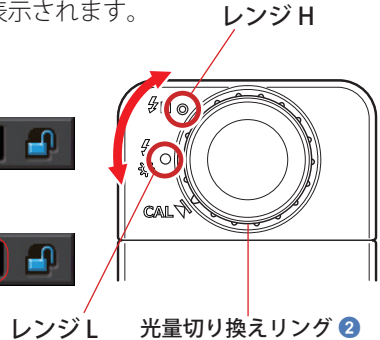
光量切り換えリング (ステータスバー表示)			内容
ダーク補正位置		CAL	測光時には、使用しません。 ダーク補正を行うときに選択します。
レンジ L			定常光測定の場合は、必ずレンジ L を選択します。フラッシュ光測定の場合は、光量が小さい ($\sim 640 \text{ lx}\cdot\text{s}$) ときに選択します。 定常光を測定する基準の選択です。
レンジ H			フラッシュ光測定の場合に、光量大きい ($580 \text{ lx}\cdot\text{s} \sim$) ときに選択します。 定常光測定では使用しません。

光量切り換えリング ② を回して目的のレンジを選択します。
設定されたレンジが液晶画面のステータスバーに表示されます。

レンジ L の場合




レンジ H の場合



6. 測定のツール [ツールボックス]画面

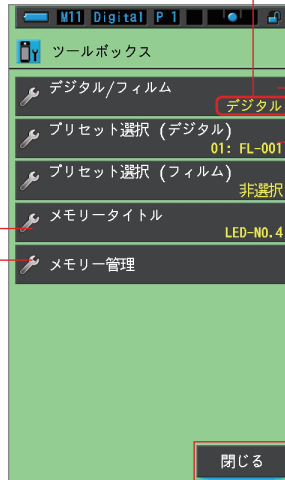
ツールボックスの画面切り換え

測定画面の[ツールボックス ()]アイコンをタッチすると、ツールボックス画面へ切り換わります。(⇒P17) ツールボックスからの画面切り換えは以下の通りです。

メモリータイトル (⇒P89)

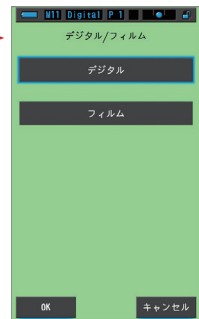


ツールボックス



設定されている内容が
ボタンの右下に黄文字
で表示されます。

デジタル/フィルム (⇒P83)



メモリー管理 (⇒P101)



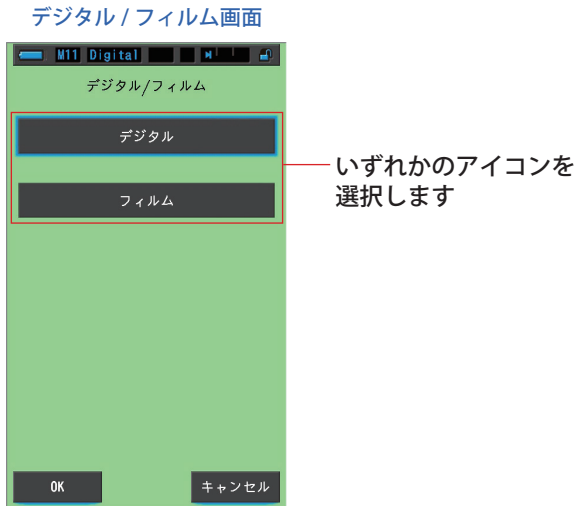
プリセット選択 (デジタル) のとき (⇒P85)



[閉じる]アイコン
で[測定画面]
に戻ります

6-1 デジタル/フィルムの切り替え

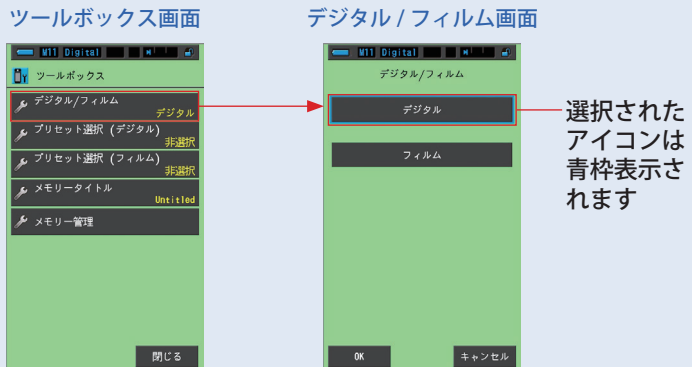
ご使用となるカメラの種類に合わせ、「デジタル」または「フィルム」を選択します。



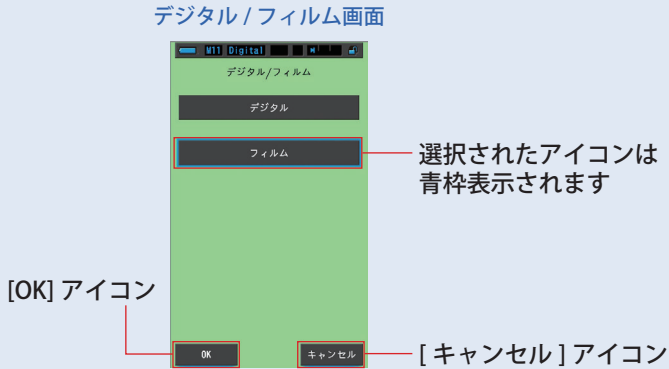
操作

1. ツールボックスの [デジタル/フィルム] アイコンをタッチして選択します。

[デジタル] アイコン、[フィルム] アイコンが表示されます。



2. [デジタル]アイコン、[フィルム]アイコンのいずれかをタッチします。
 選択されたアイコンが青枠表示になります。



3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

ステータスバーに設定が反映されます。



カメラの種類が設定されました。

ご注意

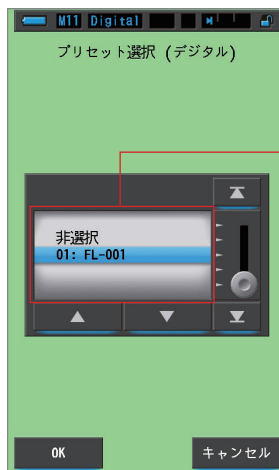
- デジタルを選ぶと人間の目の特性に基づいた指示値（相関色温度）が表示されます。
 フィルムを選ぶとフィルムカメラの特性に基づいた指示値（写真的色温度）が表示されます。
- フィルムカメラ使用時にデジタルを選択した場合や、デジタルカメラ使用時にフィルムを選択した場合は、正確な色再現ができない場合がありますのでご注意ください。

6-2 プリセット内容の設定 [プリセット選択]画面

本機は当社の基準により標準的な校正がされていますが、撮影情景によって椎路通りのフィルター補正では正しい色再現ができない場合や、意図的に好みの色調で撮影したい場合、フィルターの指示値を補正することができます。このような場合、撮影意図に応じた補正値をプリセット値として設定しておくことにより、これらを反映した指示値を得ることができます。(▶P132)

また、複数の基準色温度を使う場合に、プリセット編集であらかじめ設定しておく、プリセット選択によって簡単に基準色温度を切り換えることができます。

プリセット選択画面



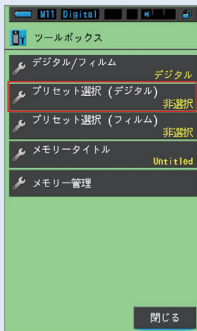
「表示」に設定されている
プリセットがリスト表示
されます

操作

1. ツールボックスの[プリセット選択]アイコンをタッチします。

プリセット選択画面が表示されます。

ツールボックス画面



プリセット選択画面



選択した箇所は青色背景表示されます

! ご注意

プリセット選択画面を表示させるには、あらかじめ本体設定のプリセット編集にて「プリセット選択リスト表示」を「表示」にしておく必要があります。「表示」と設定されているリストがない場合、プリセット選択のボタンは有効になりません。

2. 設定したいプリセット No. (1~19) を青色背景位置に合わせます。

プリセット No. を設定できます。

プリセット選択画面



[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン

! ご注意

測定の際にプリセット値を使用しない場合は、プリセット No. を非選択にしてください。

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

ステータスバーに設定が反映されます。



プリセットが設定されました。



プリセット機能で設定したプリセット色温度が、基準色温度よりも優先されます。

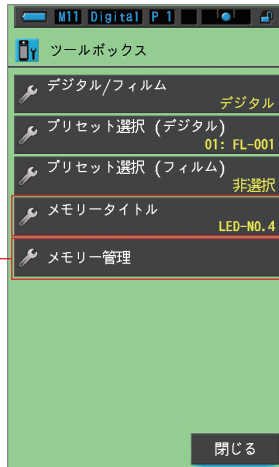
6-3 メモリー機能

メモリー機能は光源の測定データの一つまたはグループで保存し、いつでもリコールすることができます。99個の測定値が保存可能です。また、メモリータイトルに名前を付けたり、保存後にメモリータイトルの名前を変更をしたり、保存された値を削除できます。

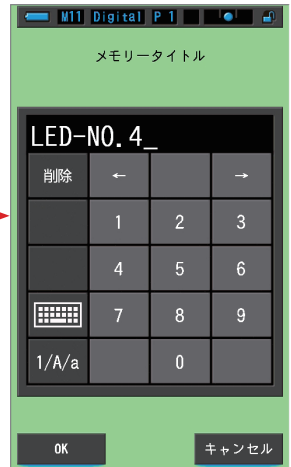
メモリー管理画面



ツールボックス画面



メモリータイトル画面



リコール (テキスト) 画面



メモリー編集画面



メモリータイトル名を変更できます

メモリー値を削除します

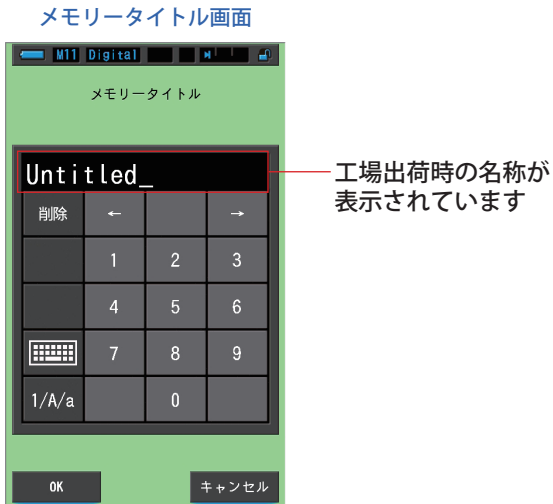
6-3-1

メモリーした測定値にタイトルを付ける
[メモリータイトル]画面

あらかじめメモリータイトルをつけておくと、メモリーした測定値にタイトル（テキスト）をつけることができます。光源名や日時などを入れるとメモリーした値の管理に便利です。

この機能をご使用になるには、下記の順序で操作が必要です：

- メモリータイトルを入力する
- 光源を測定する
- メモリーボタン **7** を押す


ご参考

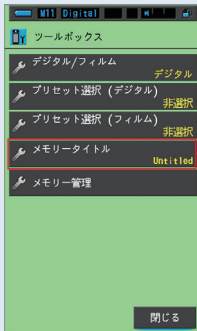
- タイトルに入力可能な文字数は、英数字で最大 16 文字です。
- 一つのメモリータイトルに対し、複数のメモリー値を保存することができます。
- 登録可能な件数は、最大 99 件です。

操作

1. ツールボックスの[メモリータイトル]アイコンをタッチして選択します。

メモリータイトル画面が表示されます。

ツールボックス画面



メモリータイトル画面



入力選択

2. メモリータイトルを入力します。(⇒ P19)

タイトルを決めて入力することができます。

メモリータイトル画面



[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

メモリータイトルが入力されました。



ご注意


メモリータイトルは、メモリーする前に入力をする必要があります。

タイトルは、メモリーを記憶した後でも変更することができます。(⇒ P98)

4. 光源を測定します。

測定ボタン ⑤ を押し、測定を行います。

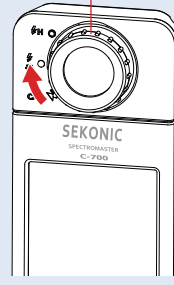
光量切り換えリング ② を回してレンズを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH H () を選択します。

(▶P79、▶P81)

光量切り換えリング ②

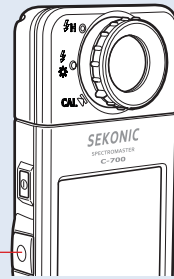


測定ボタン ⑤

測定画面



5. メモリーボタン ⑦ を押すと、入力したメモリータイトルに紐づいて測定値がメモリーされます。

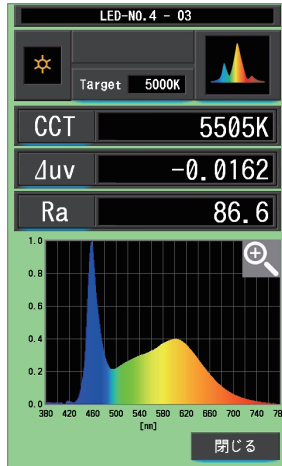


メモリーボタン ⑦

6-3-2 測定結果を呼び出す [メモリーリコール]画面

メモリーされた測定値はメモリー管理アイコンをタッチすることで呼び出すことができます。メモリー管理画面のリコールで呼び出されたメモリー値は、任意の表示モードで再表示させることができます。

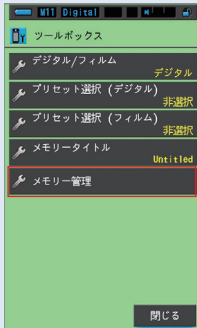
例) メモリーリコールモードスペクトル画面



操作

1. ツールボックスの[メモリー管理]アイコンをタッチします。
メモリー管理画面が表示されます。
2. 呼び出す「タイトル」と「メモリー」を背景青色位置に合わせます。
呼び出すメモリーを設定できます。

ツールボックス画面



メモリー管理画面



選択した箇所
は背景青色表
示されます

[リコール]
アイコン
[閉じる]
アイコン

3. [リコール]アイコンをタッチします。

内容が確定され、メモリーリコールモードで測定画面に移ります。

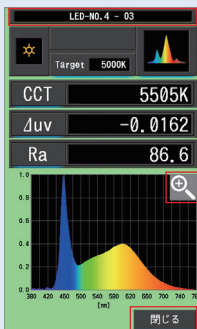
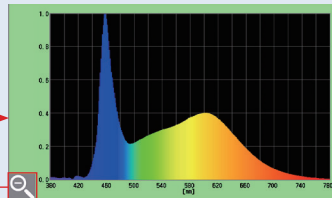
内容を変更せず、ツールボックス画面に戻る場合は、[閉じる]アイコンをタッチします。

4. メモリー内容を確認します。

メモリーリコールは、メモリーしたときの表示モードで表示します。

メモリーリコールモードを表示中は、背景が緑色で表示されます。メモリーリコール画面を表示中はステータスバーとメモリータイトルが2秒ごとに表示が切り換わります。

例)

メモリーリコールモード
スペクトル画面スペクトル (分光分布) グラフ
拡大表示

[閉じる]アイコン

**ご注意**

- [スペクトル比較]でメモリーした場合は、現在の測定値のみがメモリーされるため、メモリーリコールモードでは[スペクトル比較]画面は表示できません。[スペクトル]画面で表示します。
- メモリーリコールモードでは、測定できません。

5. [閉じる]アイコンをタッチします。

メモリー管理画面に戻ります。メモリー管理画面の[閉じる]アイコンをタッチするとツールボックス画面に戻ります。

メモリーリコールの表示モードを変更する

メモリーリコールモードで[表示モード]アイコンをタッチすると、メモリーリコール可能なアイコンが表示されます。各アイコンにタッチすると、指定した表示モード(メモリーリコールモード)で表示します。リコール画面を表示中はステータスバーとメモリータイトルが2秒ごとに表示が切り替わります。

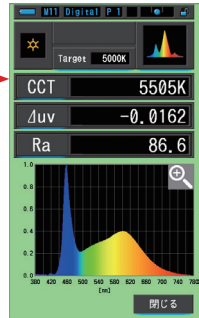
メモリーリコールモード
テキスト画面



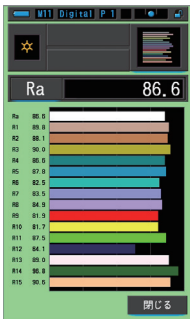
メモリーリコールモード
表示モード選択画面



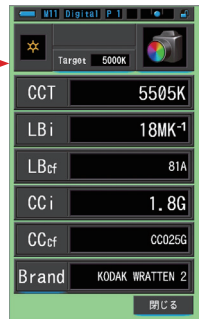
メモリーリコールモード
スペクトル画面



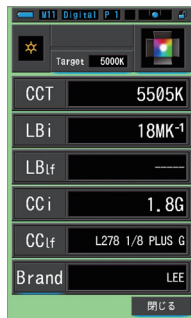
メモリーリコールモード
演色評価 (CRI) 画面



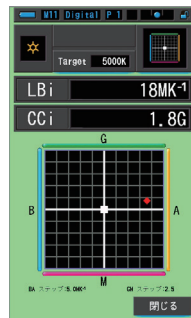
メモリーリコールモード
カメラフィルター画面



メモリーリコールモード
照明フィルター画面



メモリーリコールモード
WB補正画面



No.	表示モード アイコン	名称	説明
1	 テキスト	メモリーリコールモード [テキスト]アイコン	選択した5項目を数値で表示します。 (➡P33)
2	 スペクトル	メモリーリコールモード [スペクトル]アイコン	測定値とスペクトル(分光分布)グラフを 表示します。(➡P36)
3	 演色評価	メモリーリコールモード [演色評価]アイコン	選択した平均演色評価数(Ra)、特殊演 色評価数(R1~R15)を表示します。ま た各演色評価数を棒グラフで表示し ます。(➡P43)
4	 カメラ フィルター	メモリーリコールモード [カメラフィルター]アイコン	設定した基準色温度と測定値の差をカメラ に設定するフィルター名と補正量で表示し ます。(➡P45)
5	 照明 フィルター	メモリーリコールモード [照明フィルター]アイコン	設定した基準色温度と測定値の差を照明に 設定するフィルター名と補正量で表示し ます。(➡P48)
6	 WB補正	メモリーリコールモード [WB補正]アイコン	現在の測定値と基準色温度の差をホ ワイトバランスのグラフ上で表示し ます。(➡P57)



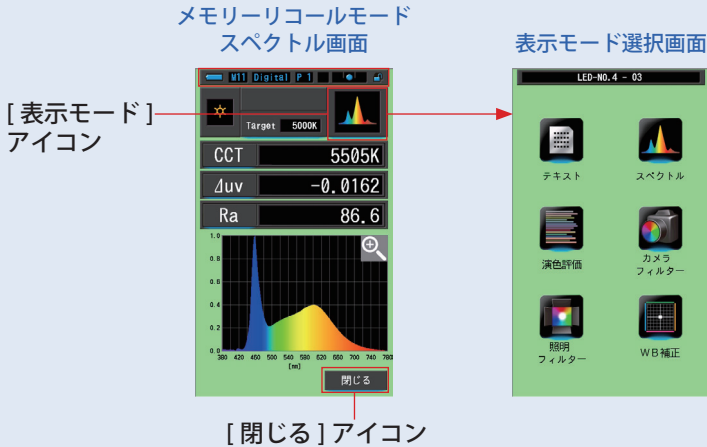
ご参考

メモリーリコールモードでの表示内容は各測定モードで現在設定されている項目が表示されます。

操作

1. メモリーリコールモードの [表示モード] アイコンをタッチします。

メモリーリコールモードの表示モードが表示されます。リコール画面を表示中はステータスバーとメモリータイトルが2秒ごとに表示が切り換わります。



2. 表示したい [表示モード] アイコンをタッチします。

各表示モード画面に切り換わります。

3. [閉じる] アイコンをタッチします。

メモリー管理画面に戻ります。メモリー管理画面の [閉じる] アイコンをタッチすると測定画面に戻ります。

6-3-3

メモリータイトルを変更する [メモリーリネーム]画面

メモリーされた測定値のタイトルを変更できます。

メモリーリネーム画面



[OK] アイコン

キャンセル

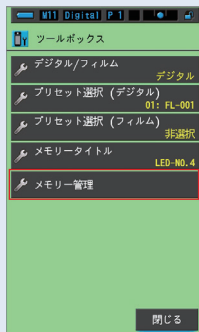
[キャンセル] アイコン

操作

1. ツールボックスの [メモリー管理] アイコンをタッチします。

メモリー管理画面が表示されます。

ツールボックス画面



メモリー管理画面

[閉じる]
アイコン

[リコール] アイコン [編集] アイコン

2. [編集]アイコンをタッチします。

メモリー編集画面が表示されます。



3. 変更するタイトルを背景青色位置に合わせます。

呼び出すメモリーを設定できます。

4. [リネーム]アイコンをタッチします。

メモリーリネーム画面が表示されます。



5. 変更するメモリータイトルを入力します。(⇒P19)

タイトルを決めて入力することができます。

メモリーリネーム画面



[OK]

アイコン

[キャンセル]アイコン

6. [OK] アイコンをタッチします。

タイトルが確定され、メモリー編集画面に戻ります。

タイトルを変更せずメモリー編集画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。メモリー編集画面に戻ります。

7. [閉じる] アイコンをタッチします。

メモリー管理画面に戻ります。

メモリー編集画面

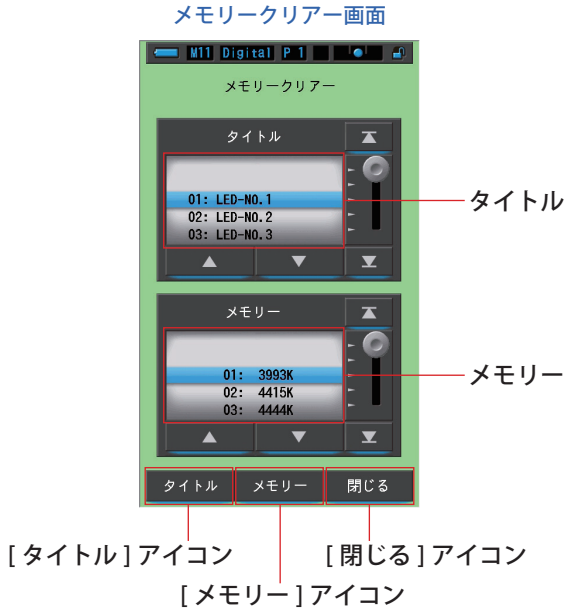


メモリー管理画面



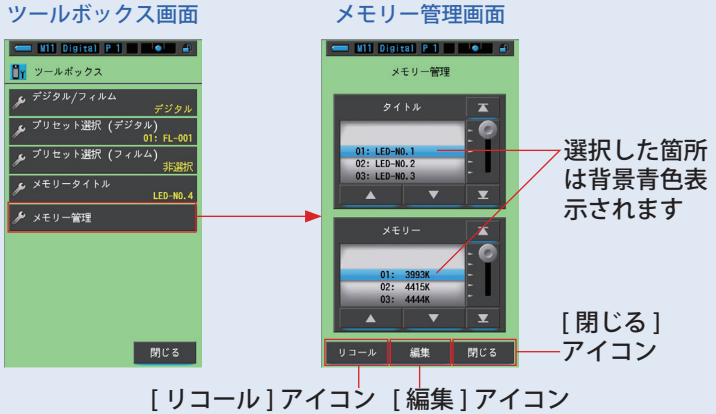
6-3-4 保存した測定結果を削除する [メモリークリアー]画面

メモリーされた測定値を、個別削除、または全削除（一括）ができます。
メモリークリアーには、タイトルとメモリー内容（メモリー番号と測定値）が、登録された順序で表示されます。



操作

1. ツールボックスの[メモリー管理]アイコンをタッチして選択します。
メモリー管理画面が表示されます。



2. [編集]アイコンにタッチします。
メモリー編集画面が表示されます。



3. 変更する「タイトル」と「メモリー」を背景青色位置に合わせます。

4. [クリアー]アイコンをタッチします。

メモリークリアー画面が表示されます。



【個別消去の場合】

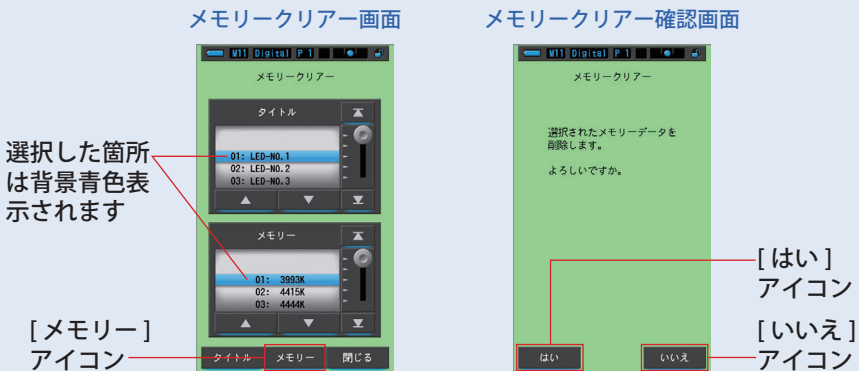
1. 削除する「タイトル」に紐付いている「メモリー」を背景青色位置に合わせます。

削除する「タイトル」に紐付いている「メモリー」を選択します。

2. [メモリー]アイコンをタッチします。

メモリーを削除します。タイトルに紐付いている[メモリー]を削除します。

メモリークリアー確認画面に「選択されたメモリーデータを削除します。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。



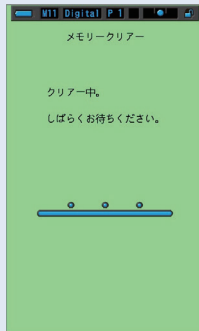
3. [はい]アイコンをタッチします。

「クリアー中。しばらくお待ちください。」とメッセージが表示されます。削除終了後は、メモリークリアー画面に戻ります。

プログレスバーが起動している間は、削除中です。削除するメモリー数によっては時間がかかる場合もあります。他の作業はしないでください。

削除を実施しない場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。メモリークリアー画面に戻ります。

メモリークリアー中画面



メモリークリアー画面



メモリー数が
変更されます

[閉じる]
アイコン

選択されたメモリーが削除され、
番号をひとつ詰めて表示されます

4. [閉じる]アイコンをタッチします。

メモリー編集画面に戻ります。

他のメモリーの削除をしない場合は、[閉じる]アイコンをタッチします。メモリー管理画面に戻ります。メモリー管理画面の[閉じる]アイコンをタッチすると測定画面に戻ります。

【全消去（一括）の場合】

1. 削除する「タイトル」を背景青色位置に合わせます。

削除する「タイトル」を選択します。

2. タイトルを削除するとき、[タイトル]アイコンをタッチします。

タイトルを削除します。選択したタイトルに紐付いているメモリーも全て削除します。

メモリークリアー確認画面に「選択されたメモリータイトルを削除します。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。

メモリークリアー画面

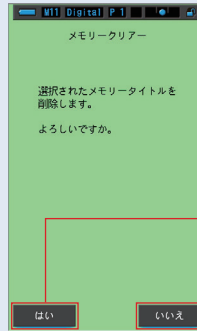


選択した箇所は
背景青色表示
されます

選択したタイト
ルに紐付いて
いるメモリーが
表示されます

[タイトル]アイコン

メモリークリアー確認画面



[はい]
アイコン

[いいえ]
アイコン

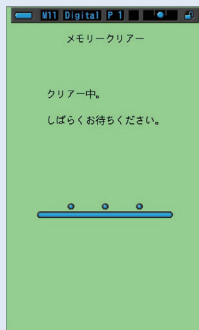
3. [はい]アイコンをタッチします。

「クリアー中。しばらくお待ちください。」とメッセージが表示されます。削除終了後は、メモリークリアー画面に戻ります。

プログレスバーが起動している間は、削除中です。削除するメモリー数によっては時間がかかる場合もあります。他の作業はしないでください。

削除を実施しない場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。メモリークリアー画面に戻ります。

メモリークリアー中画面



メモリークリアー画面



メモリー数が
変更されます

選択したメモ
リーとその紐
付けデータが
削除される
と、タイトル
01内を表示
します

[閉じる]
アイコン

4. [閉じる]アイコンをタッチします。

メモリー編集画面に戻ります。測定画面に戻るまで[閉じる]ボタンをタッチします。

7. 本体の設定 [本体設定]画面

7-1 本体設定の項目

本体設定では、機能や表示の内容をあらかじめ設定または編集することができます。

表示モード選択画面



[本体設定]アイコン

本体設定
1 ページ画面



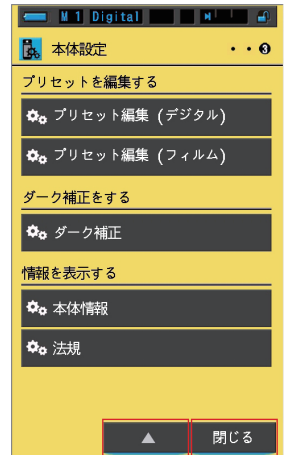
2 ページへ

本体設定
2 ページ画面



1 ページへ 3 ページへ

本体設定
3 ページ画面



2 ページへ

[閉じる]アイコン

操作

1. 表示モードの[本体設定]アイコンをタッチして選択します。
本体設定が表示されます。
2. [▲][▼]ワンステップアイコンをタッチして、目的のページを表示します。
3. 目的の各設定名をタッチします。
各設定画面が表示されます。
[閉じる]アイコンをタッチすると、表示モード選択画面に戻ります。

7-1-1 項目一覧

本体設定画面の項目は以下の通りです。

項目名称	説明
カスタマイズする	
シャッター速度ステップ	シャッター速度を1ステップ、1/3ステップ、1/2ステップから選択できます。(▶P111)
LBステップ	LB指数の表示ステップを1MK ¹ ステップ、1daMK ¹ (小数点なし)ステップ、0.1daMK ¹ (小数点あり)ステップから選択できます。(▶P114)
カメラフィルターブランド	カメラフィルターブランドについてKODAK WRATTEN 2、FUJIFILMまたはLEEを選択できます。(▶P116)
照明フィルターブランド	照明フィルターブランドについてLEE、ROSCO CINEGELまたはROSCO E-COLOUR+を選択できます。(▶P118)
ホワイトバランスステップ	WB補正画面における1マスのステップを下記の範囲で設定できます。 BA : 0.5 ~ 100.0 MK ¹ GM : 0.5 ~ 20.0 を選択できます。(▶P120)
スペクトルY軸スケール	相対、オート、分光放射照度より選択できます。(▶P122)
オートパワーオフ時間	何も操作されなかったときに、自動電源OFF機能が働くまでの時間を5分、10分、20分、なし、から選択できます。なしに設定した場合は、電源は自動的に切れません。(▶P125)
液晶バックライトの明るさ	液晶バックライトの明るさを暗、中、明から選択できます。(▶P127)
液晶バックライトの減灯時間	電力の消費を抑えるために操作をしなくなってからバックライトを減灯するまでの時間を20秒、40秒、60秒、減灯しない、から選択できます。(▶P129)
言語	タッチパネルに表示する言語の種類をEnglish、日本語、中国語から選択できます。(*モデルJT10の場合のみ、言語選択できません。)
カスタマイズ項目初期化	本体設定の「カスタマイズする」の内容(1~10の項目)を工場出荷時の状態に初期化(リセット)します。(▶P131)
プリセットを編集する	
プリセット編集	デジタルとフィルムそれぞれのプリセットの編集をすることができます。(▶P132)
ダーク補正をする	
ダーク補正	ダーク補正画面を表示し、ダーク補正を開始します。(▶P146)
情報を表示する	
本体情報	本体の情報表示画面を表示します。(▶P149)
法規	認証表示画面を表示します。(▶P151)

7-2 カスタマイズする

カスタマイズする（本体設定の1～2ページ）では、10項目の表示内容をご使用になる機材や目的に合わせて設定することができます。

各項目において現在設定されている内容が黄文字で表示されます。



操作

1. 表示モードの [本体設定] アイコンをタッチして選択します。
本体設定が表示されます。
2. [▲] [▼] ワンステップアイコンをタッチして、目的のページを表示します。
3. 目的の各項目をタッチします。
各項目画面が表示されます。
[閉じる] アイコンをタッチすると、表示モード選択画面に戻ります。

7-2-1 各項目の仕様

「カスタマイズする」の各項目の仕様は以下の通りです。

No.	本体設定名称	項目				出荷時
1	シャッター速度 ステップ	1ステップ	1/3 ステップ	1/2 ステップ	—	1ステップ
2	LB ステップ	1MK ⁻¹ ステップ	1daMK ⁻¹ ステップ	0.1daMK ⁻¹ ステップ	—	1MK ⁻¹ ステップ
3	カメラフィルター ブランド	KODAK WRATTEN 2	FUJIFILM	LEE	—	KODAK WRATTEN 2
4	照明フィルター ブランド	LEE	ROSCO CINEGEL	ROSCO E-COLOUR+	—	LEE
5	ホワイトバランス ステップ	BA : 0.5 ~ 100.0 MK ⁻¹ GM : 0.5 ~ 20.0				BA : 5 MK ⁻¹ GM : 2.5
6	スペクトルY軸 スケール	相対	オート	分光放射照度 1.0 μW ~ 100W·m ⁻² ·nm ⁻¹		相対
7	オートパワーオフ 時間	5分	10分	20分	なし	5分
8	液晶バックライト の明るさ	暗	中	明	—	中
9	液晶バックライト の減灯時間	20秒	40秒	60秒	減灯しない	20秒
10	カスタマイズ項目 初期化	[OK] アイコンをタッチすると本体設定の内容を初期状態にする				—

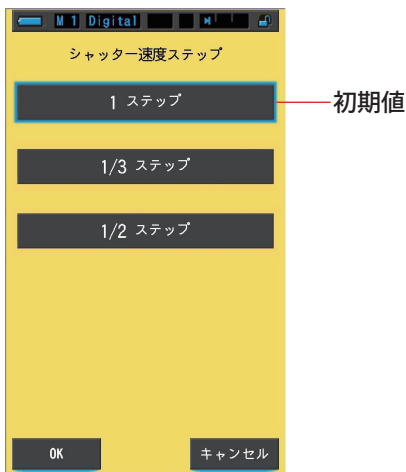

ご参考

- 1 MK⁻¹ は 1 ミレッド (MIRE) に相当します。
- 従来使われていたミレッド (MIRE) という単位は現在、国際単位系 (SI 単位系) に基づき毎メガケルビン (MK⁻¹) に統一されています。本機は最新の単位表記を採用しています。
- モデル JT10 の場合、言語設定ができます。

7-2-2 シャッター速度のステップの選択

シャッター速度を1ステップ、1/3ステップ、1/2ステップから選択できます。

シャッター速度ステップ画面



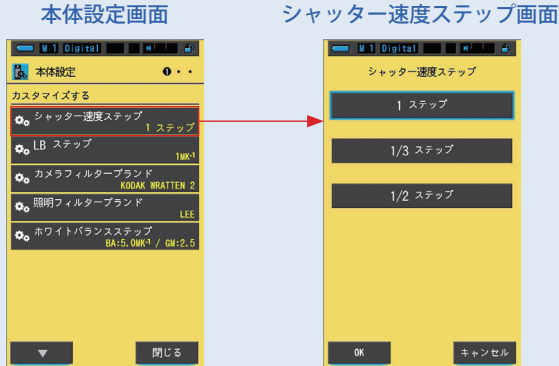
選択可能なシャッター速度 (単位：秒)

1ステップ (初期値)	1、1/2、1/4、1/8、1/15、1/30、1/60、1/125、1/250、1/500、1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400
1/3ステップ	1、0.8、0.6、0.5、0.4、0.3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400
1/2ステップ	1、0.7、1/2、1/3、1/4、1/6、1/8、1/10、1/15、1/20、1/30、1/45、1/60、1/90、1/125、1/180、1/250、1/350、1/500、1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400

操作

1. 本体設定の1ページ目：項目[シャッター速度ステップ]アイコンをタッチします。

シャッター速度ステップが表示されます。



2. シャッター速度ステップの[ステップ]アイコンをタッチします。

1 ステップ、1/3 ステップ、1/2 ステップから選択します。

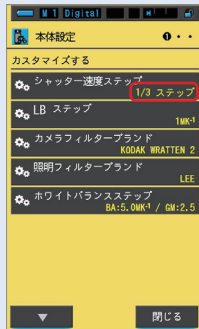


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

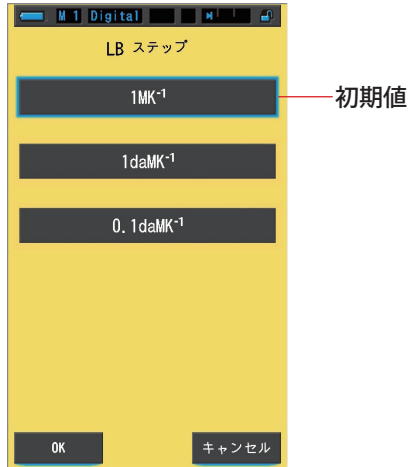
シャッター速度ステップが設定されました。

7-2-3 LB ステップの選択

LB 指数の表示ステップを 1MK^{-1} ステップ、 1daMK^{-1} (小数点なし) ステップ、 0.1daMK^{-1} (小数点あり) ステップから選択できます。

例) 38MK^{-1} は 1MK^{-1} ステップで 38MK^{-1} 、 1daMK^{-1} ステップで 4MK^{-1} 、 0.1daMK^{-1} ステップで 3.8MK^{-1} と表示されます。

LB ステップ画面

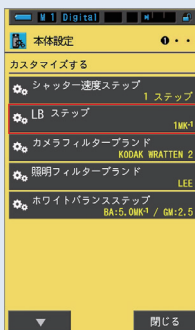


操作

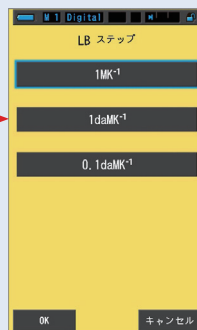
1. 本体設定の1ページ目：項目 [LB ステップ] アイコンをタッチします。

LB ステップが表示されます。

本体設定画面



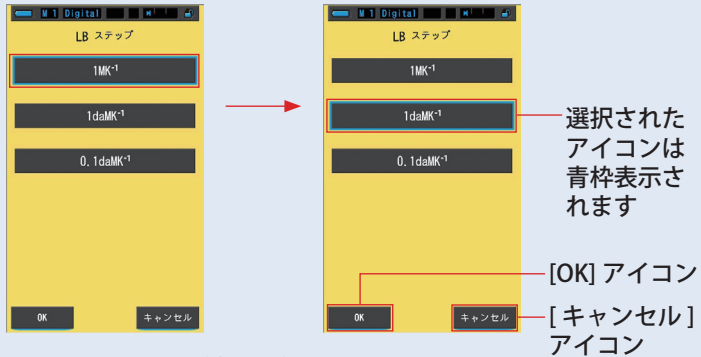
LB ステップ画面



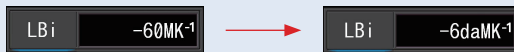
2. [LB ステップ] アイコンをタッチします。

LB ステップ値を選択します。

LB ステップ画面



測定画面表示例

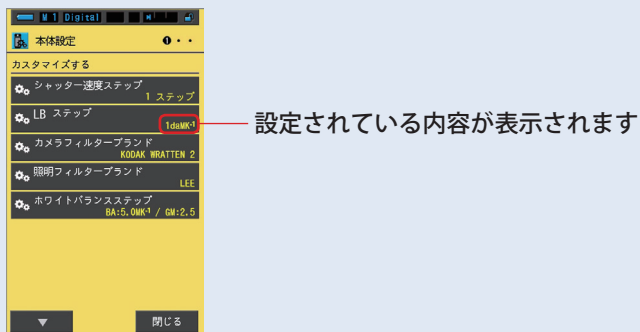


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

本体設定画面



LB ステップが設定されました。

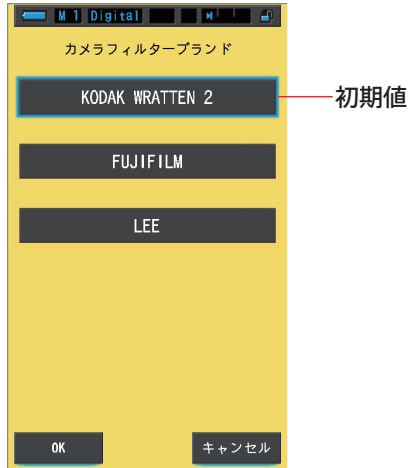


- 1 MK⁻¹ は 1 ミレド (MIRE) に相当します。
- 従来使われていたミレド (MIRE) という単位は現在、国際単位系 (SI 単位系) に基づき毎メガヘルピン (MK⁻¹) に統一されています。本機は最新の単位表記を採用しています。

7-2-4 カメラフィルターブランドの選択

カメラフィルターブランドについて KODAK WRATTEN 2、FUJIFILM (富士フィルム) および LEE を選択できます。

カメラフィルターブランド画面

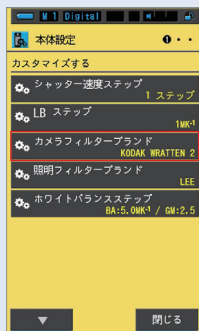


操作

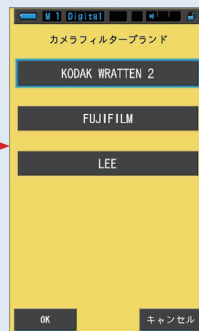
1. 本体設定の1ページ目：項目[カメラフィルターブランド]アイコンをタッチします。

カメラフィルターブランドが表示されます。

本体設定画面



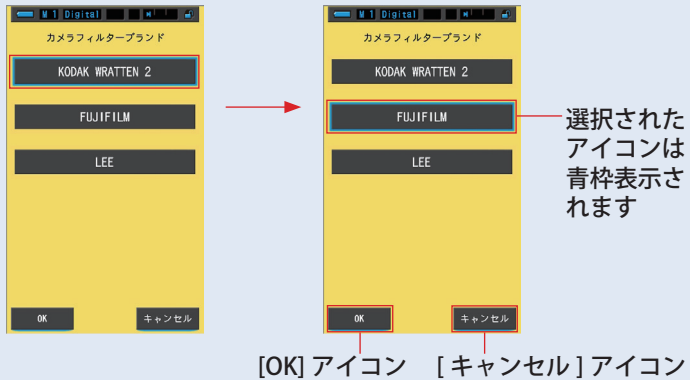
カメラフィルターブランド画面



2. [カメラフィルターブランド]アイコンをタッチします。

ご使用となるカメラのフィルターブランドを選択します。

カメラフィルターブランド画面

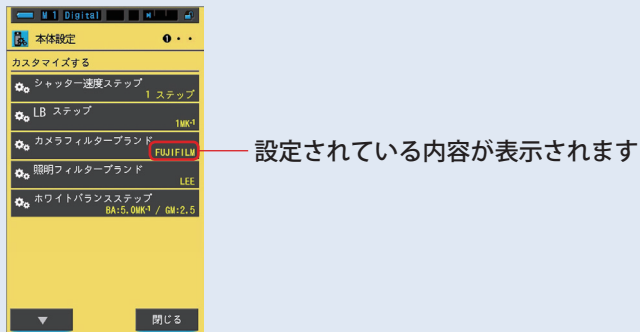


3. [OK]アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

本体設定画面



カメラフィルターブランドが設定されました。

7-2-5 照明フィルターブランドの選択

照明フィルターブランドについて LEE、ROSCO CINEGEL または ROSCO E-COLOUR+ を選択できます。

照明フィルターブランド画面

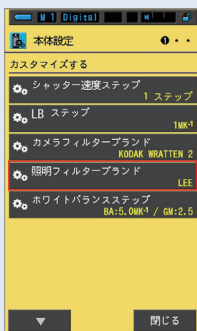


操作

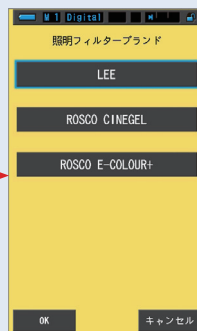
1. 本体設定の1ページ目：項目 [照明フィルターブランド] アイコンをタッチします。

照明フィルターブランドが表示されます。

本体設定画面



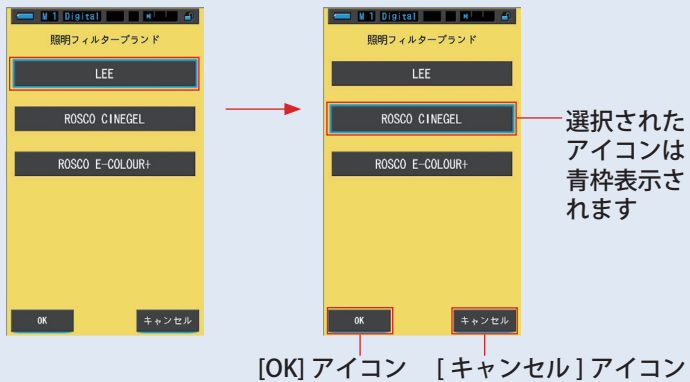
照明フィルターブランド画面



2. [照明フィルターブランド]アイコンをタッチします。

ご使用となる照明のフィルターブランドを選択します。

照明フィルターブランド画面

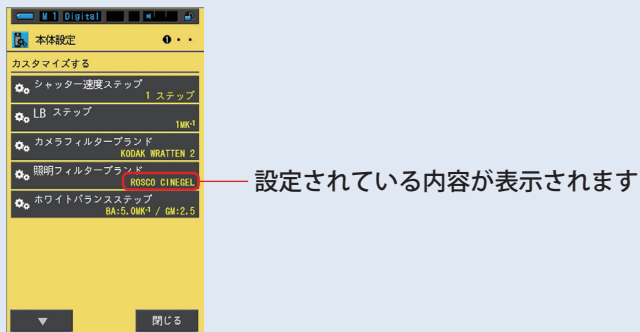


3. [OK]アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

本体設定画面



照明フィルターブランドが設定されました。

7-2-6 ホワイトバランスのステップの選択

測定画面のWB（ホワイトバランス）補正モードで表示される升目の1ステップの単位をBA：0.5～100.0 MK⁻¹、GM：0.5～20.0の範囲で選択できます。デジタルカメラの中にはWB（ホワイトバランス）補正機能があるカメラがあります。カメラの設定はメーカーや機種ごとで違うため、ご使用になるカメラの設定に合わせてください。

ホワイトバランスステップ画面



操作

1. 本体設定の1ページ目：項目[ホワイトバランスステップ]アイコンをタッチします。

ホワイトバランスステップが表示されます。

本体設定画面

ホワイトバランスステップ画面



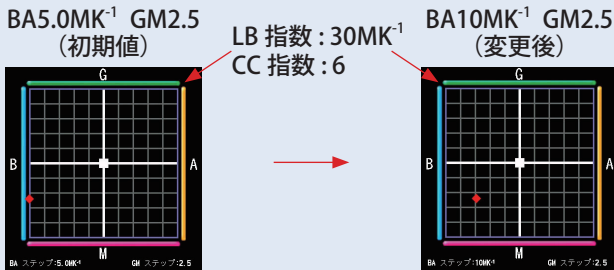
2. ご使用となるホワイトバランスステップを選択します。

ホワイトバランスを変更できます。

ホワイトバランスステップ画面



測定画面表示例

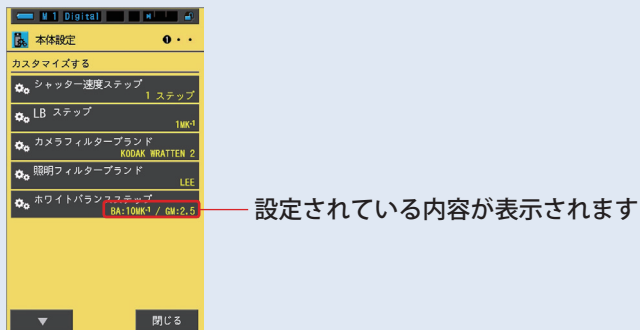


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



ホワイトバランスステップが設定されました。

7-2-7 スペクトルY軸スケールの選択

スペクトルY軸の最大表示値を相対、オート、分光放射照度から選択できます。

スペクトルY軸スケール画面

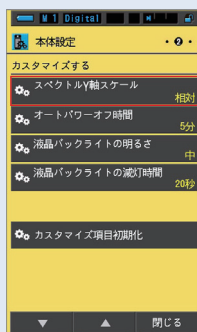


操作

1. 本体設定の2ページ目：項目 [スペクトルY軸スケール] アイコンをタッチします。

スペクトルY軸スケールの最大表示値が表示されます。

本体設定画面



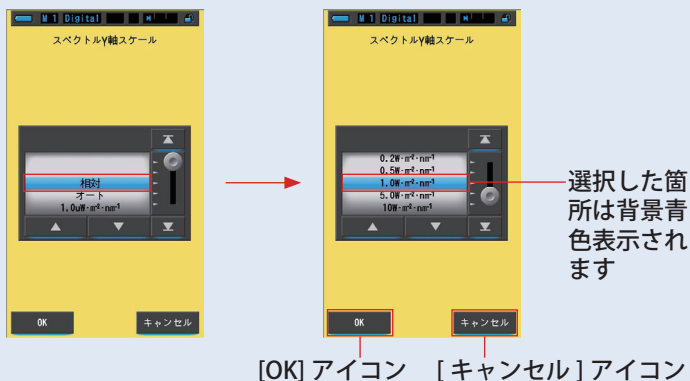
スペクトルY軸スケール画面



2. ご使用となるスペクトルY軸スケールを選択します。

相対、オート、分光放射照度から選択します。

スペクトルY軸スケール画面

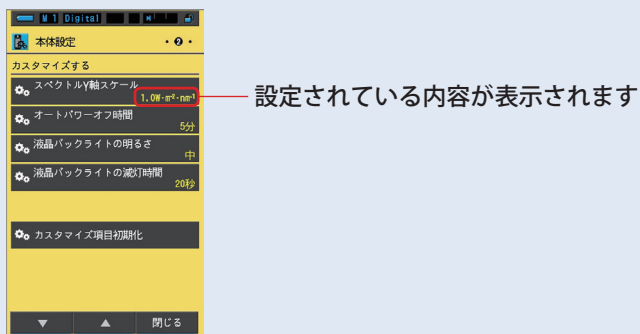


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



スペクトルY軸スケールが設定されました。

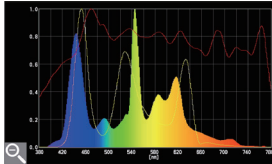


相対……………光源のスペクトル波形を比べるため、光源の明るさにかかわらず測定値とメモリー値（最大2つまで）のそれぞれの明るさの最大値を 1.0 とみなし比較します。

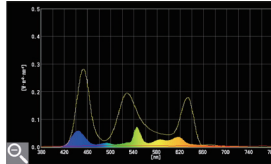
オート……………適切な Y 軸の値が自動的に選ばれ分光放射照度が比較できます。

分光放射照度…… 1.0 μ ~ 100 $W \cdot m^{-2} \cdot nm^{-1}$ まで Y 軸の値を指定することができます。

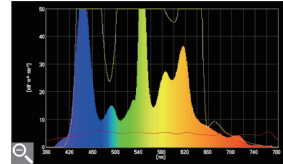
相対



オート



分光放射照度



7-2-8

オートパワーオフ時間の選択

何も操作されなかったときに、自動電源 OFF 機能が働くまでの時間を 5 分、10 分、20 分、なし、から選択できます。なし設定した場合は、電源は自動的に切れません。

オートパワーオフ時間画面

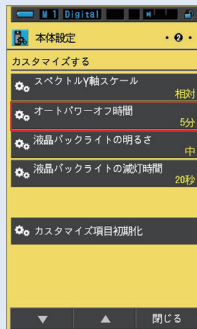


操作

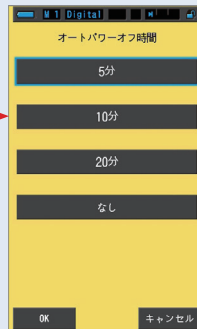
1. 本体設定の 2 ページ目：項目 [オートパワーオフ時間] アイコンをタッチします。

オートパワーオフ時間が表示されます。

本体設定画面



オートパワーオフ時間画面



2. オートパワーオフ時間の [時間] アイコンをタッチします。

5分、10分、20分、なし、から選択します。

オートパワーオフ時間画面

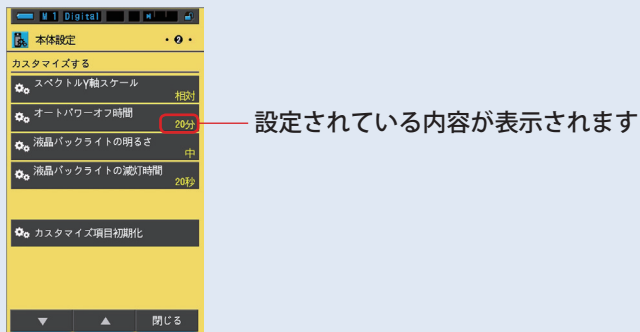


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



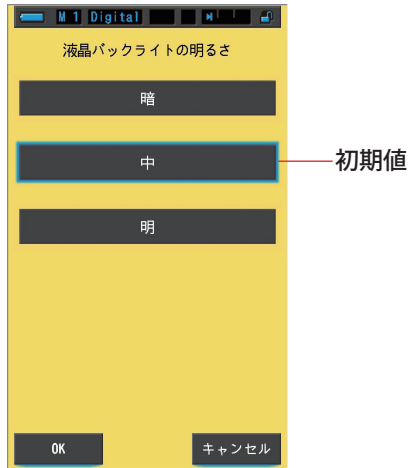
オートパワーオフ時間が設定されました。

7-2-9

液晶バックライト明るさの選択

タッチパネルのバックライトの明るさを暗、中、明から選択できます。

液晶バックライトの明るさ画面

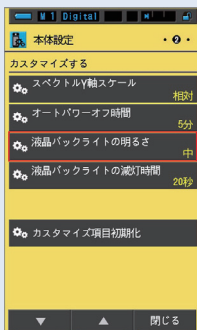


操作

1. 本体設定の2ページ目：項目 [液晶バックライトの明るさ] アイコンをタッチします。

液晶バックライトの明るさが表示されます。

本体設定画面

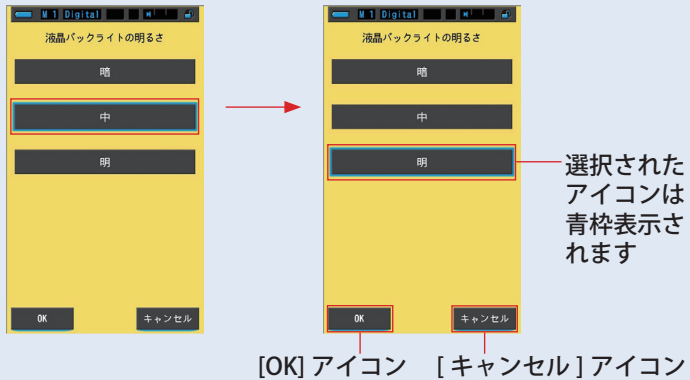


液晶バックライトの明るさ画面



2. 液晶バックライトの明るさの [明るさ] アイコンをタッチします。
暗、中、明、から選択します。

液晶バックライトの明るさ画面

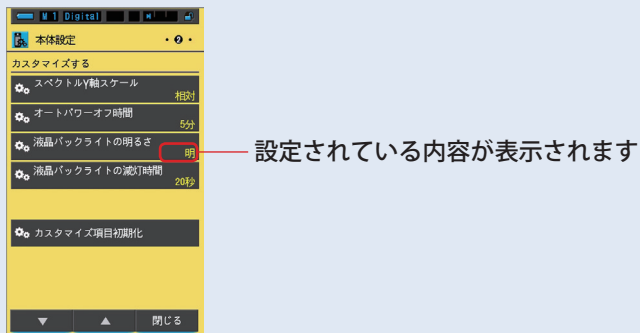


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



バックライトの明るさが設定されました。

7-2-10 液晶バックライト減灯時間の選択

電力の消費を抑えるために操作をしなくなってからバックライトを減灯するまでの時間を 20 秒、40 秒、60 秒、減灯しない、から選択できます。

液晶バックライトの減灯時間画面

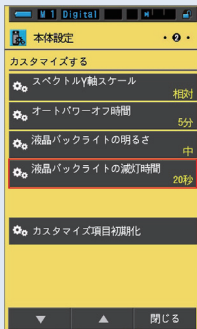


操作

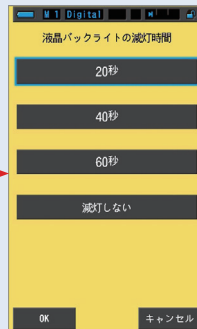
1. 本体設定の 2 ページ目：項目 [液晶バックライトの減灯時間] アイコンをタッチします。

液晶バックライトの減灯時間が表示されます。

本体設定画面



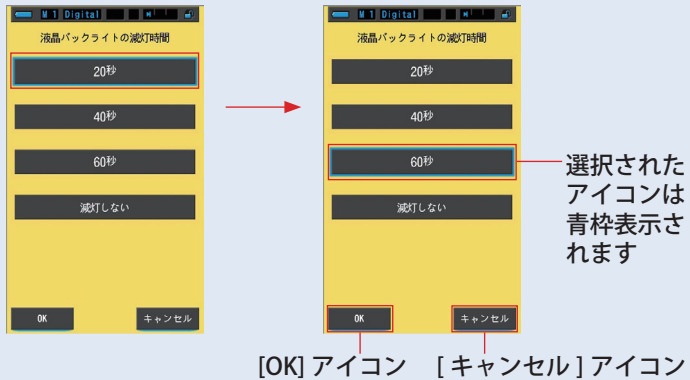
液晶バックライトの減灯時間画面



2. 液晶バックライトの減灯時間の [時間] アイコンをタッチします。

20 秒、40 秒、60 秒、減灯しない、から選択します。

液晶バックライトの減灯時間画面

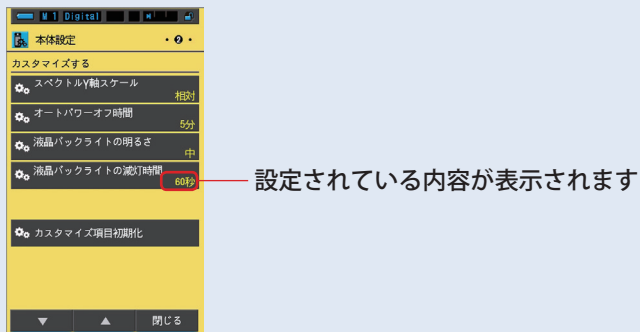


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面

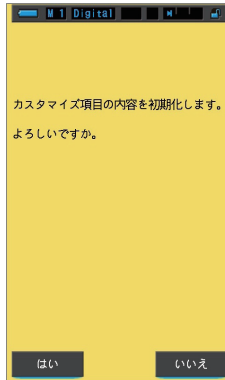


液晶バックライトの減灯時間が設定されました。

7-2-11 カスタマイズ項目初期化

本体設定の「カスタマイズする」の項目のみ、工場出荷時の状態に初期化（リセット）します。

カスタマイズ項目初期化画面

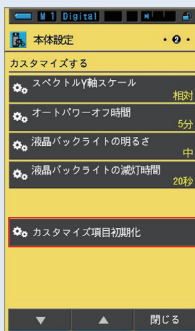


操作

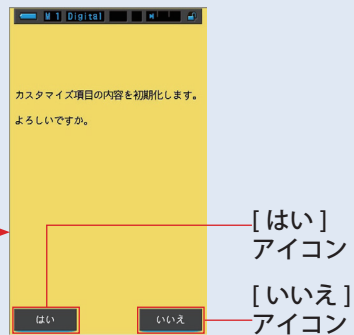
1. 本体設定の2ページ目：項目 [カスタマイズ項目初期化] をタッチします。

「カスタマイズ項目とプリセット編集の内容を初期化します。よろしいですか。」と表示されます。

本体設定画面



カスタマイズ項目初期化画面



2. [はい] アイコンをタッチします。

カスタム設定が初期化されます。初期化終了後は、本体設定に戻ります。

初期化を行わず、本体設定に戻る場合は、[いいえ] アイコンをタッチします。

7-3 プリセットの編集

あらかじめ入力したプリセットを測定の際に選択すると、測定値に補正量が反映されたり、入力の手間を省いたりすることができます。

本機は当社の基準により校正がされていますが、撮影条件によって指示通りのフィルター補正では正しい色再現ができない場合や、意図的に好みの色調で撮影したい場合、フィルターの指示値を補正する必要があります。

このような場合、あらかじめ指示値に対する補正量をプリセットとして登録して測定すると、補正量を加味した値が表示が行われます。

また、複数の基準色温度をお使いになる場合は、プリセット編集で設定しておけば、測定の度に入力することなく、プリセット選択することで簡単に基準色温度を設定することができます。

ご使用になるカメラの設定により [プリセット編集 (デジタル)] または [プリセット編集 (フィルム)] を選択してください。

プリセット編集 (デジタル) 画面

プリセット編集 (フィルム) 画面



ご参考

プリセットの登録は、デジタルおよびフィルムそれぞれに最大 19 件まで可能です。

操作

1. 本体設定の3ページ目：項目 [プリセット編集 (デジタル)] または [プリセット編集 (フィルム)] をタッチします。

本体設定のプリセット編集 (デジタル) またはプリセット編集 (フィルム) 画面が表示されます。



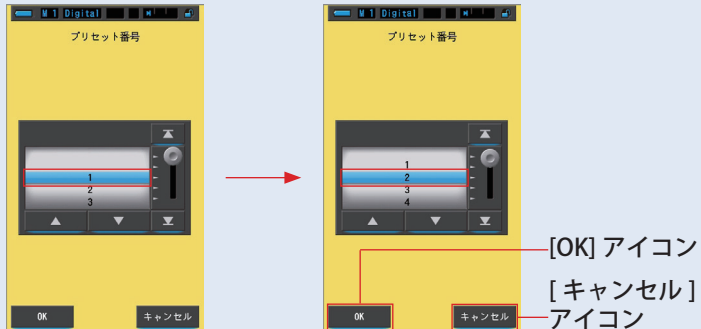
2. [プリセット番号] アイコンをタッチします。

プリセット番号が表示されます。



3. プリセット番号 (1 ~ 19) を選択します。青色背景位置に合わせます。

プリセット番号画面



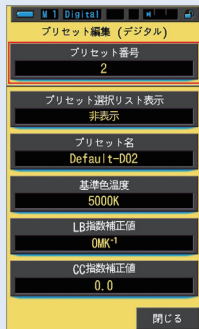
4. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (デジタル) またはプリセット編集 (フィルム) に戻ります。

登録または編集するプリセット番号が表示されます。

内容を変更せず、プリセット編集 (デジタル) またはプリセット編集 (フィルム) に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (デジタル) 画面



5. 各設定項目を編集します。

各設定項目の編集については、以下の説明ページを参照してください。

- ・プリセット選択リスト表示 (⇒P135)
- ・プリセット名 (⇒P137)
- ・基準色温度 (⇒P139)
- ・LB 補正值 (⇒P142)
- ・CC 補正值 (⇒P144)

6. [閉じる] アイコンをタッチします。

本体設定に戻ります。

プリセット編集が完了しました。

7-3-1

プリセット選択のリスト表示

ツールボックスのプリセット選択リストへの表示・非表示を切り替えます。

プリセット選択リスト表示画面



操作

1. [プリセット選択リスト表示] アイコンをタッチします。

表示 / 非表示を選択できます。



2. 設定するリスト表示を選択します。

選択されたアイコンは青枠表示されます。

プリセット選択リスト表示画面

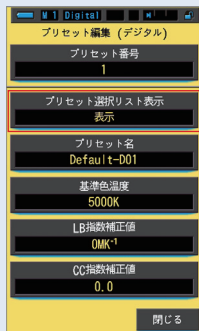


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集（デジタル）またはプリセット編集（フィルム）に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集（デジタル）またはプリセット編集（フィルム）に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集（デジタル）画面



リスト表示が設定されました。

7-3-2 プリセット名の設定

プリセット名を編集します。

プリセット名画面



ご参考

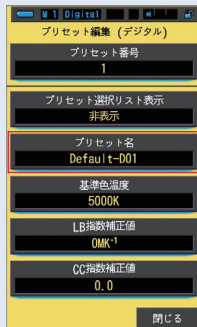
プリセット名の入力は、英数字で最大 16 文字です。

操作

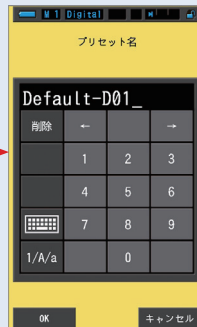
1. [プリセット名]アイコンをタッチします。

プリセット名入力画面が表示されます。

プリセット編集 (デジタル) 画面



プリセット名画面



2. プリセット名を入力します。(⇒P19)

プリセット名画面



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定（登録 / 編集）され、プリセット編集（デジタル）またはプリセット編集（フィルム）に戻ります。

内容を変更（登録 / 編集）せず、プリセット編集（デジタル）またはプリセット編集（フィルム）に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集（デジタル）画面



プリセット名が編集されました。

7-3-3 プリセット色温度の設定

プリセットの基準となる色温度を設定します。

基準色温度画面

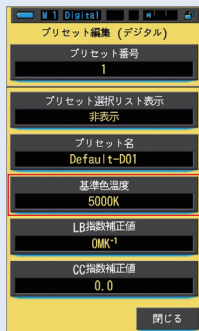


操作

1. [基準色温度] アイコンをタッチします。

基準色温度が表示されます。

プリセット編集 (デジタル) 画面



基準色温度画面



2. 基準色温度の数値を入力します。(⇒ P19)

設定する基準色温度の数値を入力します。

※ 1 の位は、0 固定です。

基準色温度画面



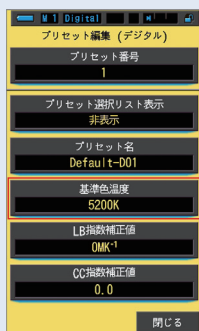
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (デジタル) またはプリセット編集 (フィルム) に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (デジタル) またはプリセット編集 (フィルム) に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (デジタル) 画面



基準色温度が編集されました。



ご参考

デジタルの場合

- ご使用となるカメラにマニュアル設定する色温度と同じ色温度を設定します。ホワイトバランスモードやメーカーによっては忠実色再現のために推奨する色温度があります。ご使用のカメラの説明書をご確認ください。
- 2,500 K～10,000 Kまで設定可能です。
- 複数の基準色温度を使用する頻度が高い場合は、プリセットを使用すると便利です。

フィルムの場合

- ご使用となるフィルムタイプの色温度を設定します。
デイルイトタイプ : 5,500 K
タングステンタイプ-A : 3,400 K
タングステンタイプ-B : 3,200 K
- 2,500 K～10,000 Kまで設定可能です。

7-3-4

LB 指数補正值の設定

プリセットのLB指数補正值を設定します。

LB 指数補正值画面

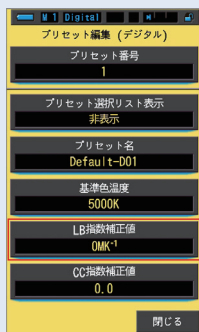


操作

1. [LB 指数補正值] をタッチします。

LB 指数補正值が表示されます。

プリセット編集 (デジタル) 画面

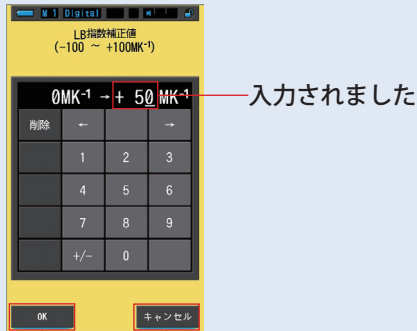


LB 指数補正值画面



2. 補正値を± 100 MK⁻¹ 範囲で設定します。(→P19)

LB 指数補正值画面



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集（デジタル）またはプリセット編集（フィルム）に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集（デジタル）またはプリセット編集（フィルム）に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集（デジタル）画面



LB 指数補正值が編集されました。

7-3-5

CC 指数補正值の設定

プリセットの CC 指数補正值を設定します。

CC 指数補正值画面

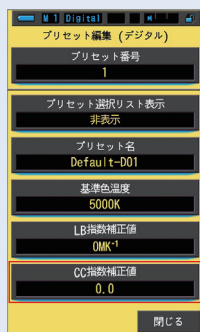


操作

1. [プリセット CC 指数補正值] アイコンをタッチします。

CC 指数補正值が表示されます。

プリセット編集 (デジタル) 画面



CC 指数補正值画面



2. CC 指数補正値を 40.0 G ~ 40.0 M 範囲で設定します。(⇒ P19)

CC 指数補正值画面



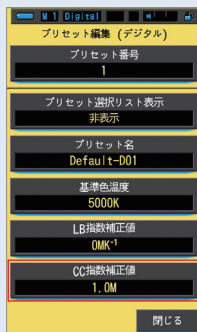
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集（デジタル）またはプリセット編集（フィルム）に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集（デジタル）またはプリセット編集（フィルム）に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集（デジタル）画面



CC 指数補正値が編集されました。



CC 指数補正値の単位は指数のため、CC 指数 1 は 2.5 CC フィルター番号に相当します。

7-4 ダーク補正

ダーク補正は「前回で使用時から 24 時間以上経過した時」「電池を交換した時」「ご使用後 24 時間以内でも急激な温度変化があった時」に電源を投入すると自動的に行われます。それ以外の場合は電源投入時のダーク補正はスキップされます。測定値に影響がある可能性がある場合は、手動でダーク補正を行います。

ダーク補正実施確認画面

光量フィルター表示内容表

光量フィルター表示		内容
		ダーク補正では使用しません。
		測定する際に、光源に合わせて使用します。
	CAL	ダーク補正位置です。 この位置に設定してダーク補正を実施してください。

操作

1. 本体設定の 3 ページ目：項目 [ダーク補正] アイコンをタッチします。
「ダーク補正を実施しますか。」とメッセージが表示されます。

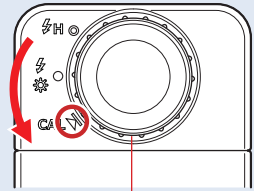
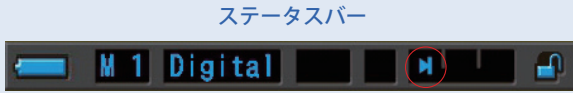
本体設定画面

ダーク補正実施確認画面

2. 光量切り換えリング②を回してダーク補正位置 CAL () に設定します。

ステータスバーにダーク表示されます。

位置を確認してください。



光量切り換えリング②

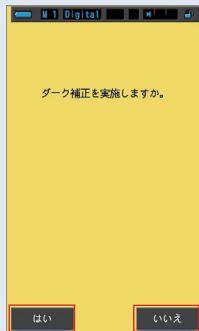
3. [はい]アイコンをタッチします。

ダーク補正が開始され、ダーク補正中画面が表示されます。

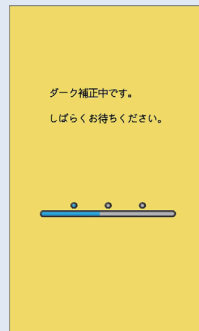
ダーク補正が終了すると、本体設定に戻ります。

ダーク補正をせず、本体設定に戻る場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。

ダーク補正実施確認画面



ダーク補正中画面



[はい]アイコン [いいえ]アイコン







「ダーク補正中です。しばらくお待ちください。」のメッセージの表示中、またはプログレスバーが表示されている間は、電源は切らないでください。故障の原因となる恐れがあります。


ダーク補正の設定が更新されました。

次の画面が表示されたときは

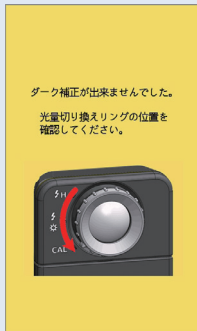
ダーク補正位置確認画面




光量切り換えリング②がレンジ H  H () またはレンジ L  () に設定されており、ダーク補正は実施されませんでした。

光量切り換えリング②をダーク補正位置 CAL () にセットしてから、ダーク補正を行ってください。


ダーク補正確認画面

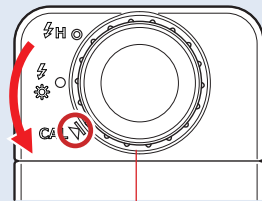


ダーク補正は実施されましたが、正常に実行できませんでした。

光量切り換えリング②をダーク補正位置 CAL () に再設定してから、ダーク補正を再開してください。

ご参考

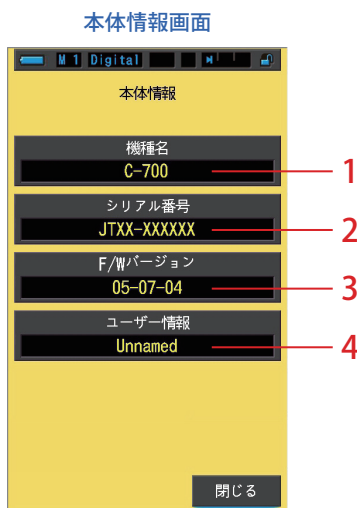
- ホームメニューと各測定画面で、光量切り換えリング②をダーク補正位置 CAL () にセットするとダーク補正を行うことができます。
- ダーク補正は「前回ご使用時から24時間以上経過した時」「電池を交換した時」「ご使用後24時間以内でも急激な温度変化があった時」に電源を投入すると自動的に行われます。それ以外の場合は電源投入時のダーク補正はスキップされます。



光量切り換えリング②

7-5 本体情報表示

機器情報表示画面では、測定画面に表示されていない詳細情報を表示します。



※ 画面の内容は、本機のモデルとは表記が異なります。

No.	項目名称	説明
1	機種名	本機のモデル型番を表示します。
2	シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
3	F/Wバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
4	ユーザー情報	ユーザー情報を表示します。ハードウェア設定で、任意のユーザー情報 を表示します。(➡P152)

操作

1. 本体設定の3ページ目：項目[本体情報表示]をタッチします。
本体情報画面が表示されます。



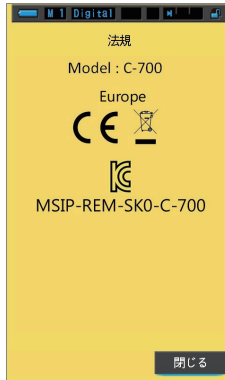
2. [閉じる]アイコンをタッチします。
本体設定に戻ります。

7-5-1

法規表示

法規表示画面では、本機が認可を受けた法的規制に対する適合性表示マーク（制度）を表示します。

法規画面



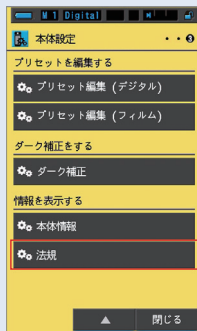
操作

1. 本体設定の3ページ目：項目[法規]をタッチします。

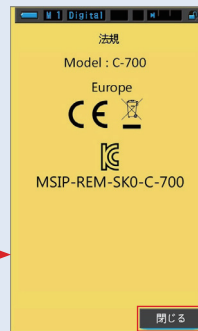
法規画面が表示されます。

お買い求めいただきました商品により、表示内容が異なります。

本体設定画面



法規画面



[閉じる]
アイコン

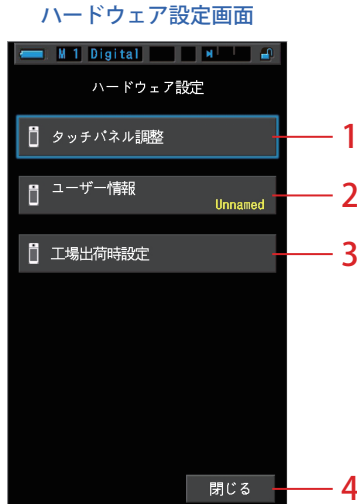
2. [閉じる]アイコンをタッチします。

本体設定に戻ります。

8. ハードウェア設定画面

ハードウェア設定画面では、以下の設定を行うことができます。

- タッチパネル調整
- ユーザー情報の編集
- 工場出荷時設定



No.	項目名称	説明
1	タッチパネル調整	タッチパネルのタッチセンサが認識する座標位置を調整できます。(➡P154)
2	ユーザー情報	ユーザー情報を編集できます。変更したユーザー情報は情報画面に表示されます。(➡P157)
3	工場出荷時設定	すべての表示や設定内容を工場出荷時の設定に戻します。(➡P159)
4	閉じる	ハードウェア設定画面を閉じ、測定画面が表示されます。

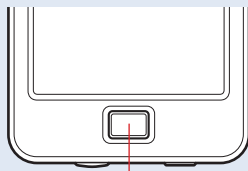
操作

1. 電源を OFF にした状態で、メニューボタン ⑥ を押しながら電源ボタン ③ を押して、電源を ON にします。

※ハードウェア設定画面が表示されるまで、メニューボタン ⑥ と電源ボタン ③ を放さないでください。

ハードウェア設定画面が表示される前にボタンを放すと測定画面が表示されます。

ハードウェア設定画面が表示されます。



メニューボタン ⑥



電源ボタン ③

2. 目的のメニュー項目をタッチします。

選択した項目の設定画面が表示されます。

各項目の設定については、次ページからの説明を参照してください。

3. 終了するときは、[閉じる] アイコンをタッチします。

測定画面に戻ります。

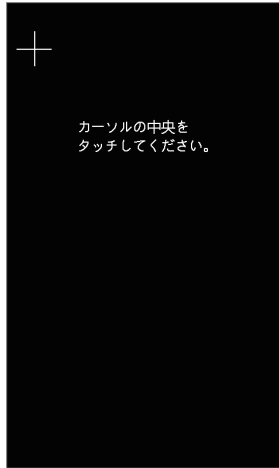
または、電源ボタン ③ を押して、電源を OFF にします。

8-1

タッチパネル調整の調整

タッチパネルのタッチセンサが認識する座標位置を調整できます。

タッチパネル調整画面

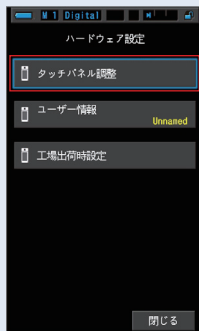


操作

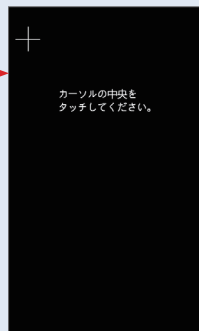
1. ハードウェア設定の [タッチパネル調整] をタッチします。

タッチパネル調整「カーソルの中央をタッチしてください。」とメッセージが表示されます。

ハードウェア設定画面



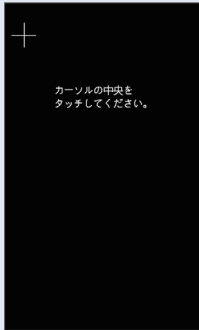
タッチパネル調整画面



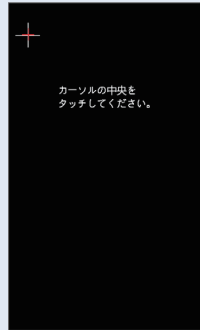
2. 画面左上の点灯している白い十字カーソルの中央をタッチします。

タッチ位置が赤い十字カーソルで表示され、順次白い十字カーソル位置が変わり表示されます。

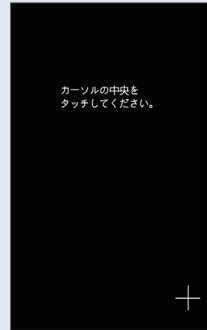
タッチパネル調整画面



タッチ位置は赤い十字カーソルで表示されます



白十字カーソルが移動します

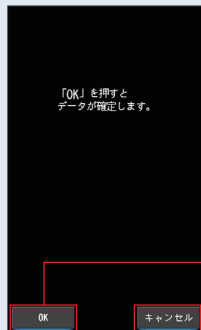


3. 7箇所分繰り返します。

続けて7箇所分繰り返します。

タッチパネル調整確認「[OK]を押すとデータが確定します。」メッセージ確認画面が表示されます。

タッチパネル調整確認画面



[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン

4. [OK] アイコンをタッチします。

調整を設定して、ハードウェア設定に戻ります。

調整を設定せず、ハードウェア設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

タッチパネルの調整が完了しました。



白い十字カーソルからはなれた場所をタッチすると、画面は調整の失敗を示すために点滅します。やり直してください。

タッチパネル調整画面



8-2 ユーザー情報の設定

ユーザー情報を編集できます。

ユーザー情報画面



ご参考

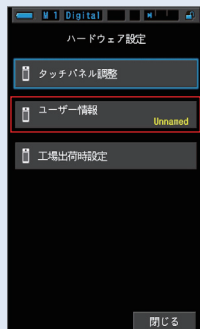
入力可能な文字数は、英数字で最大 16 文字です。

操作

1. ハードウェア設定の [ユーザー情報] をタッチします。

ユーザー情報文字入力画面が表示されます。

ハードウェア設定画面

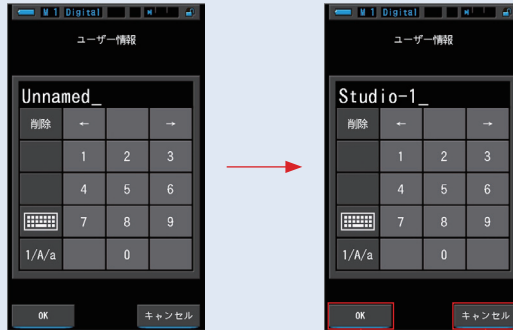


ユーザー情報文字入力画面



2. ユーザー情報を編集します。(⇒P19)

ユーザー情報文字入力画面



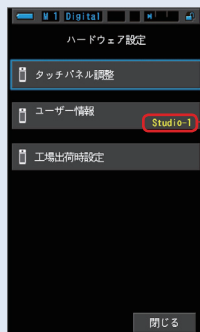
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

ユーザー情報に登録され、ハードウェア設定に戻ります。

ユーザー情報に登録せず、ハードウェア設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

ハードウェア設定画面



設定されている内容が表示されます

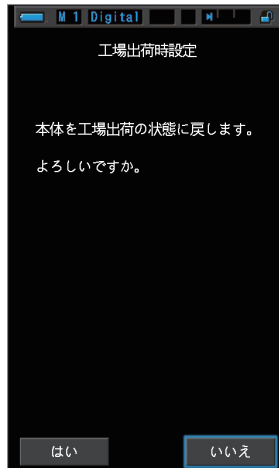
ユーザー情報が更新されました。

8-3

工場出荷時設定

本体のすべての表示や設定内容を工場出荷時の設定に戻すことができます。

工場出荷時設定画面

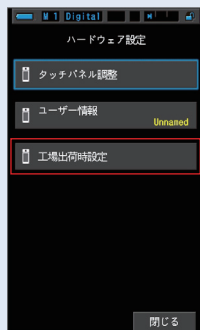


操作

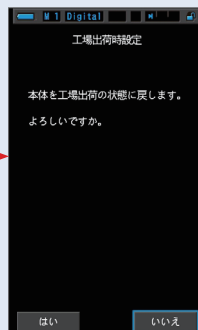
1. ハードウェア設定の [工場出荷時設定] をタッチします。

工場出荷時設定「本体を工場出荷の状態に戻します。よろしいですか。」メッセージが表示されます。

ハードウェア設定画面



工場出荷時設定画面



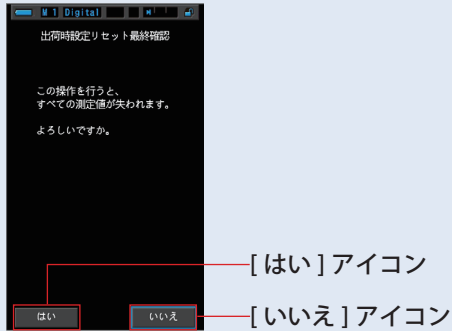
2. [はい]アイコンをタッチします。

出荷時設定リセット最終確認「この操作を行うと、すべての測定値が失われます。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。

再確認してください。

工場出荷時設定に戻さず、ハードウェア設定に戻る場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。

出荷設定リセット最終確認画面



3. [はい]アイコンをタッチします。



ご注意

「クリアー中。しばらくお待ちください。」のメッセージの表示中、またはプログレスバーが表示されている間は、電源は切らないでください。故障の原因となる恐れがあります。

すべての測定値が失われ、ハードウェア設定に戻ります。

工場出荷時設定（クリアー中）画面 ハードウェア設定画面



4. [閉じる]アイコンをタッチします。

5. ダーク補正が行われます。

ダーク補正中は「ダーク補正中です。しばらくお待ちください。」とメッセージ表示されます。

正常に行われると測定画面が表示されます。

測定画面



工場出荷時の設定に戻りました。

9. 付録

9-1

用語集

用語	説明
色温度	黒体を熱すると、その温度により、発する光（波長）の色が変化します。この光の色に対応した温度を色温度と呼び、単位はケルビン（K）であらわします。色温度が低いほど波長の長い光が多く赤っぽい光、色温度が高いほど波長の短い光が多く青っぽい光となります。色温度の変化を x y 色度図上にプロットしたものを黒体放射軌跡と呼びます。
相関色温度	光源測定を行うと、すべての光源が黒体放射軌跡に一致するわけではありません。この場合、測定値と一致する黒体放射軌跡より引かれた等色温度線を用いて求められた色温度のことです。
写真的色温度	フィルムの持つ分光特性に合わせて、測定で得た R・G・B3 種の標準的な特性データからの比率より求めた色温度です。
光	電磁波のうち、人間の目で見えると言われている波長（380 nm～780 nm）の物を指します。
黒体	光など、あらゆる波長に渡って完全に吸収し、また熱する事により、色温度に応じた光を発する理論上の物質のことです。
黒体放射	黒体を熱した時に発生する光のことです。色温度により、各波長のエネルギー量が変わるため、色の見え方が変わってきます。
K	ケルビン絶対温度の単位のこと。「K」と表示します。0（ゼロ）Kは -273.15℃または -459.67°Fになります。
Δuv	黒体放射軌跡に対して、相関色温度のズレ量のこと。相関色温度が黒体放射軌跡より上に有れば「+」、下に有れば「-」の符号をつけます。
演色評価数	光源の演色性（物体色見え方）を表した指数。基準の光源に対して、物体色見え方の違いを数値で表したもの。特殊演色評価数（Ri）と R1～R8 までの平均値で表した、平均演色評価数（Ra）が有る。

用語	説明
MK ⁻¹	<p>逆数色温度の国際単位系で、毎メガケルビンと呼びます。従来使われていたミレッド(MIRE D)という単位と同じです。逆数色温度は 1,000,000 を色温度で割ったものです。</p> <p>逆数色温度 = 1,000,000 ÷ 色温度</p> <p>逆数色温度は色温度が高くなるほど数値は小さくなります。</p> <p>例) 10,000 K=100 MK⁻¹、3200 K=312.5 MK⁻¹</p> <p>相関色温度では、10,000 K での 100 K の変化と 3,200 K における 100 K の変化は、人間の眼で見ると 3,200 K での変化の方が大きく感じます。つまり、同じ色温度量の変化でも色温度の高低により人間の目には感じ方が違うということです。</p> <p>逆数色温度を使用すると人間の目にはどの色温度でも同一数量の変化を同じような変化として感じます。</p>
daMK ⁻¹	<p>MK⁻¹ を 10 で割って表したものです。MK⁻¹ 単位では人間の目に感じる色温度の変化としては非常に少なく、また、補正を行うことも難しいため、実用的な単位として daMK⁻¹ (デカ毎メガケルビン) があります。従来の色温度変換フィルターではこの単位を採用しているものもあります。</p>
LB 指数	<p>基準とする逆数色温度から測定した逆数色温度を引いたものです。単位は MK⁻¹ (MIRE D と同等) または daMK⁻¹ になります。</p>
LB フィルター	<p>写真撮影用の色温度を補正するためのフィルターのことで「Light Balancing Filter」の略です。光源の色温度を高くするにはブルーのフィルターを、低くするにはアンバーのフィルターを使用します。</p> <p>本機ではカスタムセッティング機能で、使用するフィルターブランドに合わせた表示をすることができます。</p>
CC 指数	<p>測定した光源中の R・G・B の G 成分 (緑色の領域) が、色温度の基準となる黒体放射に対してどれだけずれているかを表したものです。CC 指数 1 = 2.5CC フィルター番号相当です。</p>
CC フィルター番号	<p>写真撮影用の色を補正するためのフィルターのことで「Color Compensating Filter」の略です。フィルターの種類にはイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブルー (B)、グリーン (G)、レッド (R) の 6 種類がありますが、本機ではこのうちマゼンタ (M) とグリーン (G) のフィルターを使用します。</p>

9-2 フィルターの種類

C-700 で得たフィルターをカメラ側で設定した場合、一般に光量が低下します。単体露出計の露出値からこの低下分をカメラ側で補う場合は、下表の露出段数を参考にして露出を決めることができます。なお、照明フィルターを使用する場合は、既に光量のおちた状態の光をメーターで測定しているため、露出補正は必要ありません。

■ コダック WRATTEN 2 / LEE フィルター [カメラフィルター]

アンバー系			ブルー系		
LB 指数 (MK ⁻¹)	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)	LB 指数 (MK ⁻¹)	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)
+9	81	1/3	-10	82	1/3
+18	81A	1/3	-21	82A	1/3
+27	81B	1/3	-32	82B	2/3
+35	81C	1/3	-45	82C	2/3
+42	81D	2/3	-56	80D	2/3
+52	81EF	2/3	-81	80C	1
+81	85C	1/3	-112	80B	1 2/3
+112	85	2/3	-131	80A	2
+131	85B	2/3			

マゼンタ系			グリーン系		
CC 指数	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)	CC 指数	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)
+1.0	CC025M	0	-1.0	CC025G	0
+2.0	CC05M	1/3	-2.0	CC05G	1/3
+4.0	CC10M	1/3	-4.0	CC10G	1/3
+8.0	CC20M	1/3	-8.0	CC20G	1/3
+12.0	CC30M	2/3	-12.0	CC30G	2/3
+16.0	CC40M	2/3	-16.0	CC40G	2/3
+20.0	CC50M	1	-20.0	CC50G	2/3

■ 富士フィルムフィルター [カメラフィルター]

アンバー系			ブルー系		
LB 指数 (MK ⁻¹)	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)	LB 指数 (MK ⁻¹)	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)
+10	LBA-1	0	-10	LBB-1	0
+20	LBA-2	1/3	-20	LBB-2	1/3
+30	LBA-3	1/3	-30	LBB-3	1/2
+40	LBA-4	1/3	-40	LBB-4	2/3
+60	LBA-6	2/3	-60	LBB-6	2/3
+80	LBA-8	2/3	-80	LBB-8	1
+120	LBA-12	2/3	-120	LBB-12	1 2/3
+160	LBA-16	1	-160	LBB-16	2
+200	LBA-20	1	-200	LBB-20	2 1/3

マゼンタ系			グリーン系		
CC 指数	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)	CC 指数	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)
+0.5	CC-1.25M	0	-0.5	CC-1.25G	0
+1.0	CC-2.5M	0	-1.0	CC-2.5G	0
+2.0	CC-5M	1/3	-2.0	CC-5G	1/4
+3.0	CC-7.5M	1/3	-3.0	CC-7.5G	1/3
+4.0	CC-10M	1/2	-4.0	CC-10G	1/3
+8.0	CC-20M	2/3	-8.0	CC-20G	1/2
+12.0	CC-30M	2/3	-12.0	CC-30G	2/3
+16.0	CC-40M	1	-16.0	CC-40G	2/3
+20.0	CC-50M	1 1/3	-20.0	CC-50G	1

LEE [照明フィルター]

LB 指数 (MK ¹)	フィルター番号	フィルター名	色温度 (K)
-18	L218	1/8 CTB	3200 → 3400
-35	L203	1/4 CTB	3200 → 3600
-78	L202	1/2 CTB	3200 → 4300
-113	L281	3/4 CTB	3200 → 5000
-137	L201	FULL CTB	3200 → 5700
-200	L283	ONE AND 1/2 CTB (1.5 CTB)	3200 → 8888
-274	L200	DOUBLE CTB	3200 → 26000
+26	L223	1/8 CTO	6500 → 5550
+64	L206	1/4 CTO	6500 → 4600
+109	L205	1/2 CTO	6500 → 3800
+124	L285	3/4 CTO	6500 → 3600
+159	L204	FULL CTO	6500 → 3200
+245	L286	ONE AND 1/2 CTO (1.5 CTO)	6500 → 2507
+312	L287	DOUBLE CTO	6500 → 2147

CC 指数	フィルター番号	フィルター名	CC フィルター相当
-1.4	L278	1/8 PLUS GREEN (1/8 PLUS G)	CC 035 Green
-3.0	L246	1/4 PLUS GREEN (1/4 PLUS G)	CC 075 Green
-6.0	L245	1/2 PLUS GREEN (1/2 PLUS G)	CC 15 Green
-12.0	L244	FULL PLUS GREEN (PLUS GREEN)	CC 30 Green
+1.4	L279	1/8 MINUS GREEN	CC 035 Magenta
+3.0	L249	1/4 MINUS GREEN	CC 075 Magenta
+6.0	L248	1/2 MINUS GREEN	CC 15 Magenta
+12.0	L247	FULL MINUS GREEN	CC 30 Magenta

() カッコ内は C-700 での表示

■ ROSCO CINEGEL [照明フィルター]

LB 指数 (MK ⁻¹)	フィルター番号	フィルター名	色温度 (K)
-12	R3216	1/8 CTB	3200 → 3300
-30	R3208	1/4 CTB	3200 → 3500
-49	R3206	1/3 CTB	3200 → 3800
-68	R3204	1/2 CTB	3200 → 4100
-100	R3203	3/4 CTB	3200 → 4700
-131	R3202	FULL CTB	3200 → 5500
-260	R3220	DOUBLE CTB	2800 → 10000
+20	R3410	1/8 CTO	5500 → 4900
+42	R3409	1/4 CTO	5500 → 4500
+81	R3408	1/2 CTO	5500 → 3800
+131	R3411	3/4 CTO	5500 → 3200
+167	R3407	FULL CTO	5500 → 2900
+320	R3420	DOUBLE CTO	10000 → 2400

CC 指数	フィルター番号	フィルター名	CC フィルター相当
-1.4	R3317	1/8 PLUS GREEN (1/8 PLUS G)	CC 035 Green
-3.0	R3316	1/4 PLUS GREEN (1/4 PLUS G)	CC 075 Green
-6.0	R3315	1/2 PLUS GREEN (1/2 PLUS G)	CC 15 Green
-12.0	R3304	PLUS GREEN	CC 30 Green
+1.4	R3318	1/8 MINUS GREEN (1/8 MINUS G)	CC 035 Magenta
+3.0	R3314	1/4 MINUS GREEN (1/4 MINUS G)	CC 075 Magenta
+6.0	R3313	1/2 MINUS GREEN (1/2 MINUS G)	CC 15 Magenta
+9.0	R3309	3/4 MINUS GREEN (3/4 MINUS G)	CC 22.5 Magenta
+12.0	R3308	MINUS GREEN	CC 30 Magenta

() カッコ内は C-700 での表示

■ ROSCO E-COLOUR+ [照明フィルター]

LB 指数 (MK ⁻¹)	フィルター番号	フィルター名	色温度 (K)
-18	E218	1/8 CTB	3200 → 3400
-35	E203	1/4 CTB	3200 → 3600
-78	E202	1/2 CTB	3200 → 4300
-113	E281	3/4 CTB	3200 → 5000
-137	E201	FULL CTB	3200 → 5700
-200	E283	ONE AND 1/2 CTB (1.5 CTB)	3200 → 8900
-274	E200	DOUBLE CTB	2800 → 10000
+26	E223	1/8 CTO	Daylight → 5300
+64	E206	1/4 CTO	Daylight → 4600
+109	E205	1/2 CTO	Daylight → 3800
+124	E285	3/4 CTO	Daylight → 3500
+159	E204	FULL CTO	Daylight → 3200
+245	E286	ONE AND 1/2 CTO (1.5 CTO)	Daylight → 2507
+312	E287	DOUBLE CTO	Daylight → 2120

CC 指数	フィルター番号	フィルター名	CC フィルター相当
-1.4	E278	1/8 PLUS GREEN	CC 035 Green
-3.0	E246	1/4 PLUS GREEN	CC 075 Green
-6.0	E245	1/2 PLUS GREEN	CC 15 Green
-12.0	E244	FULL PLUS GREEN	CC 30 Green
+1.4	E279	1/8 MINUS GREEN	CC 035 Magenta
+3.0	E249	1/4 MINUS GREEN	CC 075 Magenta
+6.0	E248	1/2 MINUS GREEN	CC 15 Magenta
+12.0	E247	FULL MINUS GREEN	CC 30 Magenta

() カッコ内は C-700 での表示

9-3

仕様

形式

- CMOS リニアイメージセンサー内蔵デジタルカメラおよびフィルムカメラ対応カラーメーター

照度計の階級

- JIS C 1609-1:2006 一般形 A 級照度計に準拠

受光方式

- 入射光式

受光部

- 白色拡散板（固定）

受光素子

- CMOS リニアイメージセンサー 128 画素

測定方式

- | | | |
|---------|--|---|
| • 測定モード | <ul style="list-style-type: none"> • 定常光 • フラッシュ光 | 定常光モード
シンクロコードを用いて測定（コードイン）
シンクロコードなしで測定（コードレス） |
| • 測定タイプ | <ul style="list-style-type: none"> • デジタル • フィルム • 照度 | 等色関数近似による色温度測定（相関色温度）
代表的なフィルムの分光特性近似による色温度測定（写真的色温度）
JIS C1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠 |
| • 表示モード | <ul style="list-style-type: none"> • デジタル/フィルム • 照度/露光量 | テキストモード、スペクトルモード
スペクトル比較モード、演色評価モード
カメラフィルターモード、照明フィルターモード
多灯比較モード、ホワイトバランス補正モード
ルクス (lx)、ルクス秒 (lx・s) |

測定範囲

- | | | |
|--------------|---|---|
| • 色温度測定時の明るさ | 定常光 | 5 lx ~ 200,000 lx |
| • 照度 | <ul style="list-style-type: none"> • 定常光 • フラッシュ光 | 1 lx ~ 200,000 lx
レンジ L : 20 lx・s ~ 640 lx・s
レンジ H : 580 lx・s ~ 20,500 lx・s |

確度

- 照度 指示値の± 5 % ± 1 digit
(JISC1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠)
- 色温度 ± 4 MK⁻¹ (A 光源、800 lx)

繰り返し性 (2σ)

- 照度 1 % + 1 digit (A 光源、30 lx ~ 200,00 lx)、
5 % + 1 digit (A 光源、1 lx ~ 30 lx)
- 色温度
 - ・ A 光源、500 lx ~ 100,000 lx 2 MK⁻¹
 - ・ A 光源、100 lx ~ 500 lx 4 MK⁻¹
 - ・ A 光源、30 lx ~ 100 lx 8 MK⁻¹
 - ・ A 光源、5 lx ~ 30 lx 17 MK⁻¹

可視域相対分光**応答度特性**

- f1' 9 % 以下 (JISC1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠)

斜入射光特性

- f2 6 % 以下 (JISC1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠)

温度特性

- 照度 指示値の± 5 % (JISC1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠)
- 色温度 12 MK⁻¹ (A 光源、1000 lx)

湿度特性

- 照度 指示値の± 3 % (JISC1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠)
- 色温度 ± 12 MK⁻¹ (A 光源、1000 lx)

表示範囲

- 相関色温度
 - ・ デジタル 1,600 K ~ 40,000 K (上位 3 桁有効)
- 写真的色温度
 - ・ フィルム 1,600 K ~ 40,000 K (上位 3 桁有効)
- 基準色温度の設定 2,500 K ~ 10,000 K

- | | |
|-----------|---|
| • LB 指数 | • 1 MK ⁻¹ ステップ -500 MK ⁻¹ ~ +500 MK ⁻¹
• 1 daMK ⁻¹ ステップ 少数無し: -50 daMK ⁻¹ ~ +50 daMK ⁻¹
• 0.1 daMK ⁻¹ ステップ 少数有り: -50.0 daMK ⁻¹ ~ +50.0 daMK ⁻¹ |
| • CC 指数 | • 80 G ~ 80 M (初期設定時) |
| • 照度 | • 定常光 1 lx ~ 200,000 lx (上位 3 桁有効) |
| • シャッター速度 | • フラッシュ光 1 秒 ~ 1/500 秒 (1、1/2、1/3 ステップ)
他 1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、
1/400 秒設定可能 |

その他の機能

- プリセット設定機能 • デジタル/フィルム各プリセット No.1 ~ 19
- 本体設定 • 11 項目設定可能
- メモリー機能 • 99 回まで可能
- メモリークリアー・リコール機能
- 測定範囲外及び表示範囲外 • [Under] アンダー、[Over] オーバーまたは [Filter N/A] (表示範囲外) の警告表示
- 電池残量表示機能 • 4 段表示
- 自動電源オフ機能 • 最終操作後約 20 分、約 10 分、約 5 分、なしから選択可能
- 液晶バックライト (EL) • 明るさは明るい、普通、暗いから選択可能
• 減灯時間は最終操作後約 20 秒、40 秒、60 秒、減灯しないから選択可能
- タッチパネルロック機能
- 三脚用ネジ穴付き • 1/4in、20 山

使用液晶

- 液晶表示画素数 • 4.3 インチ QVGA 480 × 800 ドット

推奨電池

- 単三形電池 • 1.5 V × 2 本 アルカリ、マンガン
- USB 接続によるバスパワー • 5 V/500 mA 以下 (パソコン接続時に USB ケーブルより供給)

使用周囲温度

- -10 °C ~ 40 °C (但し、結露しない事)

使用周囲湿度

- 85 % RH 以下 (35 °C のとき) (但し、結露しない事)

輸送保管条件

- -10℃～60℃（但し、結露しない事）

寸法

- 約 73（幅）× 183（高さ）× 27（厚さ）mm（受光部含まず）（最大厚さ 40 mm）

質量

- (C-700) 約 230 g（電池含まず）

標準付属品

- CD-ROM（使用説明書（本書）とアプリケーション（Win & Mac））、ソフトケース、ストラップ、スタートアップガイド、安全上のご注意、保証書

※この使用説明書に記載の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

9-4 法的要求事項

■ 法的要求事項

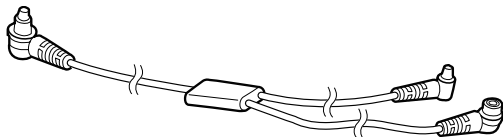
本製品は下記の法的順守事項に準拠しています。

仕向け地	規格	詳細
欧州	CE	EMS: EN55024:2010 EMI: EN55022:2010 Safty EN60950-1:2006、2ndEdition/A11:2009/A1:2010/A12:2011
	環境関連	WEEE (欧州)
北米	FCC	FCC Rules Part15 SubpartB ClassB
日本	環境関連	容器包装リサイクル法
韓国	KC	EMC : KN11, KN61000-4-2/-3/-4/-6/-8

10. 別売アクセサリー

■ シンクロコード

長さ 5 m のコードは 3 つのプラグを持ち、カラーメーター、フラッシュとカメラを接続同調させることができますので、撮影する時にもコードを差し換える必要がなく便利です。また、シンクロコードの一方の接続端子は、ロック機構がついておりますのでカラーメーター側に使用すると確実に接続することができます。



11. トラブルシューティング

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理をご依頼される前にもう一度ご確認ください。下記の点検をしても正常に動作しない場合は、本機の故障の可能性があります。電池を取り外して購入先または弊社まで修理をご依頼ください。

状態	点検項目	対処方法
パワーオンしない (表示しない)	電源ボタンを1秒以上長押ししていますか？	電源ボタンを1秒以上長押ししてください。
	電池は⊕⊖が正しく入っていますか？	⊕⊖表示を確認してください。 (➡P4)
	電池の容量はありますか？	電池を交換してください。(➡P9)
	電池の端子が汚れていませんか？	乾いた布で拭いてください。
	電池は指定の製品が入っていますか？	電池を確認してください。(➡P4)
液晶が反応しない	画面のロックが設定されていませんか？	メニューボタン 6 を長押しして画面のロックを解除してください。 (➡P21)
測定できない	C-700 シリーズユーティリティのソフトを使用していませんか？	ソフトを終了してください。
測定値がおかしい	光量切り換えリングが中間位置になっていませんか？配光特性が変わり適正な測定ができません。	カチッと音がするまで光量切り換えリングを回してください。
	不必要な補正やフィルター補正が設定されていませんか？	Target (基準色温度) を確認し、設定が間違っていないか確認してください。(➡P26)
		プリセット色温度を確認し、設定が間違っていないか確認してください。(➡P139)
	測定モードを間違っていないか？ (フラッシュ光なのに定常光モードで測定している、など)	正しい測定モードを選択しているかどうか確認してください。(➡P22)
フラッシュ光コードレスモードで測定するときにフラッシュのプリ発光機能を使用していませんか？	フラッシュ光コードレスモードでは、最初のプリ発光を測定してしまい、本発光の測定値を表示できない場合があります。フラッシュのプリ発光機能を解除してください。	

状態	点検項目	対処方法
分光式カラーメーターの設定値・測定値がカメラの設定にない	カメラのシャッター速度や絞りの設定のステップと分光式カラーメーターのシャッター速度や絞りの設定ステップは合っていますか？	分光式カラーメーターと同じく、カメラは 1/3 ステップ、1 ステップ、1/2 ステップなどの選択ができるものがあります。分光式カラーメーターのステップをカメラのステップに合わせてください。(シャッター速度ステップ) (➡P111)
メモリーできない	差分測定モードになっていませんか？	差分測定モードではメモリー機能は使用できません。差分測定モードを解除してください。
	メモリーボタンを押したときに「Memory Full」と出ていませんか？	メモリーできる回数は最大 99 回までです。必要のないメモリー値をクリアーしてから使用してください。

12. アフターサービスについて

※弊社の製品には一定の期間内無償修理をお引き受けする保証書があります。記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 保証期間などについて

1. 保証期間はご購入日より1年間です。
2. 保証書にお買い上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
3. 保証期間内でも有償修理となる場合もありますので、保証書の記載事項をお確かめください。
4. 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

■ 補修用部品の保有期間などについて

1. 補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって、本期間を過ぎますと修理をお引き受けできないことがあります。
2. 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
3. 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショックその他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると考えられますものにつきましては、修理不可能となる場合があります。

■ 修理ご依頼にあたって

1. 修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各ポイント検をはじめ品質的、性能的に必要なと認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。
2. 修理をご依頼されたものの中には単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、(+) (-) の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

■ お問い合わせについて

本製品の保証、修理、使い方などのお問い合わせは弊社営業部門にご相談ください。



ご参考

万一、製造上の不備で生じた不都合につきましては現品をもって保証させていただきます。それ以外の責任は負いかねます。

株式会社 セコニック

〒 178-8686 東京都練馬区大泉学園町 7-24-14
TEL 03-3978-2366 FAX 03-3922-2144
[http : //www.sekonic.co.jp](http://www.sekonic.co.jp)

JT109761-B_ja-03
April 2016